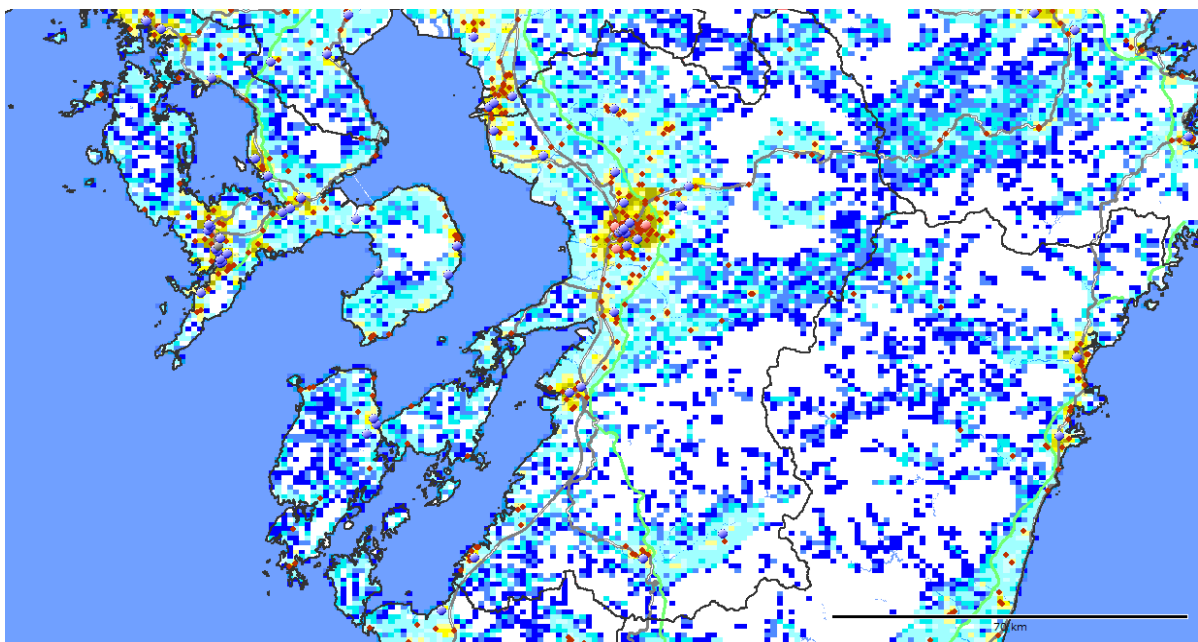


43. 熊本県

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

目次

熊本県	43	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	43	-	8
1. 熊本医療圏	43	-	26
2. 宇城医療圏	43	-	31
3. 有明医療圏	43	-	36
4. 鹿本医療圏	43	-	41
5. 菊池医療圏	43	-	46
6. 阿蘇医療圏	43	-	51
7. 上益城医療圏	43	-	56
8. 八代医療圏	43	-	61
9. 芦北医療圏	43	-	66
10. 球磨医療圏	43	-	71
11. 天草医療圏	43	-	76

(熊本県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 熊本県は、総人口約1776千人(2015年推計)、面積7405km²、人口密度は240人/km²である。

*人口の将来予測： 熊本県の総人口は2025年に1666千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に1467千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の276千人が、2025年にかけて321千人へと増加し(2015年比+16%)、2040年には336千人へと増加する(2025年比+5%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 熊本県の一人当たり医療費(国保)は351千円(偏差値58)、介護給付費は287千円(偏差値59)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 熊本県の一人当たり急性期医療密度指数²は1.21、一人当たり慢性期医療密度指数²は2.14で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が54(病院医師数55、診療所医師数51)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は68と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は60で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は53とやや多い。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は63と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値64と多く、回復期病床数は偏差値60と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は61で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 熊本県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、26712人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が18990床(偏差値57)、高齢者住宅等が7722床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、21865人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設61、有料老人ホーム42、軽費ホーム44、グループホーム49、サ高住48である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値48と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値60と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値57と多い。介護職員(在宅)の合計は、3925人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は-14%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

熊本県の総人口は、2005年1842233人が、2015年に1775543人と4%減少し、2025年の人口が1666017人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に7%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

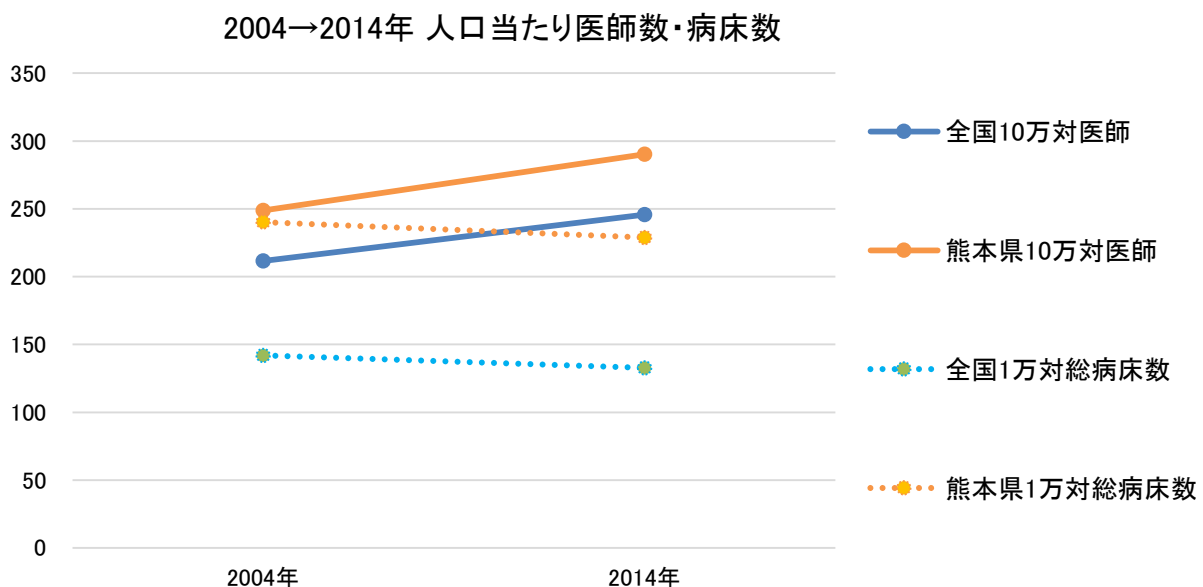
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が223(人口10万人当たり12.1病院(全国平均7.1)偏差値63)であったが、2014年に214(人口10万人当たり12.1病院(全国平均6.7)偏差値63)となり、10年間で9病院が減少した。

2004年の診療所数が1485(人口10万人当たり81診療所(全国平均76)偏差値52)であったが、2014年に1471(人口10万人当たり83診療所(全国平均79)偏差値52)と、14診療所が減少した。

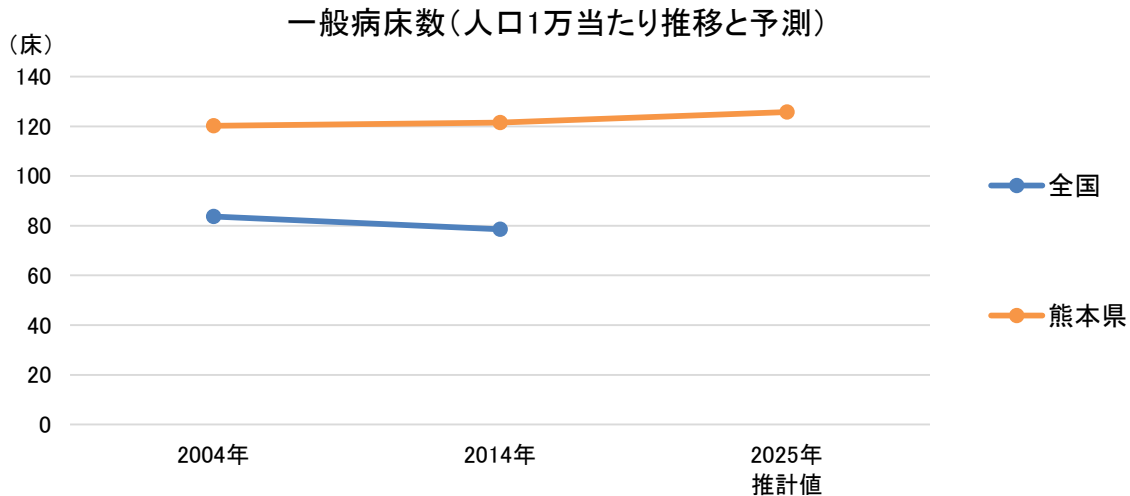
2004年の総病床数が44270床(人口1万人当たり240(全国平均142)偏差値68)であったが、2014年に40637床(人口1万人当たり229(全国平均133)偏差値67)と、3633床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が4584人(人口10万人当たり249人(全国平均212人)偏差値54)であったが、2014年に5156人(人口10万人当たり290人(全国平均246人)偏差値55)と、572人の増加、率にして12%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



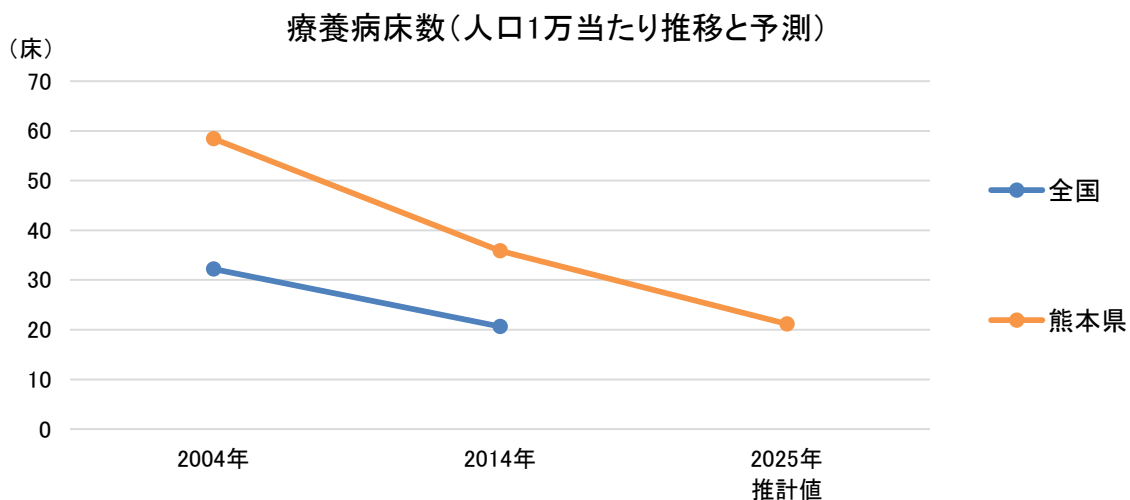
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が22141床(人口1万人当たり120(全国平均84)偏差値63)であったが、2014年に21569床(人口1万人当たり121(全国平均79)偏差値66)と、572床の減少、率にして3%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には20940床(2025年の推計人口1万人当たり126)になることが予想される。



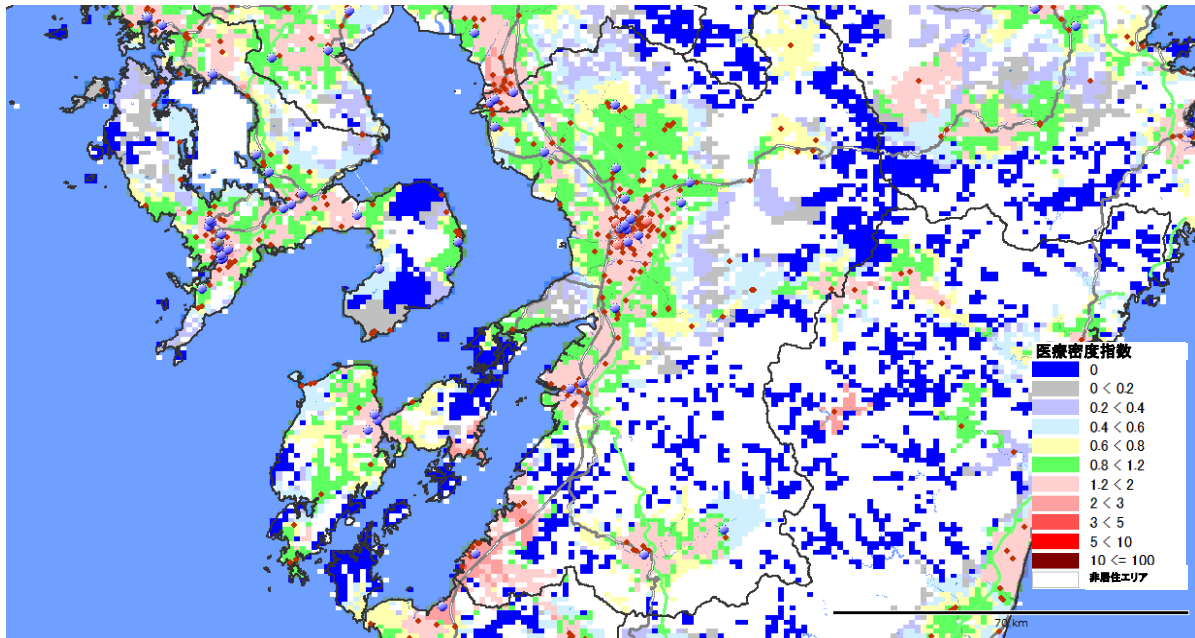
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が12775床(75歳以上1000人当たり58(全国平均32)偏差値65)であったが、2014年に9923床(75歳以上1000人当たり36(全国平均21)偏差値63)と、2852床の減少、率にして22%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には6784床(2025年の推計75歳以上1000人当たり21)になることが予想される。

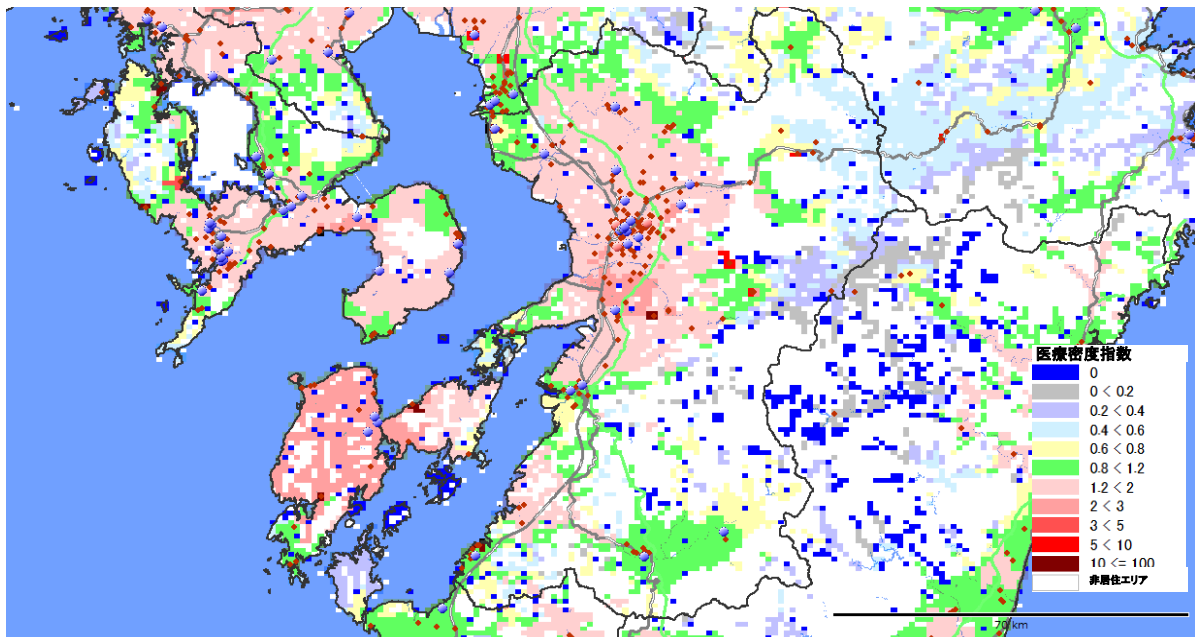


3. 医療密度⁵

図表43-1 急性期医療密度指数マップ



図表43-2 慢性期医療密度指数マップ



資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料⁶

資_図表 43-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
熊本県	1,776	23位	7,405	15位	239.8		29%	1,666	1,467	276	321	336	-6%	-12%	16%	5%
熊本	734	41%	390	5%	1,883.2	地方都市型	24%	715	659	91	117	134	-3%	-8%	29%	15%
宇城	108	6%	407	5%	264.3	地方都市型	31%	99	85	19	21	22	-8%	-14%	11%	5%
有明	162	9%	421	6%	385.7	地方都市型	32%	148	125	29	32	31	-9%	-16%	10%	-3%
鹿本	53	3%	300	4%	176.1	過疎地域型	35%	47	39	10	11	11	-11%	-17%	10%	0%
菊池	177	10%	466	6%	380.4	地方都市型	24%	179	175	22	28	32	1%	-2%	27%	14%
阿蘇	65	4%	1,079	15%	60.3	過疎地域型	35%	59	49	13	14	14	-9%	-17%	8%	0%
上益城	85	5%	784	11%	107.9	過疎地域型	32%	78	67	15	17	17	-8%	-14%	13%	0%
八代	138	8%	714	10%	193.8	地方都市型	32%	124	102	24	27	26	-10%	-18%	13%	-4%
芦北	48	3%	431	6%	110.3	過疎地域型	38%	40	31	10	11	9	-17%	-23%	10%	-18%
球磨	89	5%	1,537	21%	57.9	過疎地域型	35%	78	62	18	18	17	-12%	-21%	0%	-6%
天草	117	7%	876	12%	133.8	過疎地域型	37%	99	74	25	25	24	-15%	-25%	0%	-4%

出典 <人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月
<面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年

資_図表 43-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)	
			2025年	2040年
全国	1.00	1.00	-26.7%	-27.2%
熊本県	1.21	2.14	-9.2%	-14.3%
熊本	1.57	2.24	-28.7%	-46.8%
宇城	0.91	1.99	-3.1%	-6.5%
有明	0.91	1.19	-7.9%	-3.3%
鹿本	0.70	1.09	-15.2%	-9.1%
菊池	0.91	2.77	-22.2%	-42.4%
阿蘇	0.48	2.52	12.5%	12.8%
上益城	0.84	1.83	1.4%	0.0%
八代	1.29	2.39	-14.1%	-9.2%
芦北	1.94	2.37	18.3%	26.8%
球磨	0.95	4.56	11.7%	15.9%
天草	0.86	1.65	10.5%	16.2%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均(99.3床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

43. 熊本県（2016年版）

資_図表 43-3 医療費、介護給付費⁷

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	319	(41)	1.000	254	(37)
熊本県	351	58	1.102	287	59
熊本	329	53	1.080	279	57
宇城	343	56	1.081	283	58
有明	385	66	1.159	300	63
鹿本	339	55	1.043	283	58
菊池	347	57	1.113	279	57
阿蘇	340	55	1.051	287	59
上益城	351	58	1.083	282	58
八代	346	57	1.090	296	61
芦北	504	95	1.421	291	60
球磨	350	58	1.062	312	66
天草	386	66	1.169	294	61
出典	<一人あたり医療費>平成25年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成26年度介護保険事業状況報告(年報) 平成26年度累計(平成26年3月サービス分から平成27年2月サービス分まで)				

資_図表 43-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,493		6.7	(4.1)	100,461		79	(19.5)
熊本県	214	2.5%	12.1	63	1,471	1.5%	83	52
熊本	94	44%	12.8	65	624	42%	85	53
宇城	12	6%	11.2	61	70	5%	65	43
有明	12	6%	7.4	52	130	9%	80	50
鹿本	6	3%	11.4	61	44	3%	83	52
菊池	16	7%	9.0	56	129	9%	73	47
阿蘇	6	3%	9.2	56	49	3%	75	48
上益城	13	6%	15.4	71	61	4%	72	46
八代	13	6%	9.4	57	129	9%	93	57
芦北	11	5%	23.1	90	46	3%	97	59
球磨	13	6%	14.6	69	84	6%	94	58
天草	18	8%	15.4	71	105	7%	90	55
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 43-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,461		79	(19.5)	92,106		73	(19.0)	8,355		6.6	(6.6)
熊本県	1,471	1.5%	83	52	1,127	1.2%	63	45	344	4.1%	19.4	69
熊本	624	42%	85	53	498	44%	68	47	126	37%	17.2	66
宇城	70	5%	65	43	52	5%	48	37	18	5%	16.7	65
有明	130	9%	80	50	95	8%	58	42	35	10%	21.5	72
鹿本	44	3%	83	52	31	3%	59	43	13	4%	24.6	77
菊池	129	9%	73	47	109	10%	61	44	20	6%	11.3	57
阿蘇	49	3%	75	48	38	3%	58	42	11	3%	16.9	66
上益城	61	4%	72	46	49	4%	58	42	12	3%	14.2	61
八代	129	9%	93	57	92	8%	66	47	37	11%	26.7	80
芦北	46	3%	97	59	32	3%	67	47	14	4%	29.5	84
球磨	84	6%	94	58	64	6%	72	50	20	6%	22.5	74
天草	105	7%	90	55	67	6%	57	42	38	11%	32.4	89
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 43-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,568,261		1,238	(503)	112,364		89	(106)	1,680,625		1,327	(565)
熊本県	35,190	2.2%	1,982	65	5,447	4.8%	307	71	40,637	2.4%	2,289	67
熊本	15,532	44%	2,117	67	1,955	36%	267	67	17,487	43%	2,384	69
宇城	1,903	5%	1,770	61	300	6%	279	68	2,203	5%	2,049	63
有明	2,521	7%	1,552	56	551	10%	339	74	3,072	8%	1,891	60
鹿本	840	2%	1,592	57	232	4%	440	83	1,072	3%	2,031	62
菊池	3,683	10%	2,076	67	338	6%	190	60	4,021	10%	2,266	67
阿蘇	971	3%	1,493	55	183	3%	281	68	1,154	3%	1,774	58
上益城	1,264	4%	1,494	55	198	4%	234	64	1,462	4%	1,728	57
八代	2,434	7%	1,759	60	561	10%	405	80	2,995	7%	2,164	65
芦北	1,558	4%	3,278	91	229	4%	482	87	1,787	4%	3,760	93
球磨	1,604	5%	1,803	61	304	6%	342	74	1,908	5%	2,145	64
天草	2,880	8%	2,456	74	596	11%	508	90	3,476	9%	2,964	79
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

43. 熊本県（2016年版）

資_図表 43-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般病床				療養病床				精神病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	894,216		706	(229)	328,144		259	(210)	338,174		267	(219)
熊本県	16,735	1.9%	943	60	9,310	2.8%	524	63	8,943	2.6%	504	61
熊本	8,596	51%	1,172	70	3,646	39%	497	61	3,251	36%	443	58
宇城	726	4%	675	49	477	5%	444	59	647	7%	602	65
有明	778	5%	479	40	763	8%	470	60	976	11%	601	65
鹿本	375	2%	711	50	221	2%	419	58	240	3%	455	59
菊池	2,316	14%	1,305	76	468	5%	264	50	895	10%	504	61
阿蘇	313	2%	481	40	384	4%	590	66	270	3%	415	57
上益城	301	2%	356	35	576	6%	681	70	387	4%	457	59
八代	1,053	6%	761	52	561	6%	405	57	786	9%	568	64
芦北	779	5%	1,639	91	395	4%	831	77	380	4%	800	74
球磨	622	4%	699	50	574	6%	645	68	404	5%	454	59
天草	876	5%	747	52	1,245	13%	1,062	88	707	8%	603	65
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 43-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数⁸

二次医療圏	回復期病床				地域包括ケア病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	70,480		56	(47)	36,025		34	(48)
熊本県	1,857	2.6%	105	60	1,601	4.4%	90	62
熊本	1,117	60%	152	71	869	54%	118	68
宇城	118	6%	110	62	109	7%	101	64
有明	108	6%	66	52	65	4%	40	51
鹿本	72	4%	136	67	50	3%	95	63
菊池	212	11%	119	64	143	9%	81	60
阿蘇	0	0%	0	38	58	4%	89	61
上益城	101	5%	119	64	67	4%	79	59
八代	54	3%	39	46	0	0%	0	43
芦北	45	2%	95	58	60	4%	126	69
球磨	30	2%	34	45	106	7%	119	68
天草	0	0%	0	38	74	5%	63	56
出典	平成26年度病床機能報告				平成28年6月地方厚生局(関東信越厚生局のみ7月公表分)。近畿厚生局は病床数データがないため非掲載。			

資_図表 43-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
熊本県	9,853	8,826	397	25,315	7,978	8,826	52.5%	50	4.3%	48
熊本	3,826	3,410	104	11,706	5,196	3,532	39.6%	45	2.9%	47
宇城	444	395	0	1,459	331	477	54.4%	51	0.0%	46
有明	674	632	42	1,847	150	721	80.8%	62	5.5%	48
鹿本	201	197	0	639	178	221	52.5%	50	0.0%	46
菊池	1,601	1,434	0	2,095	895	468	61.6%	54	0.0%	46
阿蘇	199	195	0	772	118	384	62.3%	54	0.0%	46
上益城	57	57	0	1,207	244	576	18.9%	36	0.0%	46
八代	850	816	0	1,584	237	561	77.5%	60	0.0%	46
芦北	671	667	0	887	112	395	85.6%	64	0.0%	46
球磨	451	447	0	1,118	169	545	72.6%	58	0.0%	46
天草	879	576	251	2,001	348	946	62.3%	54	21.0%	55
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資_図表 43-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
熊本県	45,864	1.6%	2,583	53	17,652	1.7%	994	57
熊本	30,672	67%	4,181	68	9,156	52%	1,248	65
宇城	816	2%	759	36	1,404	8%	1,306	67
有明	2,556	6%	1,573	44	948	5%	583	42
鹿本	660	1%	1,251	41	72	0%	136	27
菊池	2,472	5%	1,393	42	2,280	13%	1,285	67
阿蘇	24	0%	37	29	228	1%	350	34
上益城	84	0%	99	30	312	2%	369	35
八代	4,536	10%	3,278	60	1,212	7%	876	52
芦北	564	1%	1,187	40	312	2%	657	45
球磨	1,800	4%	2,024	48	900	5%	1,012	57
天草	1,680	4%	1,433	43	828	5%	706	46
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

43. 熊本県 (2016年版)

資_図表 43-11 医師数 (総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	340,791		269	(92)	210,112		166	(67)	130,678		103	(33)
熊本県	5,367	1.6%	302	54	3,492	1.7%	197	55	1,875	1.4%	106	51
熊本	3,044	57%	415	66	2,198	63%	300	70	846	45%	115	54
宇城	213	4%	198	42	117	3%	109	41	96	5%	89	46
有明	342	6%	211	44	166	5%	102	40	177	9%	109	52
鹿本	121	2%	229	46	67	2%	127	44	54	3%	102	50
菊池	361	7%	204	43	191	5%	108	41	170	9%	96	48
阿蘇	120	2%	185	41	57	2%	87	38	64	3%	98	48
上益城	152	3%	180	40	89	3%	105	41	63	3%	74	41
八代	352	7%	254	48	202	6%	146	47	150	8%	108	52
芦北	159	3%	335	57	110	3%	232	60	49	3%	102	50
球磨	201	4%	226	45	115	3%	129	45	86	5%	97	48
天草	301	6%	257	49	180	5%	153	48	121	6%	103	50
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 43-12 専門医数 (総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.4	(6.7)	12,494		9.9	(4.6)	10,443		8.2	(3.8)
熊本県	196	1.3%	11.0	48	166	1.3%	9.3	49	157	1.5%	8.8	52
熊本	118	60%	16.1	56	103	62%	14.0	59	105	67%	14.3	66
宇城	14	7%	13.0	51	6	4%	5.6	41	4	3%	3.7	38
有明	12	6%	7.4	43	8	5%	4.9	39	9	6%	5.5	43
鹿本	3	2%	5.7	40	1	1%	1.9	33	4	3%	7.6	48
菊池	17	9%	9.6	46	14	8%	7.9	46	4	3%	2.3	34
阿蘇	1	1%	1.5	34	2	1%	3.1	35	1	1%	1.5	32
上益城	6	3%	7.1	42	4	2%	4.7	39	4	3%	4.7	41
八代	8	4%	5.8	40	8	5%	5.8	41	10	6%	7.2	47
芦北	4	2%	8.4	44	0	0%	0	28	4	3%	8.4	50
球磨	5	3%	5.6	40	8	5%	9.0	48	5	3%	5.6	43
天草	8	4%	6.8	42	12	7%	10.2	51	7	4%	6.0	44
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 43-13 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.2)	7,466		5.9	(2.6)
熊本県	81	1.5%	4.6	52	121	1.3%	6.8	48	93	1.2%	5.2	47
熊本	52	64%	7.1	64	69	57%	9.4	56	54	58%	7.4	56
宇城	3	4%	2.8	44	4	3%	3.7	38	6	6%	5.6	49
有明	3	4%	1.8	39	5	4%	3.1	36	6	6%	3.7	42
鹿本	1	1%	1.9	39	3	2%	5.7	45	2	2%	3.8	42
菊池	4	5%	2.3	41	9	7%	5.1	43	9	10%	5.1	47
阿蘇	0	0%	0	30	3	2%	4.6	41	0	0%	0	27
上益城	2	2%	2.4	42	6	5%	7.1	49	3	3%	3.5	41
八代	5	6%	3.6	47	9	7%	6.5	47	5	5%	3.6	41
芦北	3	4%	6.3	60	4	3%	8.4	53	2	2%	4.2	44
球磨	4	5%	4.5	52	4	3%	4.5	41	5	5%	5.6	49
天草	4	5%	3.4	46	5	4%	4.3	40	1	1%	0.9	31
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 43-14 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.1	(7.2)	15,369		12.1	(4.5)
熊本県	133	1.6%	7.5	53	320	1.6%	18.0	53	294	1.9%	16.6	60
熊本	65	49%	8.9	57	197	62%	26.9	65	168	57%	22.9	74
宇城	16	12%	14.9	74	19	6%	17.7	52	10	3%	9.3	44
有明	8	6%	4.9	45	23	7%	14.2	47	20	7%	12.3	50
鹿本	2	2%	3.8	42	4	1%	7.6	38	7	2%	13.3	53
菊池	9	7%	5.1	46	13	4%	7.3	38	28	10%	15.8	58
阿蘇	4	3%	6.1	49	5	2%	7.7	38	5	2%	7.7	40
上益城	8	6%	9.5	58	8	3%	9.5	41	13	4%	15.4	57
八代	4	3%	2.9	40	20	6%	14.5	48	20	7%	14.5	55
芦北	5	4%	10.5	61	5	2%	10.5	42	6	2%	12.6	51
球磨	8	6%	9.0	57	12	4%	13.5	46	7	2%	7.9	41
天草	4	3%	3.4	41	14	4%	11.9	44	10	3%	8.5	42
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

43. 熊本県 (2016年版)

資_図表 43-15 専門医数 (泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.1)	6,376		5.0	(2.4)	5,300		4.2	(3.0)
熊本県	102	1.8%	5.7	56	87	1.4%	4.9	49	112	2.1%	6.3	57
熊本	55	54%	7.5	64	54	62%	7.4	60	86	77%	11.7	75
宇城	6	6%	5.6	55	1	1%	0.9	33	1	1%	0.9	39
有明	8	8%	4.9	52	5	6%	3.1	42	8	7%	4.9	52
鹿本	2	2%	3.8	47	1	1%	1.9	37	1	1%	1.9	42
菊池	6	6%	3.4	45	5	6%	2.8	41	4	4%	2.3	44
阿蘇	2	2%	3.1	43	3	3%	4.6	48	0	0%	0	36
上益城	2	2%	2.4	40	2	2%	2.4	39	1	1%	1.2	40
八代	8	8%	5.8	56	5	6%	3.6	44	6	5%	4.3	51
芦北	6	6%	12.6	89	2	2%	4.2	47	2	2%	4.2	50
球磨	2	2%	2.2	39	5	6%	5.6	52	0	0%	0	36
天草	5	5%	4.3	49	4	5%	3.4	43	3	3%	2.6	45
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 43-16 専門医数 (麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.1)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
熊本県	122	1.9%	6.9	55	19	1.2%	1.1	48	49	1.5%	2.8	51
熊本	90	74%	12.3	73	15	79%	2.0	59	41	84%	5.6	67
宇城	1	1%	0.9	36	1	5%	0.9	47	0	0%	0	35
有明	7	6%	4.3	47	1	5%	0.6	44	2	4%	1.2	42
鹿本	2	2%	3.8	45	0	0%	0	37	2	4%	3.8	57
菊池	6	5%	3.4	44	0	0%	0	37	0	0%	0	35
阿蘇	1	1%	1.5	38	0	0%	0	37	0	0%	0	35
上益城	1	1%	1.2	37	0	0%	0	37	2	4%	2.4	49
八代	8	7%	5.8	52	2	11%	1.4	52	2	4%	1.4	43
芦北	2	2%	4.2	47	0	0%	0	37	0	0%	0	35
球磨	0	0%	0	33	0	0%	0	37	0	0%	0	35
天草	4	3%	3.4	44	0	0%	0	37	0	0%	0	35
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 43-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
熊本県	17	0.9%	1.0	45	63	2.7%	3.5	63
熊本	10	59%	1.4	48	39	62%	5.3	76
宇城	1	6%	0.9	45	4	6%	3.7	64
有明	1	6%	0.6	42	6	10%	3.7	64
鹿本	1	6%	1.9	53	2	3%	3.8	65
菊池	3	18%	1.7	51	6	10%	3.4	62
阿蘇	0	0%	0	37	1	2%	1.5	47
上益城	0	0%	0	37	0	0%	0	36
八代	1	6%	0.7	43	2	3%	1.4	47
芦北	0	0%	0	37	1	2%	2.1	52
球磨	0	0%	0	37	2	3%	2.2	53
天草	0	0%	0	37	0	0%	0	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

資_図表 43-18 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,100,601		869	(289)	903,500		713	(241)	197,102		156	(74)
熊本県	24,639	2.2%	1,388	68	19,263	2.1%	1,085	65	5,377	2.7%	303	70
熊本	12,213	50%	1,665	78	9,837	51%	1,341	76	2,376	44%	324	73
宇城	1,173	5%	1,091	58	866	4%	806	54	307	6%	286	68
有明	1,644	7%	1,012	55	1,227	6%	755	52	417	8%	257	64
鹿本	642	3%	1,217	62	455	2%	862	56	187	3%	355	77
菊池	2,021	8%	1,139	59	1,659	9%	935	59	362	7%	204	57
阿蘇	566	2%	871	50	406	2%	624	46	160	3%	247	62
上益城	816	3%	964	53	575	3%	679	49	241	4%	285	67
八代	1,803	7%	1,303	65	1,283	7%	927	59	520	10%	376	80
芦北	924	4%	1,945	87	716	4%	1,506	83	209	4%	439	88
球磨	1,120	5%	1,259	63	871	5%	979	61	249	5%	280	67
天草	1,716	7%	1,463	71	1,368	7%	1,167	69	348	6%	297	69
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

43. 熊本県 (2016年版)

資_図表 43-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	119,431		94	(52)	288,151		227	(98)
熊本県	2,935	2.5%	165	64	3,593	1.2%	202	47
熊本	1,606	55%	219	74	1,999	56%	273	55
宇城	167	6%	156	62	165	5%	153	42
有明	165	6%	101	51	199	6%	122	39
鹿本	60	2%	114	54	63	2%	119	39
菊池	361	12%	203	71	270	8%	152	42
阿蘇	69	2%	105	52	78	2%	120	39
上益城	135	5%	159	63	131	4%	155	43
八代	106	4%	77	47	244	7%	176	45
芦北	62	2%	130	57	108	3%	227	50
球磨	104	4%	116	54	158	4%	178	45
天草	101	3%	86	48	178	5%	152	42
出典	平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資_図表 43-20 在宅医療施設数 (在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,679		0.9	(0.5)	1,120		0.1	(0.1)	9,602		0.6	(0.2)
熊本県	221	1.5%	0.8	48	36	3.2%	0.1	60	199	2.1%	0.7	57
熊本	88	40%	1.0	52	18	50%	0.2	70	73	37%	0.8	62
宇城	11	5%	0.6	44	1	3%	0.1	48	12	6%	0.6	54
有明	29	13%	1.0	53	3	8%	0.1	56	12	6%	0.4	41
鹿本	9	4%	0.9	49	2	6%	0.2	69	5	3%	0.5	44
菊池	12	5%	0.5	42	1	3%	0.0	47	16	8%	0.7	58
阿蘇	7	3%	0.5	42	0	0%	0	39	8	4%	0.6	51
上益城	3	1%	0.2	35	3	8%	0.2	70	13	7%	0.8	65
八代	24	11%	1.0	52	0	0%	0	39	20	10%	0.8	63
芦北	8	4%	0.8	47	2	6%	0.2	69	10	5%	1.0	71
球磨	7	3%	0.4	39	4	11%	0.2	74	18	9%	1.0	73
天草	23	10%	0.9	50	2	6%	0.1	52	12	6%	0.5	44
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成28年5月			

資_図表 43-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,633,619		99	(17)	983,880		60	(13)	649,739		39	(15)
熊本県	26,712	1.6%	97	48	18,990	1.9%	69	57	7,722	1.2%	28	42
熊本	9,279	35%	102	52	5,285	28%	58	49	3,994	52%	44	53
宇城	1,817	7%	98	49	1,338	7%	72	60	479	6%	26	41
有明	2,536	9%	89	44	1,949	10%	68	57	587	8%	21	37
鹿本	843	3%	80	39	694	4%	66	55	149	2%	14	33
菊池	1,985	7%	91	45	1,479	8%	68	56	506	7%	23	39
阿蘇	1,398	5%	106	54	1,030	5%	78	64	368	5%	28	42
上益城	1,516	6%	99	50	1,265	7%	83	68	251	3%	16	35
八代	2,096	8%	86	42	1,650	9%	68	56	446	6%	18	36
芦北	1,109	4%	107	54	846	4%	81	67	263	3%	25	40
球磨	1,813	7%	102	52	1,475	8%	83	68	338	4%	19	36
天草	2,320	9%	92	46	1,979	10%	78	65	341	4%	13	33
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 43-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	361,993		22	(5.7)	554,289		34	(10.0)	67,598		4.1	(4.1)
熊本県	6,669	1.8%	24	54	9,954	1.8%	36	52	2,367	3.5%	8.6	61
熊本	2,168	33%	24	53	2,117	21%	23	40	1,000	42%	11.0	67
宇城	378	6%	20	47	867	9%	47	63	93	4%	5.0	52
有明	683	10%	24	53	975	10%	34	50	291	12%	10.2	65
鹿本	256	4%	24	54	438	4%	42	58	0	0%	0	40
菊池	526	8%	24	54	718	7%	33	49	235	10%	10.7	66
阿蘇	305	5%	23	52	673	7%	51	67	52	2%	3.9	50
上益城	344	5%	22	51	816	8%	53	70	105	4%	6.9	57
八代	636	10%	26	57	855	9%	35	51	159	7%	6.5	56
芦北	250	4%	24	54	475	5%	46	62	121	5%	11.6	68
球磨	451	7%	25	56	861	9%	48	65	163	7%	9.2	62
天草	672	10%	27	58	1,159	12%	46	62	148	6%	5.9	54
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

43. 熊本県（2016年版）

資_図表 43-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム				軽費ホーム				グループホーム			
	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	223,346		13.6	(10.3)	22,728		1.4	(2.1)	191,184		11.6	(5.6)
熊本県	1,421	0.6%	5.1	42	50	0.2%	0.2	44	3,007	1.6%	10.9	49
熊本	985	69%	10.9	47	0	0%	0	43	788	26%	8.7	45
宇城	73	5%	3.9	41	0	0%	0	43	261	9%	14.1	54
有明	20	1%	0.7	37	50	100%	1.8	52	387	13%	13.6	53
鹿本	0	0%	0	37	0	0%	0	43	99	3%	9.4	46
菊池	130	9%	5.9	43	0	0%	0	43	234	8%	10.7	48
阿蘇	58	4%	4.4	41	0	0%	0	43	216	7%	16.3	58
上益城	0	0%	0	37	0	0%	0	43	153	5%	10.0	47
八代	49	3%	2.0	39	0	0%	0	43	221	7%	9.1	45
芦北	58	4%	5.6	42	0	0%	0	43	180	6%	17.3	60
球磨	0	0%	0	37	0	0%	0	43	198	7%	11.1	49
天草	48	3%	1.9	39	0	0%	0	43	270	9%	10.7	48
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 43-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)				サ高住 (特定 施設)				サ高住 (非特定 施設)			
	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	212,481		12.9	(6.7)	13,027		0.8	(1.6)	199,454		12.1	(6.3)
熊本県	3,244	1.5%	11.7	48	469	3.6%	1.7	56	2,775	1.4%	10.0	47
熊本	2,221	68%	24.5	67	410	87%	4.5	73	1,811	65%	20.0	63
宇城	145	4%	7.8	42	0	0%	0	45	145	5%	7.8	43
有明	130	4%	4.6	38	0	0%	0	45	130	5%	4.6	38
鹿本	50	2%	4.8	38	0	0%	0	45	50	2%	4.8	38
菊池	142	4%	6.5	40	0	0%	0	45	142	5%	6.5	41
阿蘇	94	3%	7.1	41	21	4%	1.6	55	73	3%	5.5	40
上益城	98	3%	6.4	40	0	0%	0	45	98	4%	6.4	41
八代	176	5%	7.2	42	0	0%	0	45	176	6%	7.2	42
芦北	25	1%	2.4	34	0	0%	0	45	25	1%	2.4	35
球磨	140	4%	7.9	43	38	8%	2.1	58	102	4%	5.7	40
天草	23	1%	0.9	32	0	0%	0	45	23	1%	0.9	32
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成28年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 43-25 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事看護師数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)				看護師数 (訪問)			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	160,468		9.7	(2.4)	118,281		7.2	(2.2)	42,186		2.6	(0.8)
熊本県	3,954	2.5%	14.3	69	3,146	2.7%	11.4	69	808	1.9%	2.9	54
熊本	1,413	36%	15.6	75	1,109	35%	12.2	73	304	38%	3.4	59
宇城	236	6%	12.7	63	177	6%	9.6	61	58	7%	3.1	57
有明	369	9%	12.9	63	305	10%	10.7	66	64	8%	2.3	46
鹿本	95	2%	9.1	47	79	3%	7.6	52	16	2%	1.5	37
菊池	376	10%	17.2	81	306	10%	14.0	81	70	9%	3.2	57
阿蘇	163	4%	12.3	61	127	4%	9.6	61	36	4%	2.7	52
上益城	222	6%	14.5	70	174	6%	11.4	69	49	6%	3.2	57
八代	313	8%	12.9	63	228	7%	9.3	60	86	11%	3.5	61
芦北	174	4%	16.7	79	138	4%	13.2	78	36	4%	3.5	61
球磨	281	7%	15.8	76	219	7%	12.3	74	62	8%	3.5	61
天草	312	8%	12.3	61	284	9%	11.2	69	28	3%	1.1	33
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 43-26 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (介護施設等)				介護職員数 (在宅)			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (介護施設等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	1,482,791		90	(12.3)	1,259,191		77	(11.5)	223,600		13.6	(5.5)
熊本県	25,790	1.7%	93	53	21,865	1.7%	79	52	3,925	1.8%	14.2	51
熊本	8,689	34%	96	55	6,980	32%	77	50	1,709	44%	18.9	60
宇城	1,844	7%	100	58	1,559	7%	84	57	285	7%	15.4	53
有明	2,526	10%	88	49	2,134	10%	75	48	392	10%	13.7	50
鹿本	869	3%	83	44	772	4%	74	47	97	2%	9.3	42
菊池	2,020	8%	92	52	1,733	8%	79	52	288	7%	13.1	49
阿蘇	1,215	5%	92	51	1,132	5%	86	58	83	2%	6.3	37
上益城	1,517	6%	99	57	1,366	6%	89	61	151	4%	9.9	43
八代	2,232	9%	92	51	1,770	8%	73	47	462	12%	18.9	60
芦北	969	4%	93	53	876	4%	84	57	93	2%	9.0	42
球磨	1,706	7%	96	55	1,533	7%	86	58	173	4%	9.7	43
天草	2,203	9%	87	48	2,010	9%	80	53	193	5%	7.6	39
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

43. 熊本県（2016年版）

資_図表 43-27 在宅医療・介護サービス利用者数（月間）

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		65	(31)	412,167		25	(11)	1,493,642		91	(31)
熊本県	10,916	1.0%	39	42	6,091	1.5%	22	47	25,338	1.7%	92	50
熊本	5,056	46%	56	47	2,814	46%	31	56	11,946	47%	132	63
宇城	820	8%	44	43	359	6%	19	45	1,632	6%	88	49
有明	1,171	11%	41	42	553	9%	19	45	2,613	10%	92	50
鹿本	264	2%	25	37	103	2%	10	36	541	2%	52	37
菊池	362	3%	17	34	479	8%	22	47	1,775	7%	81	47
阿蘇	907	8%	69	51	216	4%	16	42	550	2%	42	34
上益城	255	2%	17	34	310	5%	20	46	955	4%	62	41
八代	517	5%	21	36	379	6%	16	41	2,295	9%	94	51
芦北	498	5%	48	44	213	3%	20	46	667	3%	64	41
球磨	235	2%	13	33	373	6%	21	46	929	4%	52	38
天草	831	8%	33	39	292	5%	12	37	1,435	6%	57	39

出典 平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの

資_図表 43-28 総人口の推移と医療需要の増減

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移 (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年 (推計)	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 2015医療 点数増減 率	2015→ 2025医療 点数増減 率	2005→ 2025医療 点数増減 率
全国		127,767,994	126,660,501	-1%	120,699,960	-6%	13%	5%	18%
熊本県		1,842,233	1,775,543	-4%	1,666,017	-10%	7%	2%	9%
熊本	地方都市型	727,978	733,560	1%	714,761	-2%	12%	7%	20%
宇城	地方都市型	113,366	107,512	-5%	99,030	-13%	5%	0%	6%
有明	地方都市型	173,921	162,478	-7%	148,269	-15%	3%	-1%	2%
鹿本	過疎地域型	57,726	52,771	-9%	47,216	-18%	2%	-3%	-2%
菊池	地方都市型	165,050	177,451	8%	178,831	8%	15%	9%	26%
阿蘇	過疎地域型	70,339	65,051	-8%	58,808	-16%	2%	-2%	1%
上益城	過疎地域型	89,755	84,612	-6%	78,026	-13%	4%	1%	5%
八代	地方都市型	150,118	138,376	-8%	124,094	-17%	5%	-2%	2%
芦北	過疎地域型	55,384	47,523	-14%	40,378	-27%	-3%	-7%	-10%
球磨	過疎地域型	100,694	88,953	-12%	77,632	-23%	-1%	-5%	-6%
天草	過疎地域型	137,902	117,256	-15%	98,972	-28%	-5%	-7%	-12%

出典 <人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など)
<人口(2015年、2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月

資_図表 43-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
熊本県	223	12.1	63	214	12.1	63	-9	-4%	204
熊本	102	14.0	68	94	12.8	65	-8	-8%	85
宇城	12	10.6	59	12	11.2	61	0	0%	12
有明	12	6.9	49	12	7.4	52	0	0%	12
鹿本	6	10.4	59	6	11.4	61	0	0%	6
菊池	16	9.7	57	16	9.0	56	0	0%	16
阿蘇	6	8.5	54	6	9.2	56	0	0%	6
上益城	13	14.5	69	13	15.4	71	0	0%	13
八代	13	8.7	54	13	9.4	57	0	0%	13
芦北	11	19.9	83	11	23.1	90	0	0%	11
球磨	13	12.9	65	13	14.6	69	0	0%	13
天草	19	13.8	67	18	15.4	71	-1	-5%	17
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 43-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
熊本県	1,485	81	52	1,471	83	52	-14	-1%	1,457
熊本	606	83	54	624	85	53	18	3%	644
宇城	72	64	44	70	65	43	-2	-3%	68
有明	152	87	56	130	80	50	-22	-14%	106
鹿本	48	83	54	44	83	52	-4	-8%	40
菊池	117	71	47	129	73	47	12	10%	142
阿蘇	45	64	44	49	75	48	4	9%	53
上益城	55	61	43	61	72	46	6	11%	68
八代	144	96	60	129	93	57	-15	-10%	113
芦北	50	90	57	46	97	59	-4	-8%	42
球磨	83	82	53	84	94	58	1	1%	85
天草	113	82	53	105	90	55	-8	-7%	96
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

43. 熊本県 (2016年版)

資_図表 43-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	246	(98)	40,834	15%	356,135
熊本県	4,584	249	54	5,156	290	55	572	12%	5,786
熊本	2,572	353	67	3,153	430	69	581	23%	3,792
宇城	169	149	43	187	174	43	18	11%	207
有明	316	182	46	300	185	44	-16	-5%	282
鹿本	102	177	46	98	186	44	-4	-4%	94
菊池	300	182	46	325	183	44	25	8%	353
阿蘇	82	117	39	96	148	40	14	17%	111
上益城	118	131	40	128	151	40	10	8%	139
八代	321	214	50	322	233	49	1	0%	323
芦北	147	265	56	143	301	56	-4	-3%	139
球磨	196	195	48	165	185	44	-31	-16%	131
天草	261	189	47	239	204	46	-22	-8%	215
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資_図表 43-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	133	(57)	-131,929	-7%	1,535,514
熊本県	44,270	240	68	40,637	229	67	-3,633	-8%	36,640
熊本	18,872	259	71	17,487	238	69	-1,385	-7%	15,964
宇城	2,205	195	59	2,203	205	63	-2	0%	2,201
有明	3,478	200	60	3,072	189	60	-406	-12%	2,625
鹿本	1,158	201	60	1,072	203	62	-86	-7%	977
菊池	4,531	275	74	4,021	227	67	-510	-11%	3,460
阿蘇	1,262	179	57	1,154	177	58	-108	-9%	1,035
上益城	1,555	173	56	1,462	173	57	-93	-6%	1,360
八代	3,401	227	65	2,995	216	65	-406	-12%	2,548
芦北	1,915	346	86	1,787	376	93	-128	-7%	1,646
球磨	2,105	209	62	1,908	214	64	-197	-9%	1,691
天草	3,788	275	74	3,476	296	79	-312	-8%	3,133
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 43-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	79	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
熊本県	22,141	120	63	21,569	121	66	-572	-3%	20,940	126
熊本	9,847	135	68	10,390	142	73	543	6%	10,987	154
宇城	882	78	48	982	91	55	100	11%	1,092	110
有明	1,402	81	49	1,237	76	49	-165	-12%	1,056	71
鹿本	664	115	61	594	113	62	-70	-11%	517	109
菊池	2,969	180	84	2,619	148	75	-350	-12%	2,234	125
阿蘇	448	64	43	460	71	47	12	3%	473	80
上益城	596	66	44	499	59	43	-97	-16%	392	50
八代	1,752	117	62	1,542	111	62	-210	-12%	1,311	106
芦北	1,073	194	89	952	200	95	-121	-11%	819	203
球磨	1,041	103	57	886	100	58	-155	-15%	716	92
天草	1,467	106	58	1,408	120	65	-59	-4%	1,343	136
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資_図表 43-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
熊本県	12,775	58	65	9,923	36	63	-2,852	-22%	6,784	21
熊本	5,513	83	79	3,807	42	68	-1,706	-31%	1,930	16
宇城	715	48	59	521	28	56	-194	-27%	308	15
有明	1,068	45	57	855	30	58	-213	-20%	621	19
鹿本	250	28	48	234	22	51	-16	-6%	216	19
菊池	680	41	55	503	23	52	-177	-26%	308	11
阿蘇	540	49	60	420	32	60	-120	-22%	288	20
上益城	572	46	58	576	38	65	4	1%	580	34
八代	829	44	57	633	26	55	-196	-24%	417	15
芦北	462	51	61	451	43	70	-11	-2%	439	41
球磨	640	43	56	614	35	62	-26	-4%	585	32
天草	1,506	67	70	1,309	52	77	-197	-13%	1,092	43
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

43. 熊本県（2016年版）

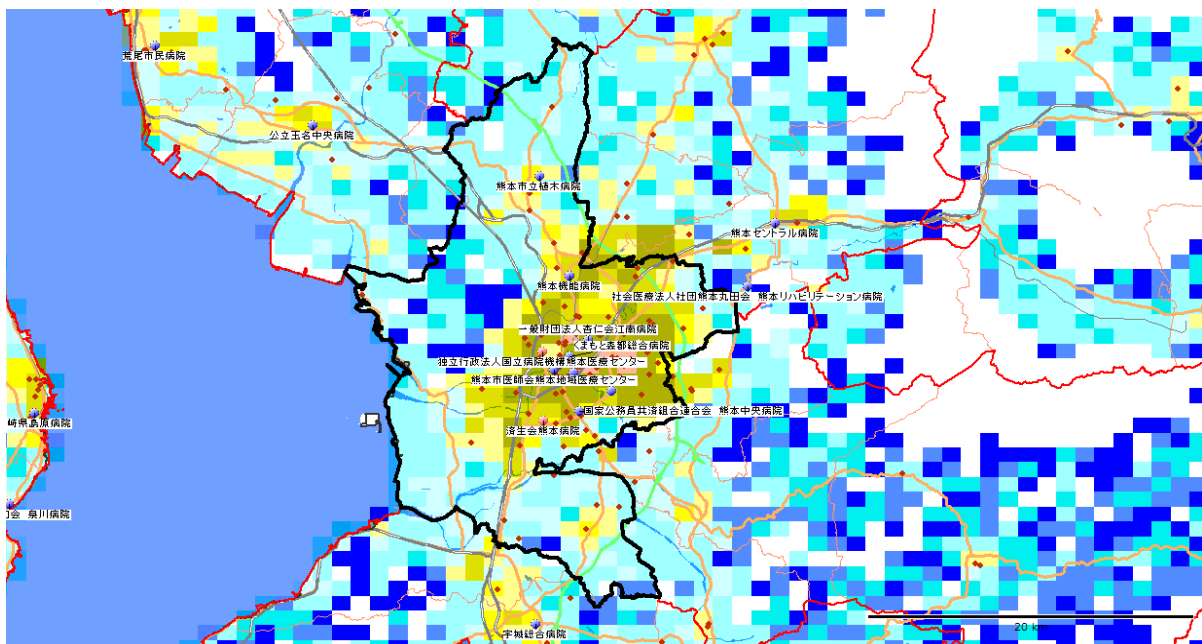
資_図表 43-35【補足】 市町村国民健康保険 診療種別、1人当たり実績医療費⁹

二次医療圏	医療費総計 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数
全国	327	(42)	1.000	126	(29)	1.000	177	(17)	1.000
熊本県	365	59	1.122	160	62	1.273	184	54	1.046
熊本	346	54	1.101	149	58	1.231	175	49	1.034
宇城	361	58	1.103	156	60	1.232	185	54	1.046
有明	402	68	1.182	178	68	1.352	201	64	1.095
鹿本	358	57	1.076	161	62	1.254	174	48	0.967
菊池	356	57	1.113	158	61	1.285	176	49	1.017
阿蘇	348	55	1.053	155	60	1.213	173	48	0.970
上益城	362	58	1.086	163	63	1.266	178	51	0.990
八代	357	57	1.096	155	60	1.229	181	53	1.034
芦北	515	94	1.416	230	86	1.630	265	101	1.345
球磨	367	59	1.081	151	59	1.148	194	60	1.056
天草	399	67	1.174	183	70	1.390	196	61	1.068
出典	平成26年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

43-1. くまもと 熊本医療圏

構成市区町村¹⁰ [中央区](#) [東区](#) [西区](#) [南区](#)
[北区](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

（熊本医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 熊本(熊本市中央区)は、総人口約734千人(2015年推計)、面積390km²、人口密度は1883人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 熊本の総人口は2025年に715千人へと減少し(2015年比-3%)、2040年に659千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の91千人が、2025年にかけて117千人へと増加し(2015年比+29%)、2040年には134千人へと増加する(2025年比+15%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 熊本の一人当たり医療費(国保)は329千円(偏差値53)、介護給付費は279千円(偏差値57)であり、医療費はやや高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 熊本の一人当たり急性期医療密度指数²は1.57、一人当たり慢性期医療密度指数²は2.24で、急性期の医療も慢性期の医療もかなり余裕がある。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が66(病院医師数70、診療所医師数54)と、総医師数、特に病院医師数は非常に多いが、診療所医師数は全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は78と非常に多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は70で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は68と非常に多い。熊本には、年間全身麻酔件数が2000例以上の熊本市立熊本市市民病院(Ⅲ群)、済生会熊本病院(Ⅱ群・救命)、熊本赤十字病院(Ⅱ群・救命)、国立病院機構熊本医療センター(Ⅱ群・救命)、熊本大学医学部附属病院(Ⅰ群)、1000例以上の熊本中央病院(Ⅲ群)、熊本整形外科病院(Ⅲ群)、熊本機能病院(Ⅲ群)、500例以上の熊本地域医療センター(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は61と療養病床数は多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値74と非常に多く、回復期病床数は偏差値71と非常に多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は58で精神病床数は多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は53で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 熊本の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、9279人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が5285床(偏差値49)、高齢者住宅等が3994床(偏差値53)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6980人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設53、特別養護老人ホーム40、介護療養型医療施設67、有料老人ホーム47、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム45、サ高住67である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値52と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値70と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値62と多い。介護職員(在宅)の合計は、1709人(75歳以上1000人当たりの偏差値60)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は-47%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

熊本医療圏の総人口は、2005年727978人が、2015年に733560人と1%増加し、2025年の人口が714761人と予測され、2005年→2025年の間に2%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に12%増加し、2015年から2025年にかけて7%程度の増加が予測される。

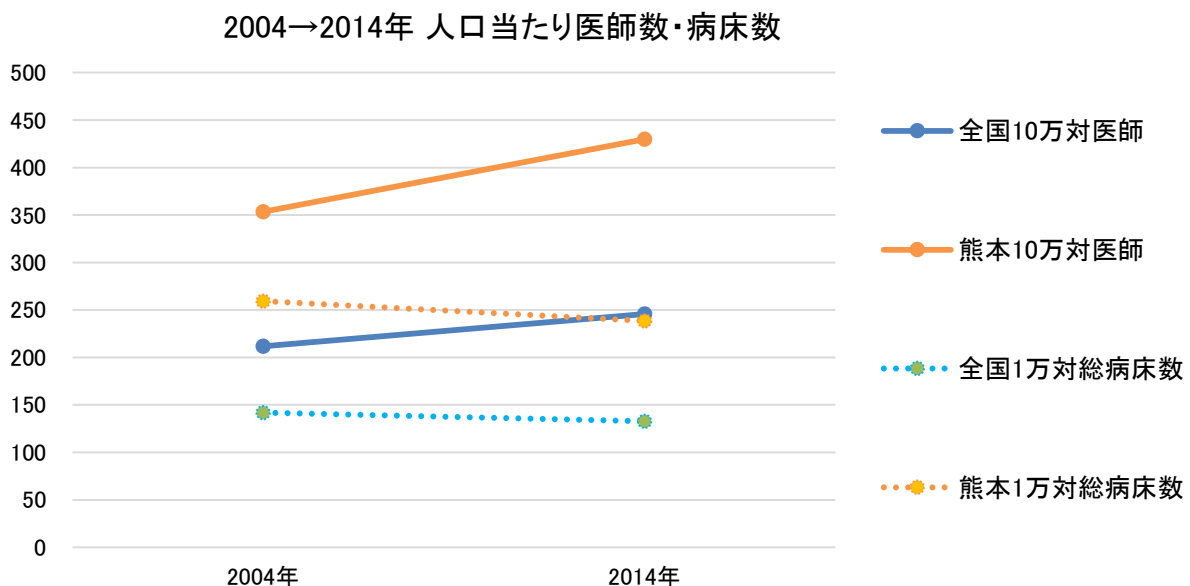
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が102(人口10万人当たり14病院(全国平均7.1)偏差値68)であったが、2014年に94(人口10万人当たり12.8病院(全国平均6.7)偏差値65)となり、10年間で8病院が減少した。

2004年の診療所数が606(人口10万人当たり83診療所(全国平均76)偏差値54)であったが、2014年に624(人口10万人当たり85診療所(全国平均79)偏差値53)と、18診療所が増加した。

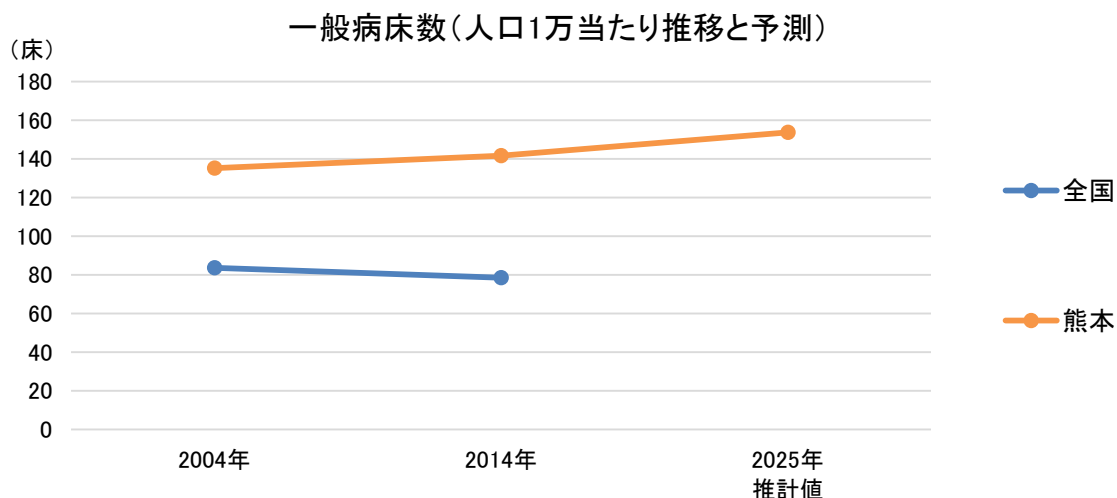
2004年の総病床数が18872床(人口1万人当たり259(全国平均142)偏差値71)であったが、2014年に17487床(人口1万人当たり238(全国平均133)偏差値69)と、1385床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が2572人(人口10万人当たり353人(全国平均212人)偏差値67)であったが、2014年に3153人(人口10万人当たり430人(全国平均246人)偏差値69)と、581人の増加、率にして23%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



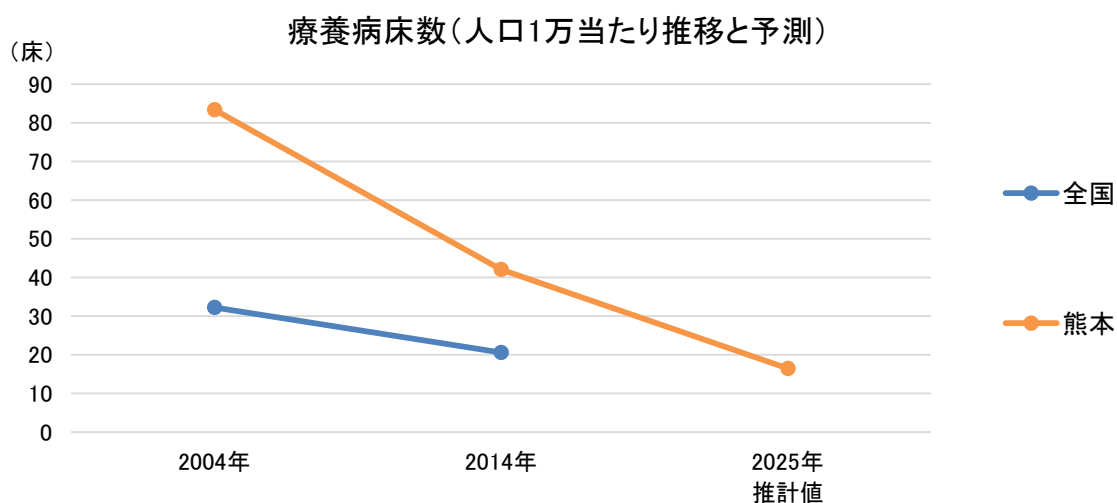
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が9847床(人口1万人当たり135(全国平均84)偏差値68)であったが、2014年に10390床(人口1万人当たり142(全国平均79)偏差値73)と、543床の増加、率にして6%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には10987床(2025年の推計人口1万人当たり154)になることが予想される。



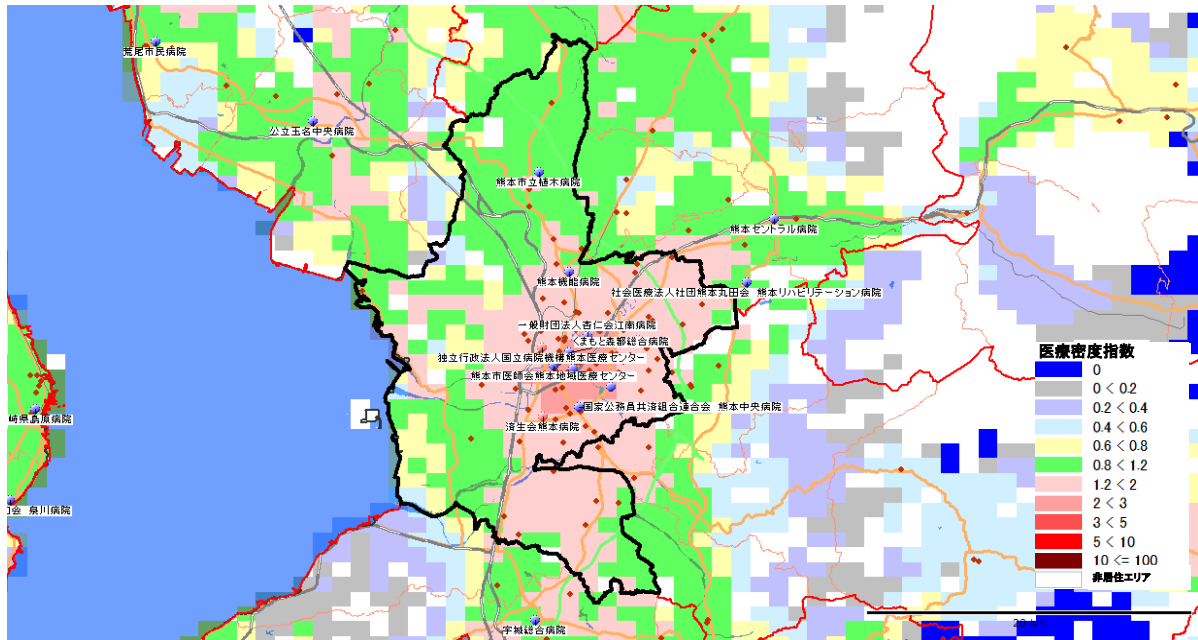
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が5513床(75歳以上1000人当たり83(全国平均32)偏差値79)であったが、2014年に3807床(75歳以上1000人当たり42(全国平均21)偏差値68)と、1706床の減少、率にして31%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1930床(2025年の推計75歳以上1000人当たり16)になることが予想される。

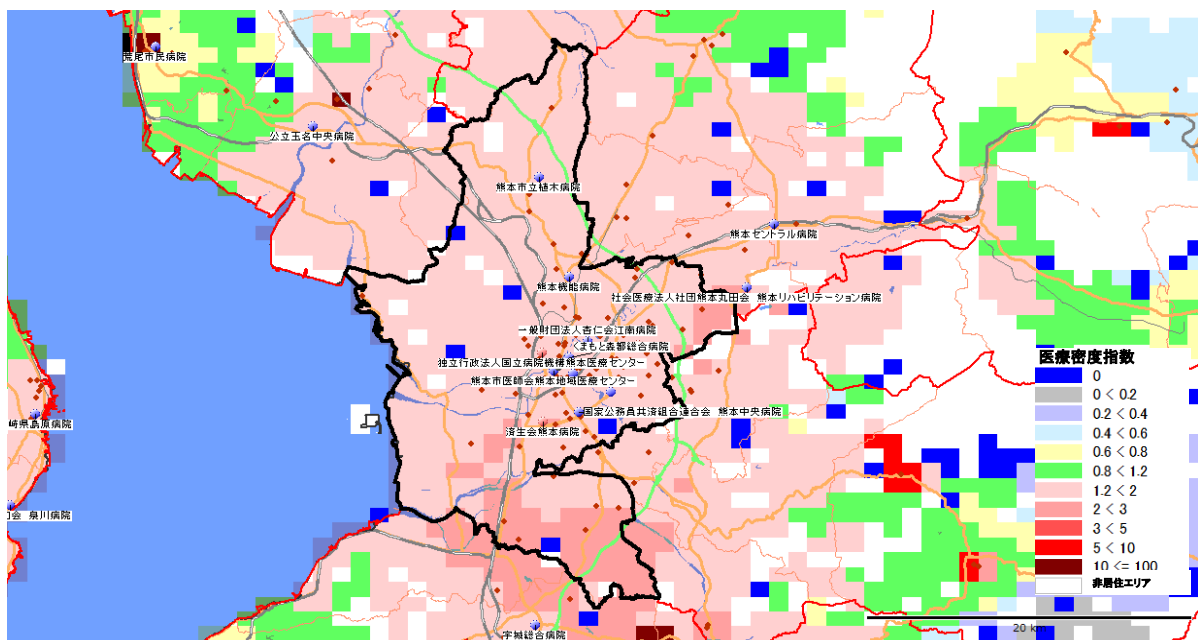


3. 医療密度⁵

図表43-1-1 急性期医療密度指数マップ



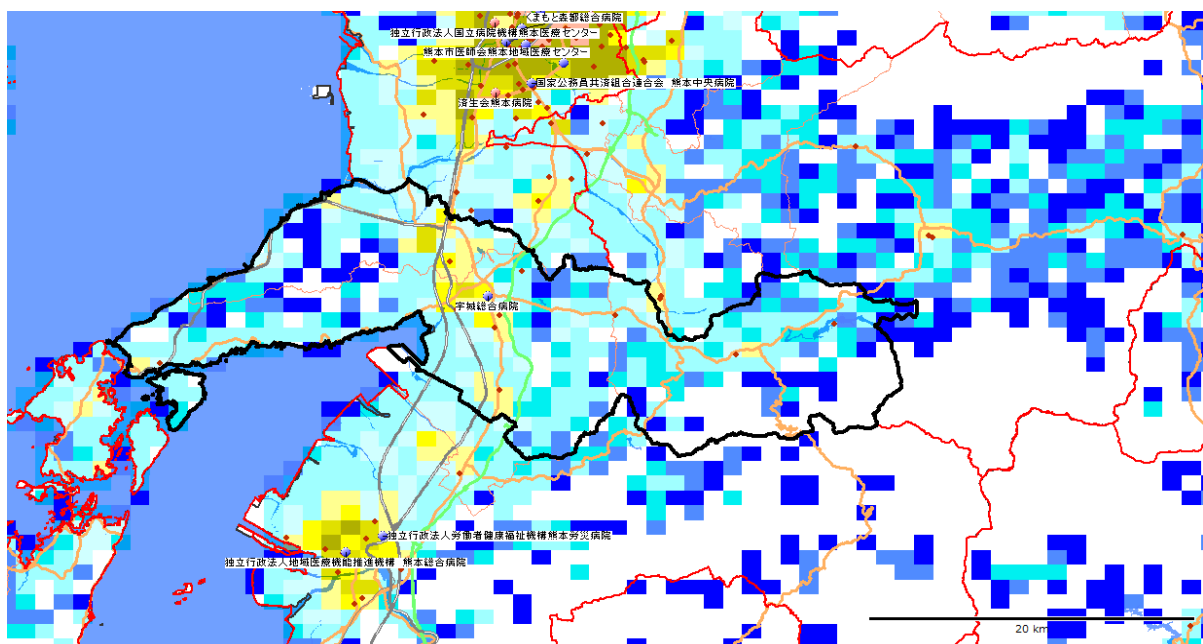
図表43-1-2 慢性期医療密度指数マップ



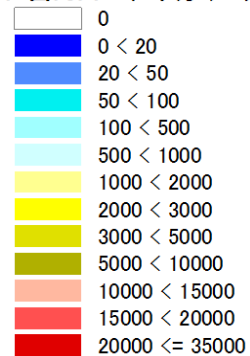
43-2. う き 宇城医療圏

構成市区町村¹⁰ [宇土市](#) [宇城市](#) [美里町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群
一般病院

(宇城医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 宇城(宇土市)は、総人口約108千人(2015年推計)、面積407km²、人口密度は264人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 宇城の総人口は2025年に99千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に85千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の19千人が、2025年にかけて21千人へと増加し(2015年比+11%)、2040年には22千人へと増加する(2025年比+5%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 宇城の一人当たり医療費(国保)は343千円(偏差値56)、介護給付費は283千円(偏差値58)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 宇城の一人当たり急性期医療密度指数²は0.91、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.99で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が42(病院医師数41、診療所医師数46)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は58と多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は49で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は36と少ない。宇城には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は59と療養病床数は多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値62と多く、回復期病床数は偏差値62と多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は65で精神病床数は多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は43で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 宇城の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1817人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1338床(偏差値60)、高齢者住宅等が479床(偏差値41)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1559人(75歳以上1000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設47、特別養護老人ホーム63、介護療養型医療施設52、有料老人ホーム41、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム54、サ高住42である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値54とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、285人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は-7%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

宇城医療圏の総人口は、2005年113366人が、2015年に107512人と5%減少し、2025年の人口が99030人と予測され、2005年→2025年の間に13%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

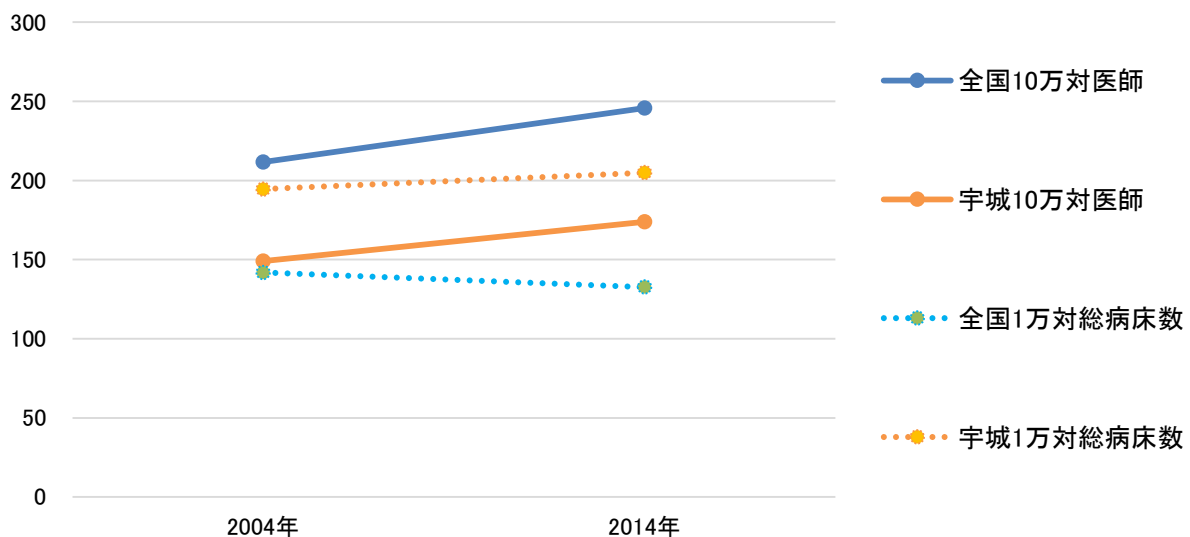
2004年の病院数が12(人口10万人当たり10.6病院(全国平均7.1)偏差値59)であったが、2014年に12(人口10万人当たり11.2病院(全国平均6.7)偏差値61)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が72(人口10万人当たり64診療所(全国平均76)偏差値44)であったが、2014年に70(人口10万人当たり65診療所(全国平均79)偏差値43)と、2診療所が減少した。

2004年の総病床数が2205床(人口1万人当たり195(全国平均142)偏差値59)であったが、2014年に2203床(人口1万人当たり205(全国平均133)偏差値63)と、2床の減少、率にして1%未満の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

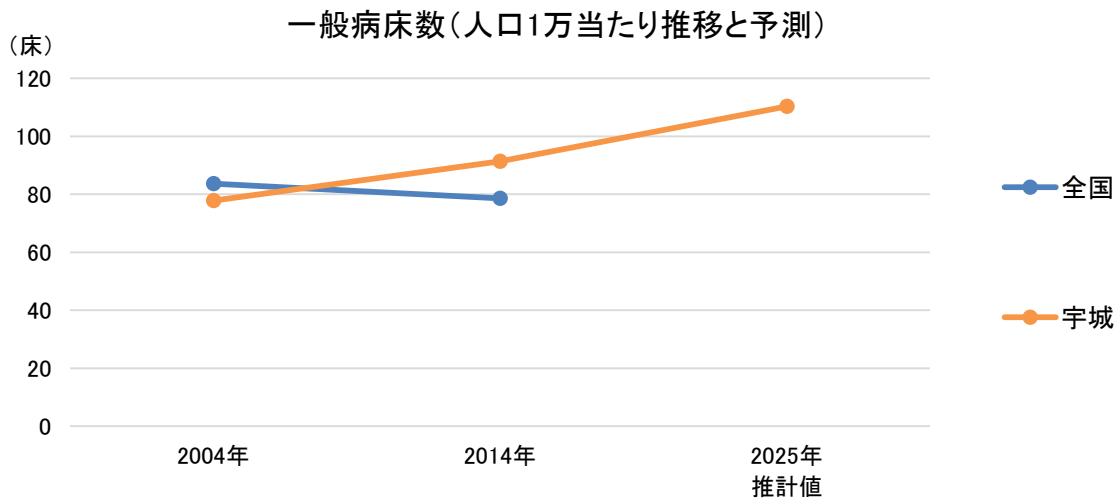
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が169人(人口10万人当たり149人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2014年に187人(人口10万人当たり174人(全国平均246人)偏差値43)と、18人の増加、率にして11%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



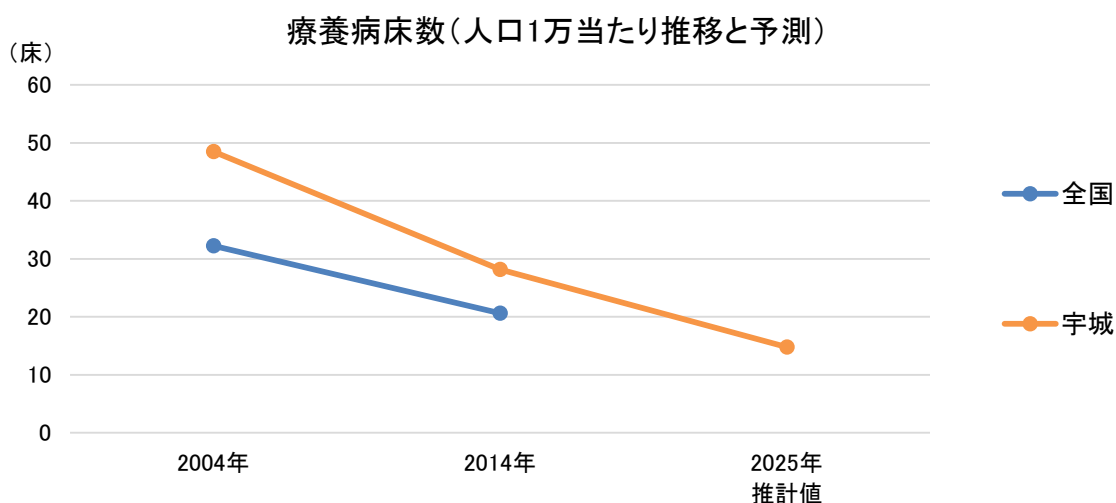
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が882床(人口1万人当たり78(全国平均84)偏差値48)であったが、2014年に982床(人口1万人当たり91(全国平均79)偏差値55)と、100床の増加、率にして11%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には1092床(2025年の推計人口1万人当たり110)になることが予想される。



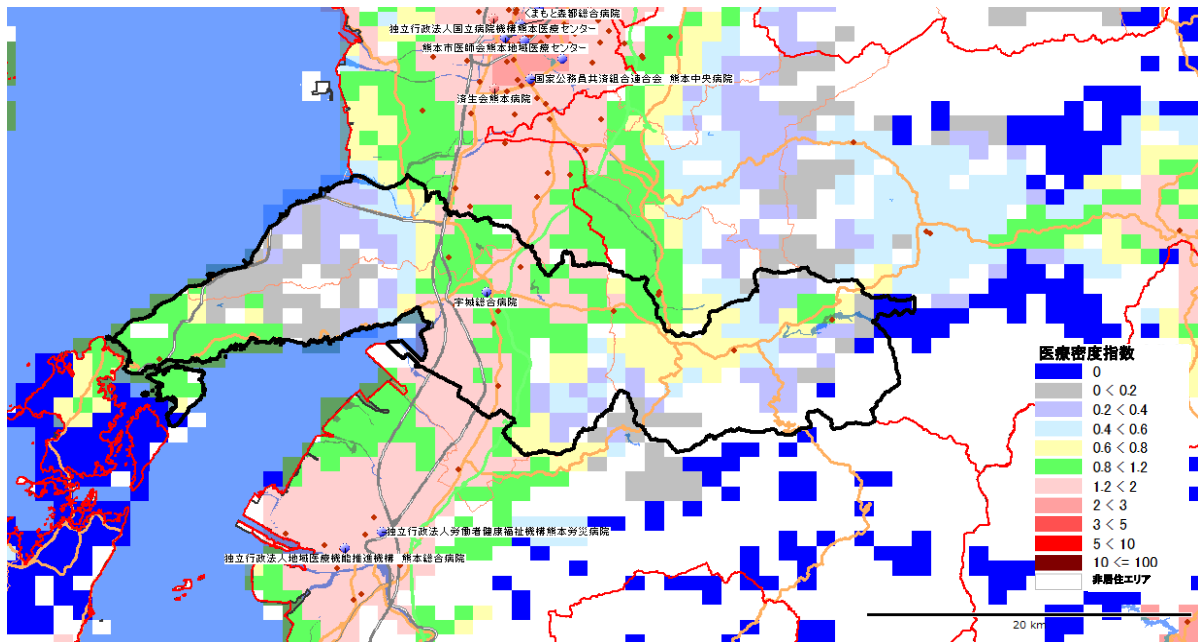
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が715床(75歳以上1000人当たり48(全国平均32)偏差値59)であったが、2014年に521床(75歳以上1000人当たり28(全国平均21)偏差値56)と、194床の減少、率にして27%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には308床(2025年の推計75歳以上1000人当たり15)になることが予想される。

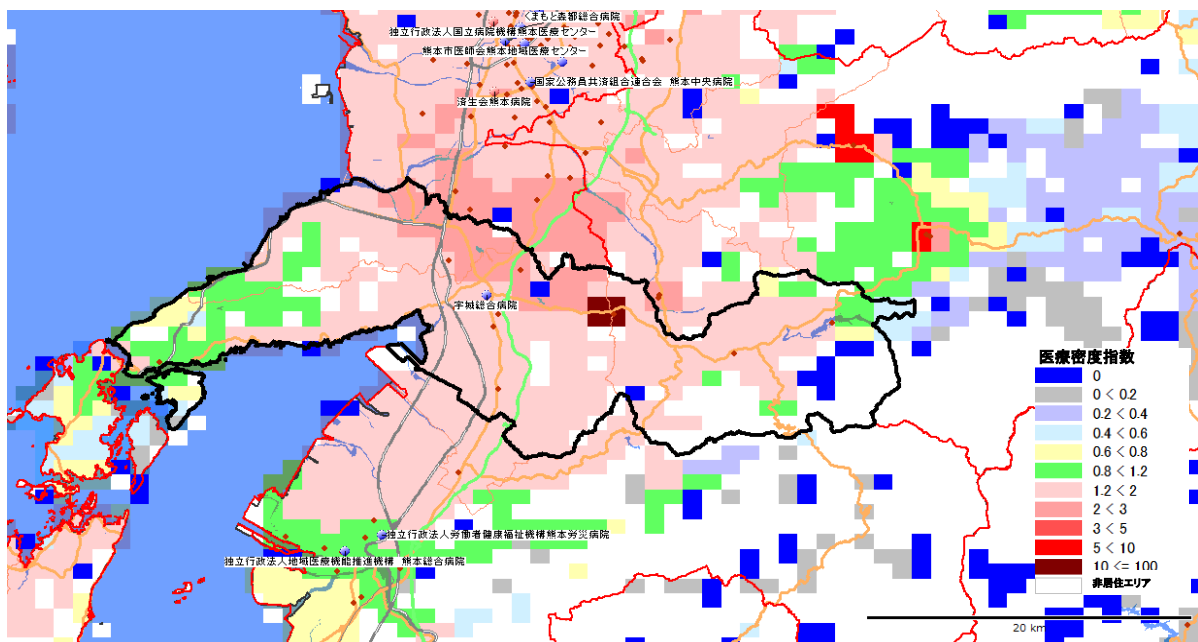


3. 医療密度⁵

図表43-2-1 急性期医療密度指数マップ



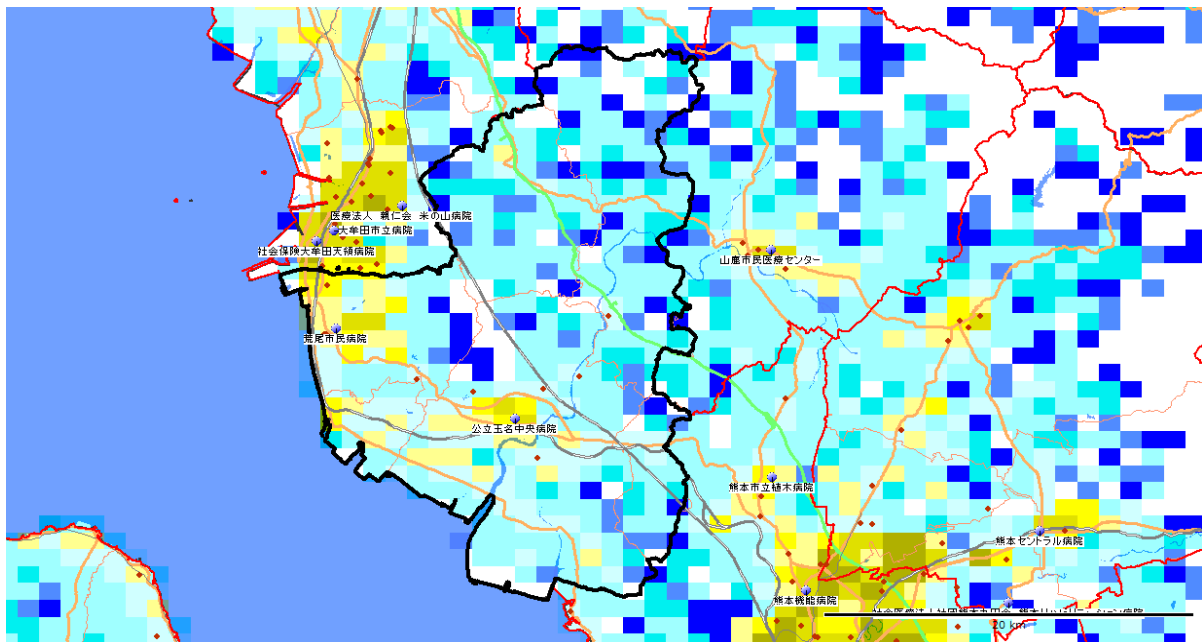
図表43-2-2 慢性期医療密度指数マップ



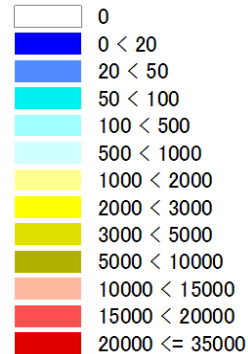
43-3. ありあけ 有明医療圏

構成市区町村¹⁰ [荒尾市](#) [玉名市](#) [玉東町](#) [南関町](#)
[長洲町](#) [和水町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群
一般病院

（有明医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 有明（荒尾市）は、総人口約162千人（2015年推計）、面積421km²、人口密度は386人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 有明の総人口は2025年に148千人へと減少し（2015年比－9%）、2040年に125千人へと減少する（2025年比－16%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の29千人が、2025年にかけて32千人へと増加し（2015年比＋10%）、2040年には31千人へと減少する（2025年比－3%）ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 有明の一人当たり医療費（国保）は385千円（偏差値66）、介護給付費は300千円（偏差値63）であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 有明の一人当たり急性期医療密度指数²は0.91、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.19で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が44（病院医師数40、診療所医師数52）と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は55とやや多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は40で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。有明には、年間全身麻酔件数が500例以上の公立玉名中央病院（Ⅲ群）、荒尾市民病院（Ⅲ群）がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は60と療養病床数は多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値51と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値52と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は65で精神病床数は多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 有明の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、2536人（75歳以上1000人当たりの偏差値44）と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1949床（偏差値57）、高齢者住宅等が587床（偏差値37）である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、2134人（75歳以上1000人当たりの偏差値48）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設53、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設65、有料老人ホーム37、軽費ホーム52、グループホーム53、サ高住38である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値53とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値56と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値41と少ない。介護職員（在宅）の合計は、392人（75歳以上1000人当たりの偏差値50）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は－3%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

有明医療圏の総人口は、2005年173921人が、2015年に162478人と7%減少し、2025年の人口が148269人と予測され、2005年→2025年の間に15%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

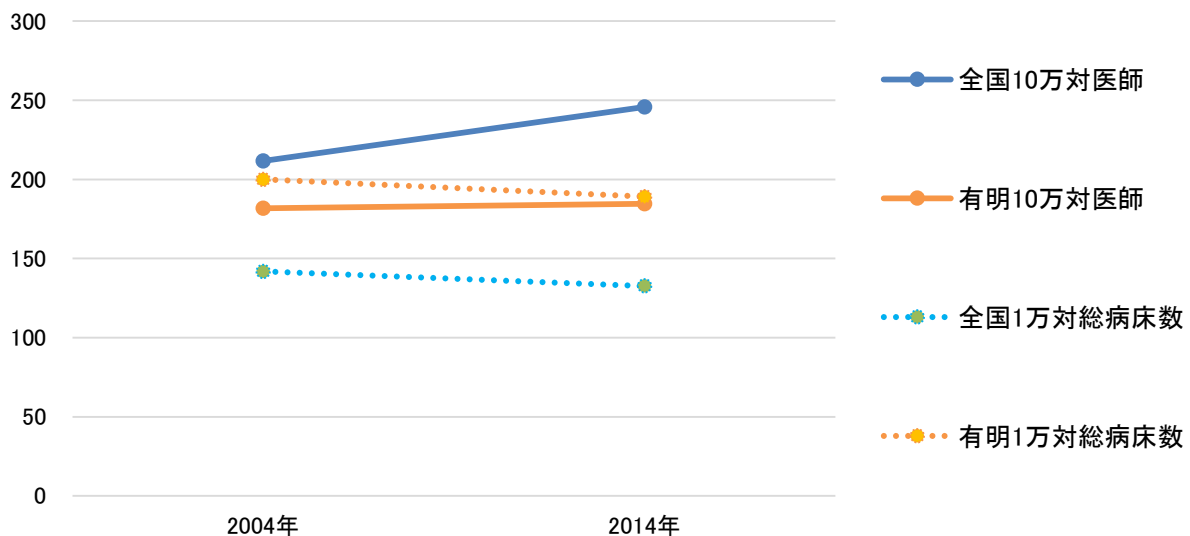
2004年の病院数が12(人口10万人当たり6.9病院(全国平均7.1)偏差値49)であったが、2014年に12(人口10万人当たり7.4病院(全国平均6.7)偏差値52)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が152(人口10万人当たり87診療所(全国平均76)偏差値56)であったが、2014年に130(人口10万人当たり80診療所(全国平均79)偏差値50)と、22診療所が減少した。

2004年の総病床数が3478床(人口1万人当たり200(全国平均142)偏差値60)であったが、2014年に3072床(人口1万人当たり189(全国平均133)偏差値60)と、406床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

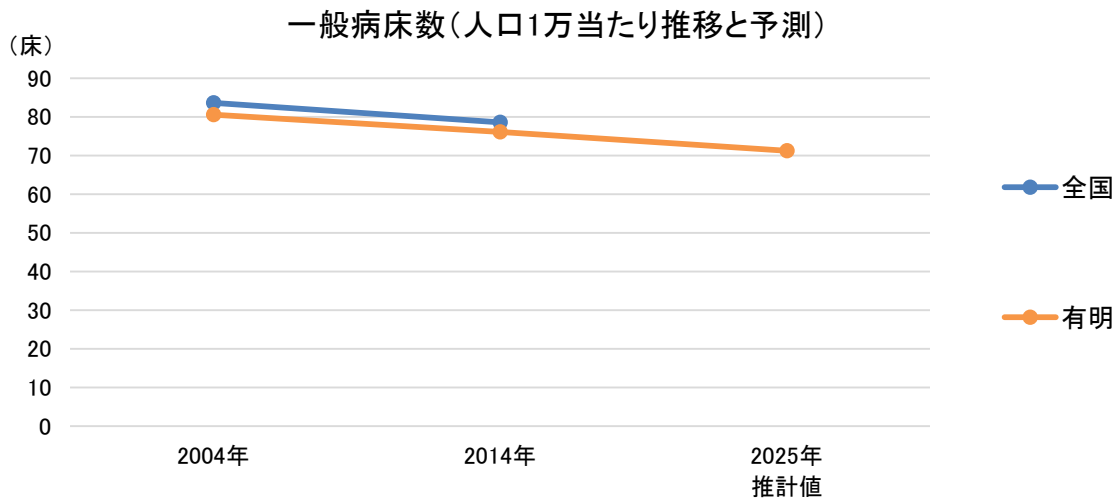
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が316人(人口10万人当たり182人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2014年に300人(人口10万人当たり185人(全国平均246人)偏差値44)と、16人の減少、率にして5%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



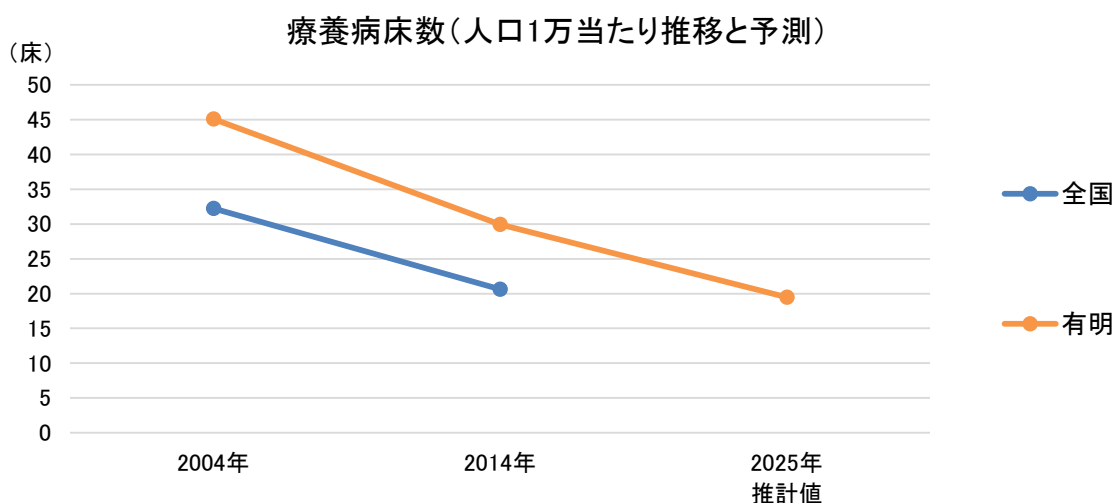
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1402床(人口1万人当たり81(全国平均84)偏差値49)であったが、2014年に1237床(人口1万人当たり76(全国平均79)偏差値49)と、165床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1056床(2025年の推計人口1万人当たり71)になることが予想される。



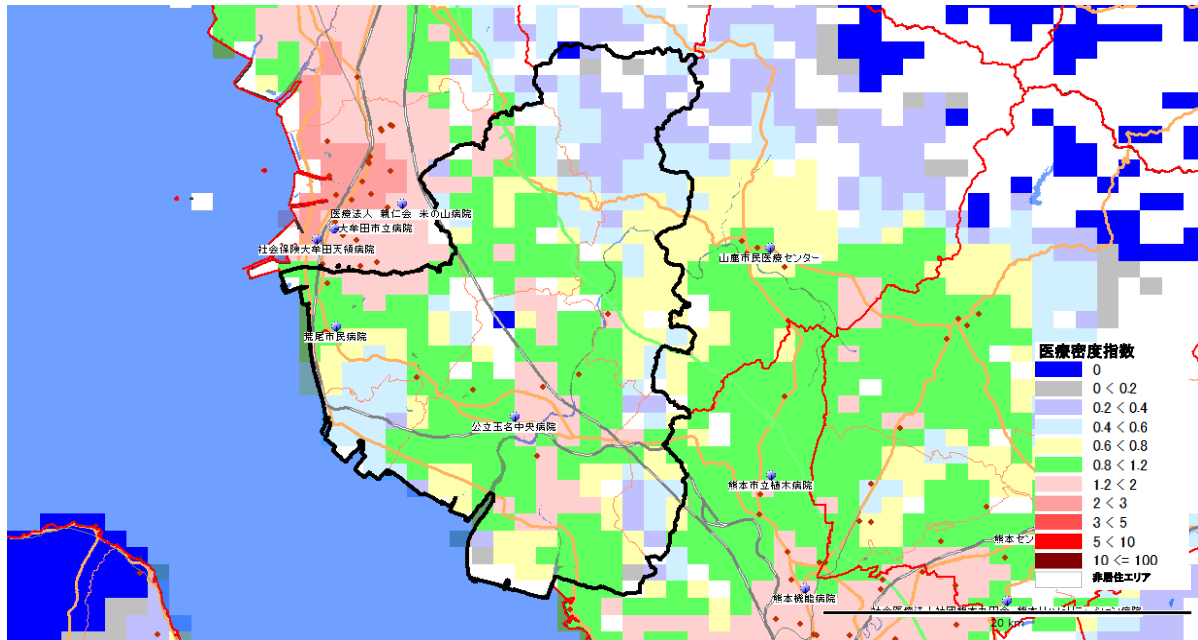
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1068床(75歳以上1000人当たり45(全国平均32)偏差値57)であったが、2014年に855床(75歳以上1000人当たり30(全国平均21)偏差値58)と、213床の減少、率にして20%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には621床(2025年の推計75歳以上1000人当たり19)になることが予想される。

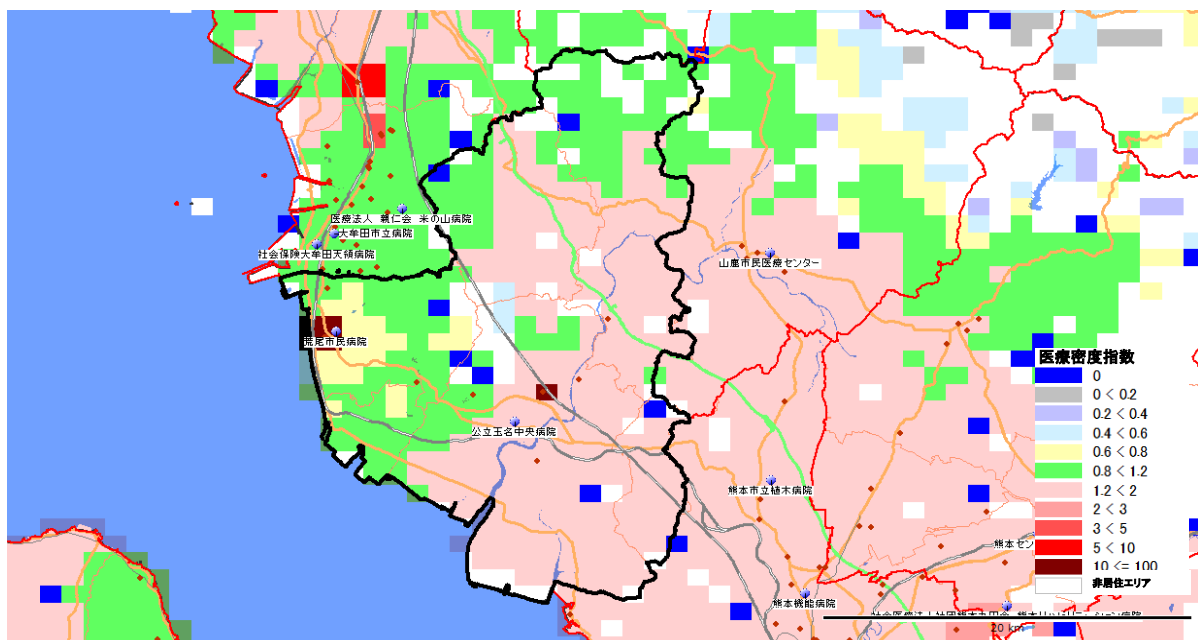


3. 医療密度⁵

図表43-3-1 急性期医療密度指数マップ



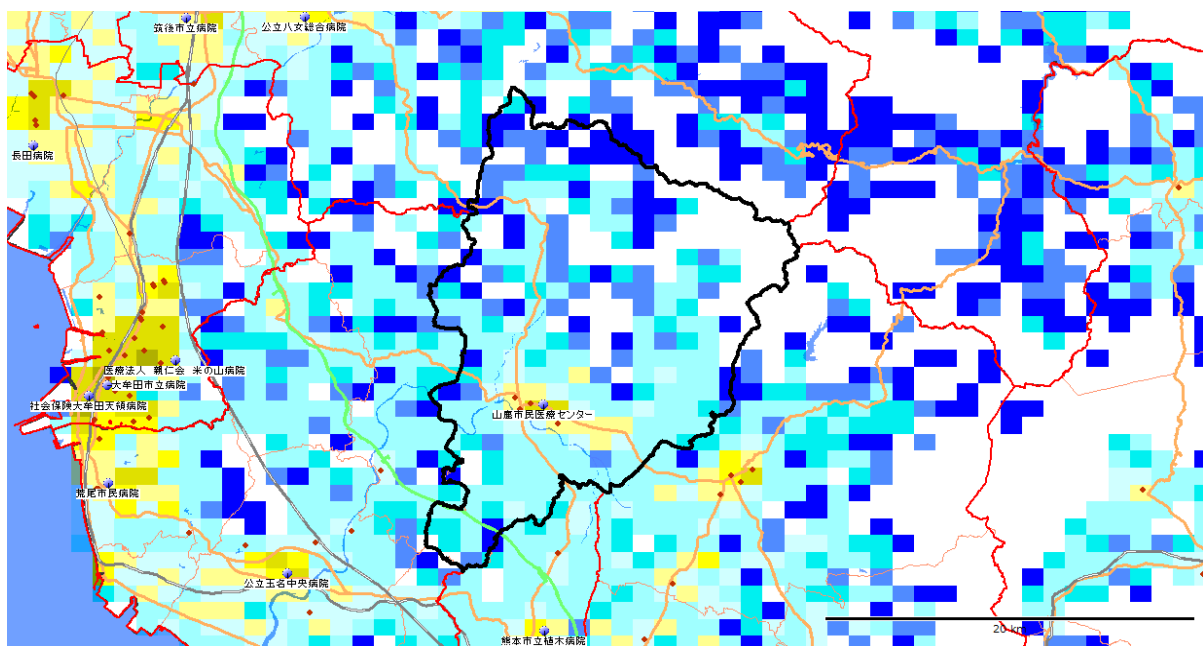
図表43-3-2 慢性期医療密度指数マップ



43-4. かもと 鹿本医療圏

構成市区町村¹⁰ [山鹿市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群
一般病院

(鹿本医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 鹿本(山鹿市)は、総人口約53千人(2015年推計)、面積300km²、人口密度は176人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 鹿本の総人口は2025年に47千人へと減少し(2015年比-11%)、2040年に39千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の10千人が、2025年にかけて11千人へと増加し(2015年比+10%)、2040年には11千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 鹿本の一人当たり医療費(国保)は339千円(偏差値55)、介護給付費は283千円(偏差値58)であり、医療費はやや高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 鹿本の一人当たり急性期医療密度指数²は0.7、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.09で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が46(病院医師数44、診療所医師数50)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は62と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は50で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。鹿本には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は58と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値54とやや多く、回復期病床数は偏差値67と非常に多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は59で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 鹿本の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、843人(75歳以上1000人当たりの偏差値39)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が694床(偏差値55)、高齢者住宅等が149床(偏差値33)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、772人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム58、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム46、サ高住38である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値49と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値69と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値44と少ない。介護職員(在宅)の合計は、97人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は-9%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

鹿本医療圏の総人口は、2005年57726人が、2015年に52771人と9%減少し、2025年の人口が47216人と予測され、2005年→2025年の間に18%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に2%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

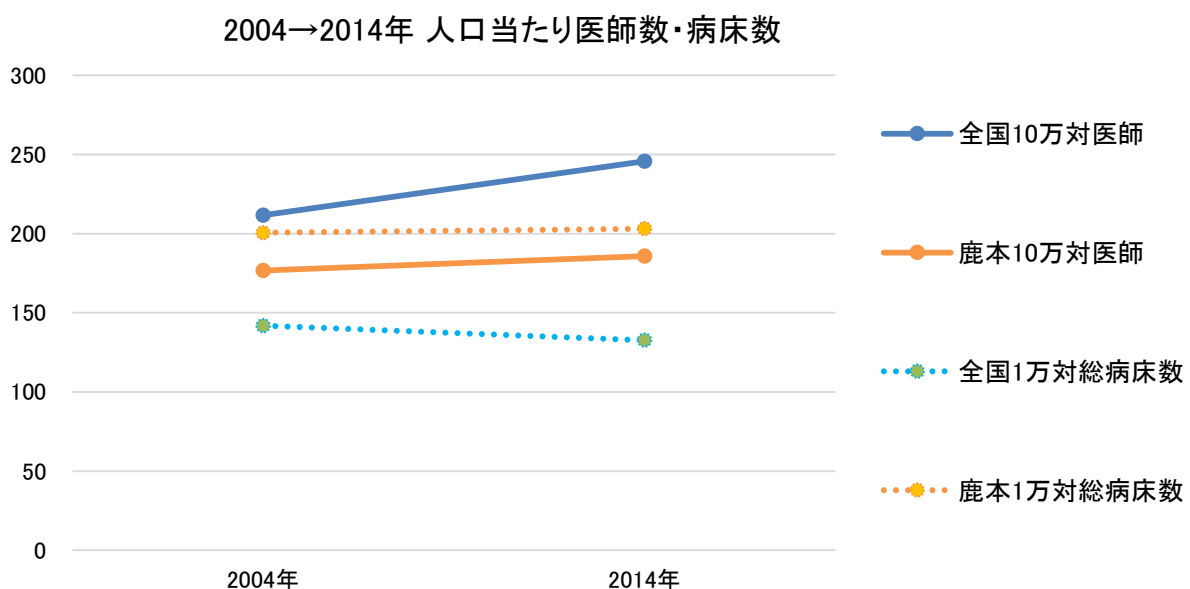
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が6(人口10万人当たり10.4病院(全国平均7.1)偏差値59)であったが、2014年に6(人口10万人当たり11.4病院(全国平均6.7)偏差値61)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が48(人口10万人当たり83診療所(全国平均76)偏差値54)であったが、2014年に44(人口10万人当たり83診療所(全国平均79)偏差値52)と、4診療所が減少した。

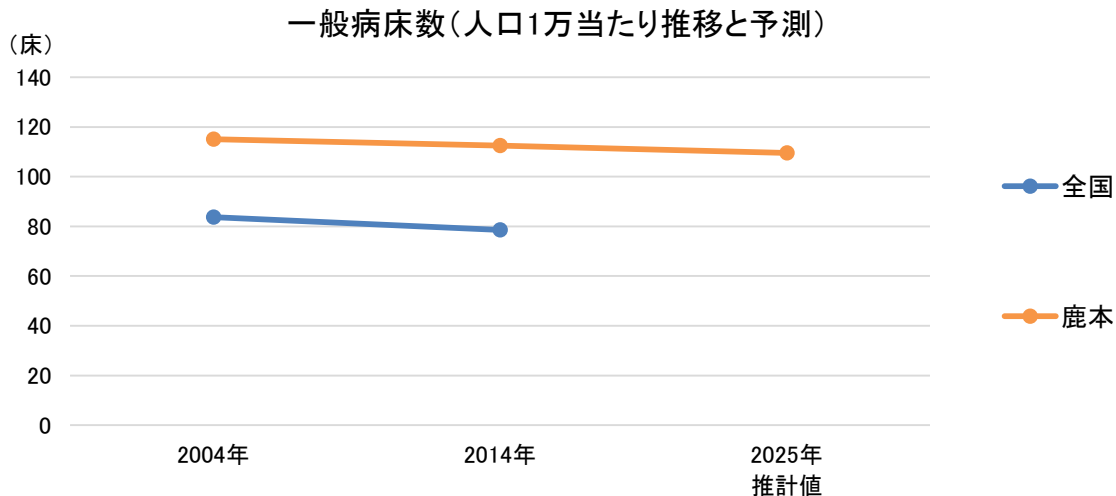
2004年の総病床数が1158床(人口1万人当たり201(全国平均142)偏差値60)であったが、2014年に1072床(人口1万人当たり203(全国平均133)偏差値62)と、86床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が102人(人口10万人当たり177人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2014年に98人(人口10万人当たり186人(全国平均246人)偏差値44)と、4人の減少、率にして4%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



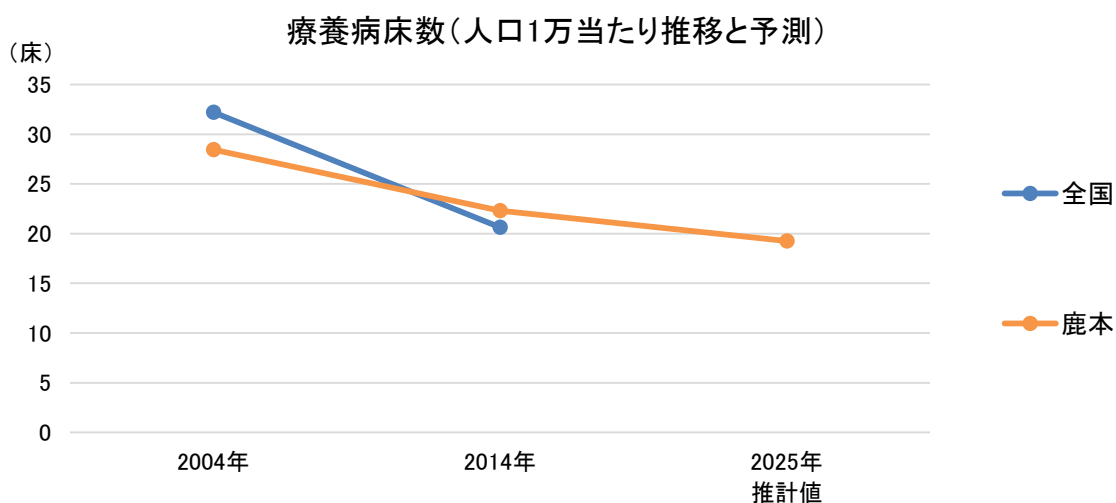
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が664床(人口1万人当たり115(全国平均84)偏差値61)であったが、2014年に594床(人口1万人当たり113(全国平均79)偏差値62)と、70床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には517床(2025年の推計人口1万人当たり109)になることが予想される。



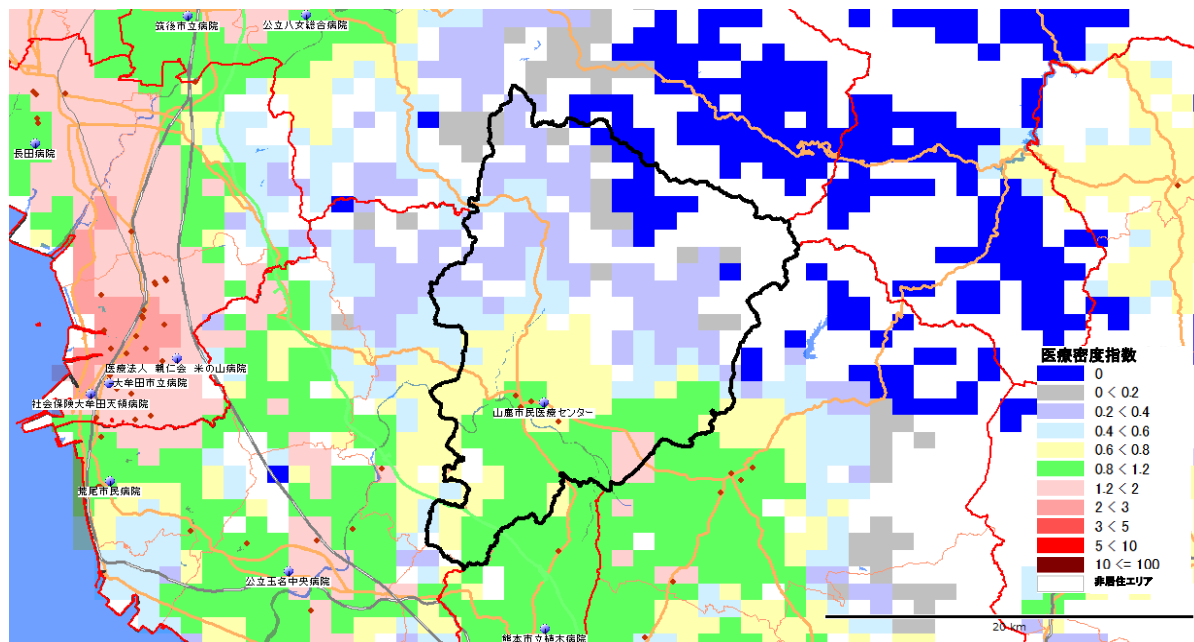
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が250床(75歳以上1000人当たり28(全国平均32)偏差値48)であったが、2014年に234床(75歳以上1000人当たり22(全国平均21)偏差値51)と、16床の減少、率にして6%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には216床(2025年の推計75歳以上1000人当たり19)になることが予想される。

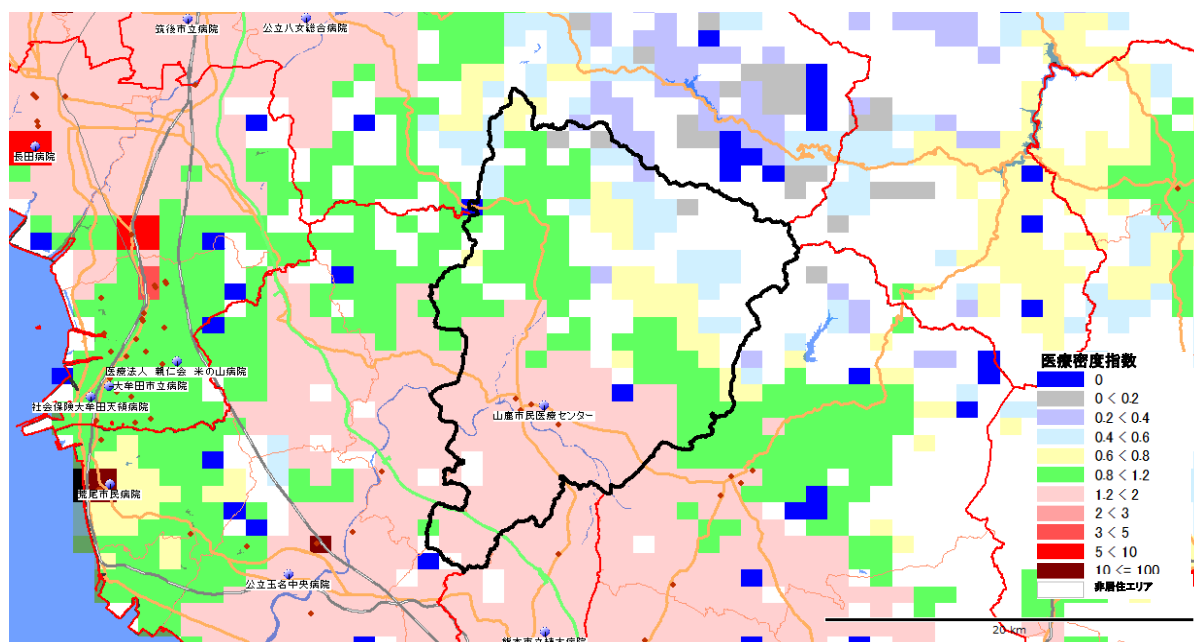


3. 医療密度⁵

図表43-4-1 急性期医療密度指数マップ



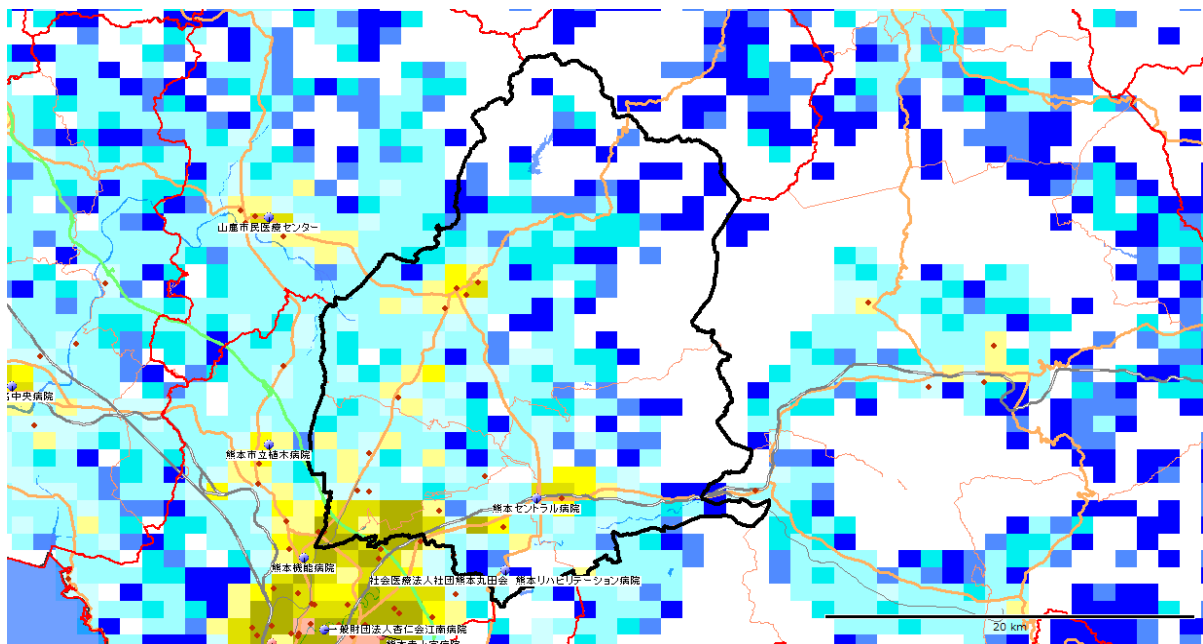
図表43-4-2 慢性期医療密度指数マップ



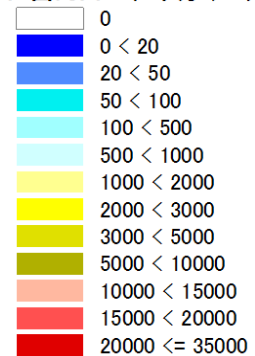
43-5. きくち 菊池医療圏

構成市区町村¹⁰ [菊池市](#) [合志市](#) [大津町](#) [菊陽町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群
一般病院

（菊池医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 菊池(菊池市)は、総人口約177千人(2015年推計)、面積466km²、人口密度は380人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 菊池の総人口は2025年に179千人へと増加し(2015年比+1%)、2040年に175千人へと減少する(2025年比-2%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の22千人が、2025年にかけて28千人へと増加し(2015年比+27%)、2040年には32千人へと増加する(2025年比+14%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 菊池の一人当たり医療費(国保)は347千円(偏差値57)、介護給付費は279千円(偏差値57)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 菊池の一人当たり急性期医療密度指数²は0.91、一人当たり慢性期医療密度指数²は2.77で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が43(病院医師数41、診療所医師数48)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は59と多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は76で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。菊池には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値71と非常に多く、回復期病床数は偏差値64と多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は61で精神病床数は多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 菊池の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1985人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1479床(偏差値56)、高齢者住宅等が506床(偏差値39)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1733人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設66、有料老人ホーム43、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム48、サ高住40である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値42と少なく、在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値58と多い。介護職員(在宅)の合計は、288人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は-42%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

菊池医療圏の総人口は、2005年165050人が、2015年に177451人と8%増加し、2025年の人口が178831人と予測され、2005年→2025年の間に8%程度の増加が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に15%増加し、2015年から2025年にかけて9%程度の増加が予測される。

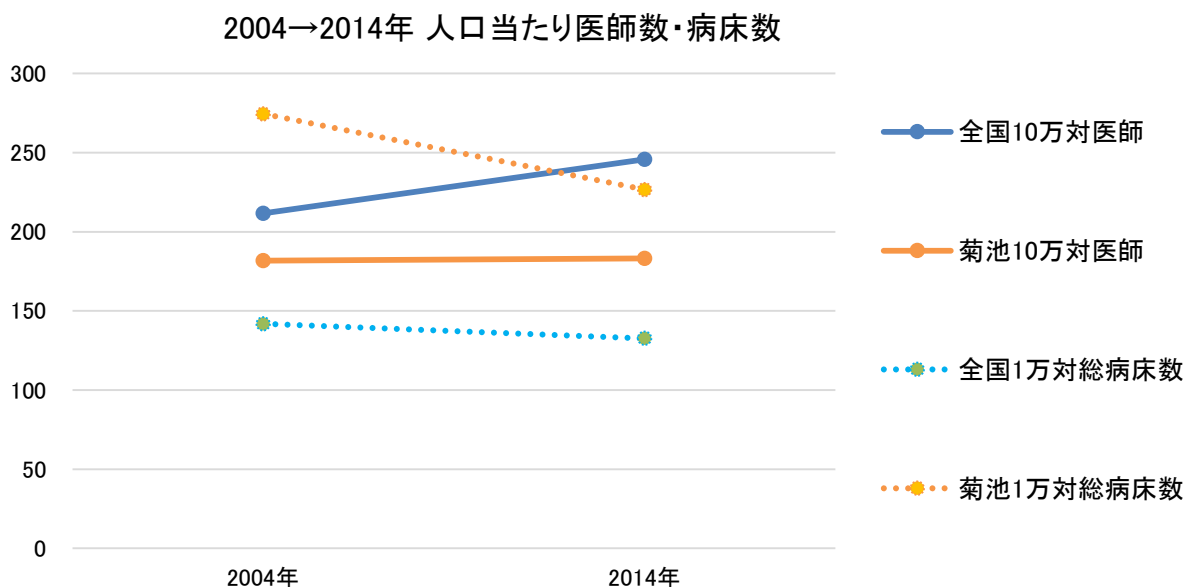
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が16(人口10万人当たり9.7病院(全国平均7.1)偏差値57)であったが、2014年に16(人口10万人当たり9病院(全国平均6.7)偏差値56)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が117(人口10万人当たり71診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2014年に129(人口10万人当たり73診療所(全国平均79)偏差値47)と、12診療所が増加した。

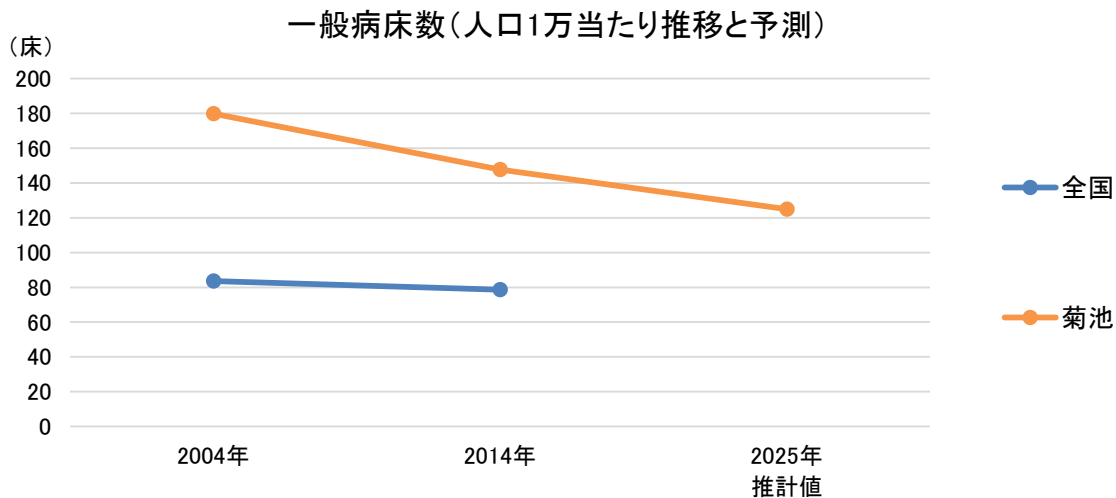
2004年の総病床数が4531床(人口1万人当たり275(全国平均142)偏差値74)であったが、2014年に4021床(人口1万人当たり227(全国平均133)偏差値67)と、510床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が300人(人口10万人当たり182人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2014年に325人(人口10万人当たり183人(全国平均246人)偏差値44)と、25人の増加、率にして8%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



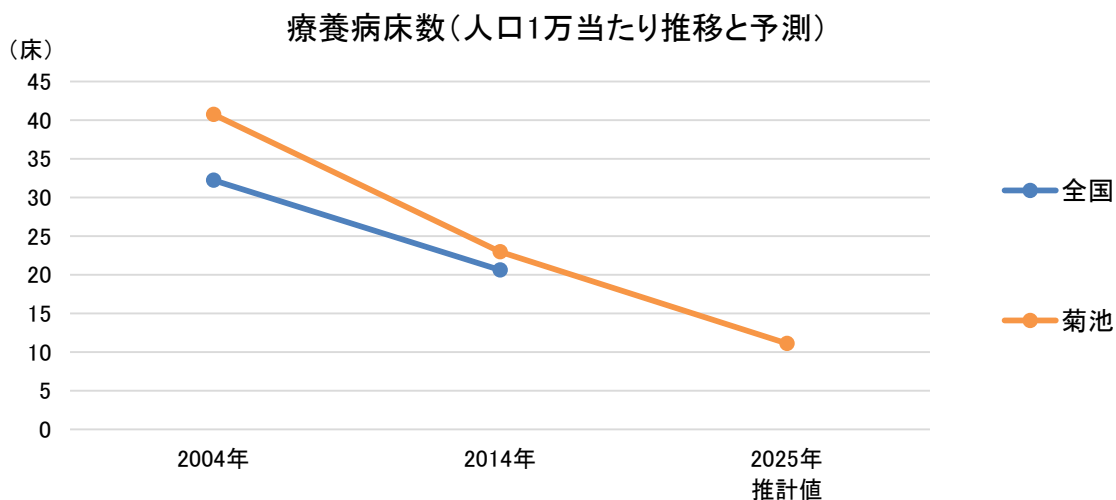
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2969床(人口1万人当たり180(全国平均84)偏差値84)であったが、2014年に2619床(人口1万人当たり148(全国平均79)偏差値75)と、350床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2234床(2025年の推計人口1万人当たり125)になることが予想される。



【療養病床の推移と今後の予測】

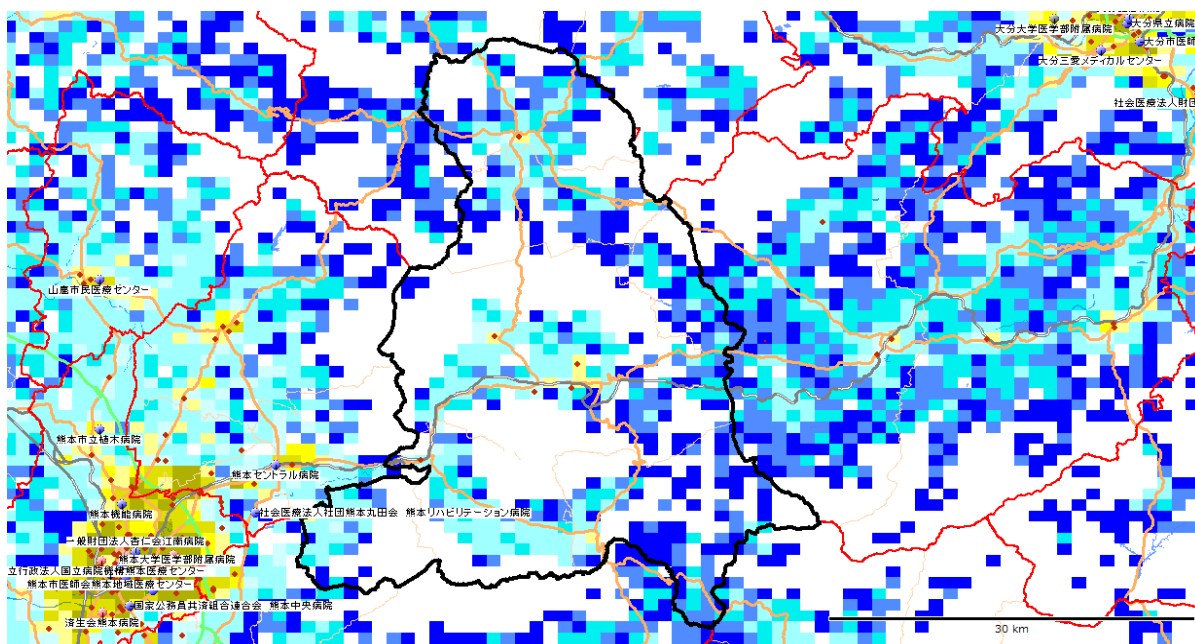
2004年の療養病床(病院+診療所)が680床(75歳以上1000人当たり41(全国平均32)偏差値55)であったが、2014年に503床(75歳以上1000人当たり23(全国平均21)偏差値52)と、177床の減少、率にして26%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には308床(2025年の推計75歳以上1000人当たり11)になることが予想される。



43-6. あそ阿蘇医療圏

構成市区町村¹⁰ [阿蘇市](#) [南小国町](#) [小国町](#) [産山村](#)
[高森町](#) [西原村](#) [南阿蘇村](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群
一般病院

(阿蘇医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

- *人口、面積など： 阿蘇(阿蘇市)は、総人口約65千人(2015年推計)、面積1079km²、人口密度は60人/km²の過疎地域型二次医療圏である。
- *人口の将来予測： 阿蘇の総人口は2025年に59千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に49千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の13千人が、2025年にかけて14千人へと増加し(2015年比+8%)、2040年には14千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。
- *医療費と介護給付費： 阿蘇の一人当たり医療費(国保)は340千円(偏差値55)、介護給付費は287千円(偏差値59)であり、医療費はやや高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

- *入院医療の充実度： 阿蘇の一人当たり急性期医療密度指数²は0.48、一人当たり慢性期医療密度指数²は2.52で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療はかなり余裕がある。
- *医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が41(病院医師数38、診療所医師数48)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は50と全国平均レベルである。
- *一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は40で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は29と非常に少ない。阿蘇には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。
- *療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は66と療養病床数は非常に多い。
- *リハビリの現状： 総療法士数は偏差値52と全国平均レベルであり、回復期病床数は0である。
- *精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は57で精神病床数は多い。
- *診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- *介護施設の現状： 阿蘇の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1398人(75歳以上1000人当たりの偏差値54)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1030床(偏差値64)、高齢者住宅等が368床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1132人(75歳以上1000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設52、特別養護老人ホーム67、介護療養型医療施設50、有料老人ホーム41、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム58、サ高住41である。

- *在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値42と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値51と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、83人(75歳以上1000人当たりの偏差値37)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

- *介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は+13%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

阿蘇医療圏の総人口は、2005年70339人が、2015年に65051人と8%減少し、2025年の人口が58808人と予測され、2005年→2025年の間に16%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に2%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の減少が予測される。

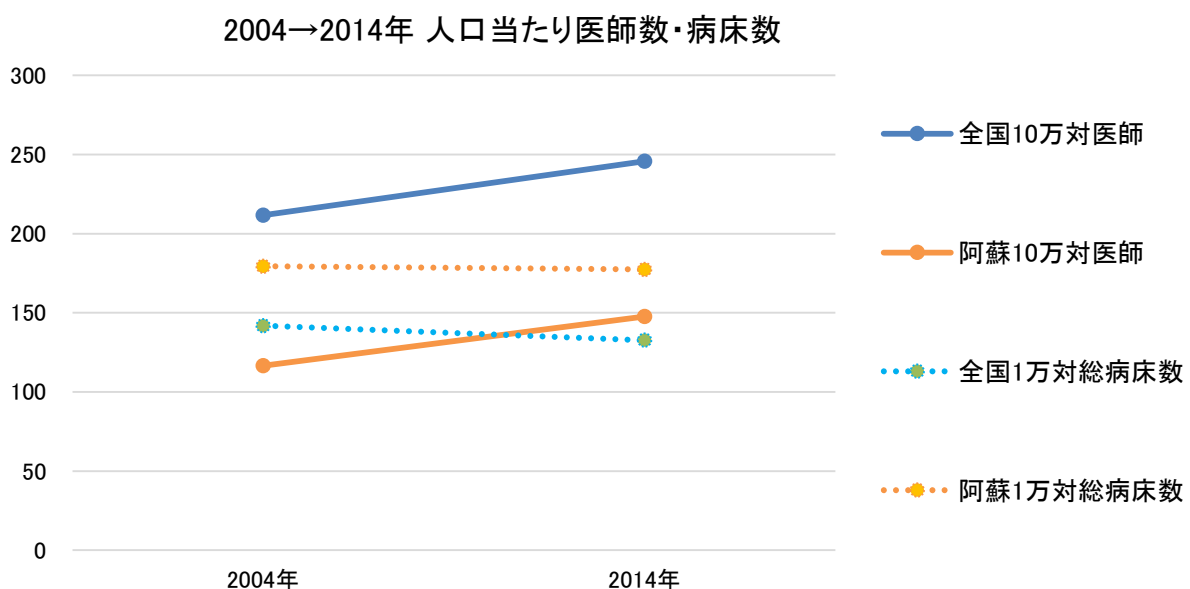
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が6(人口10万人当たり8.5病院(全国平均7.1)偏差値54)であったが、2014年に6(人口10万人当たり9.2病院(全国平均6.7)偏差値56)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が45(人口10万人当たり64診療所(全国平均76)偏差値44)であったが、2014年に49(人口10万人当たり75診療所(全国平均79)偏差値48)と、4診療所が増加した。

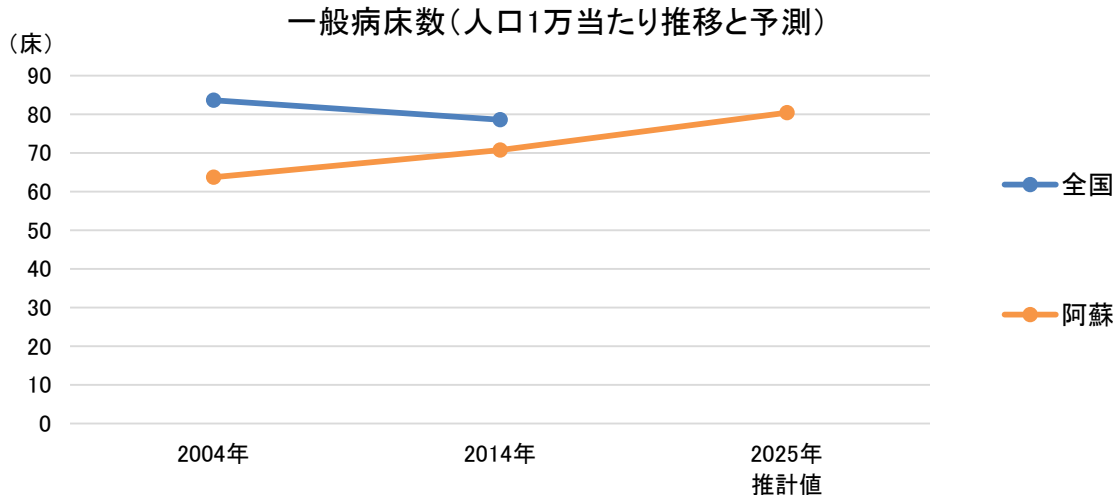
2004年の総病床数が1262床(人口1万人当たり179(全国平均142)偏差値57)であったが、2014年に1154床(人口1万人当たり177(全国平均133)偏差値58)と、108床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が82人(人口10万人当たり117人(全国平均212人)偏差値39)であったが、2014年に96人(人口10万人当たり148人(全国平均246人)偏差値40)と、14人の増加、率にして17%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



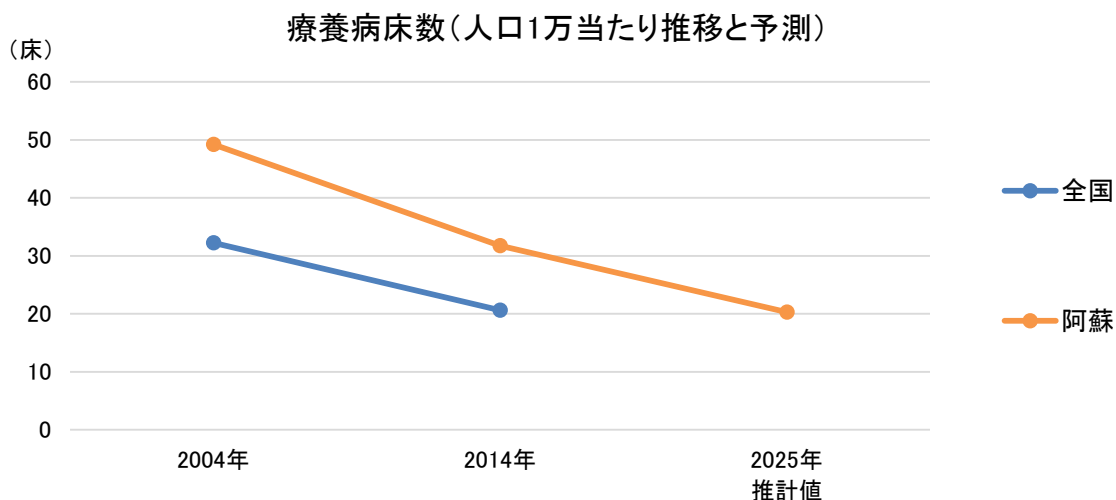
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が448床(人口1万人当たり64(全国平均84)偏差値43)であったが、2014年に460床(人口1万人当たり71(全国平均79)偏差値47)と、12床の増加、率にして3%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には473床(2025年の推計人口1万人当たり80)になることが予想される。



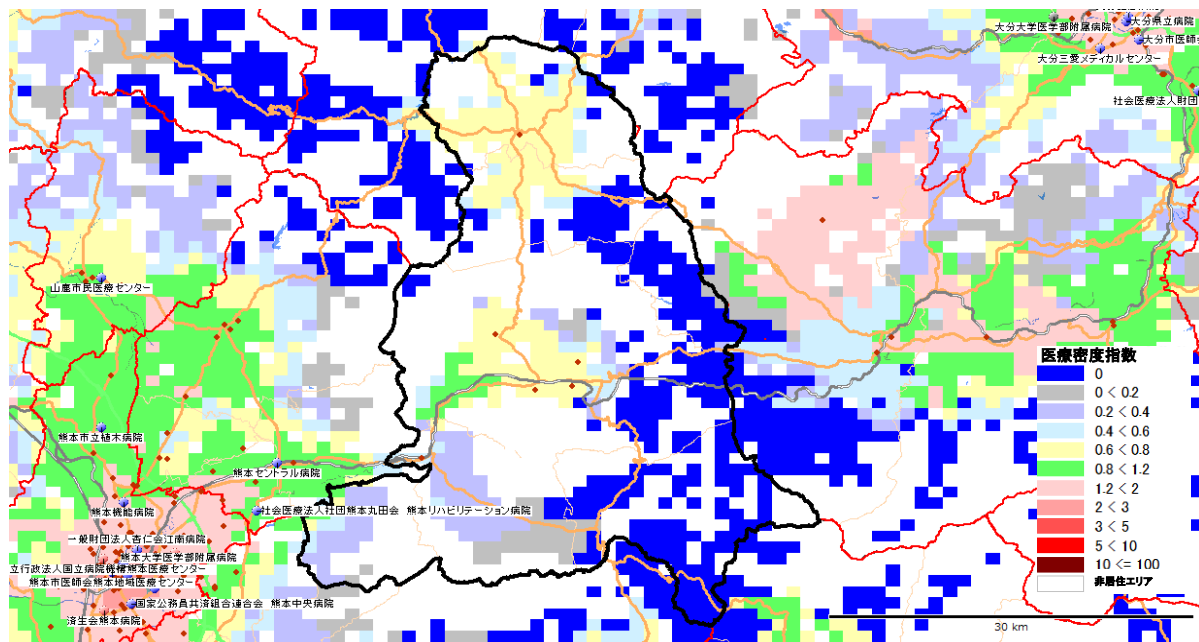
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が540床(75歳以上1000人当たり49(全国平均32)偏差値60)であったが、2014年に420床(75歳以上1000人当たり32(全国平均21)偏差値60)と、120床の減少、率にして22%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には288床(2025年の推計75歳以上1000人当たり20)になることが予想される。

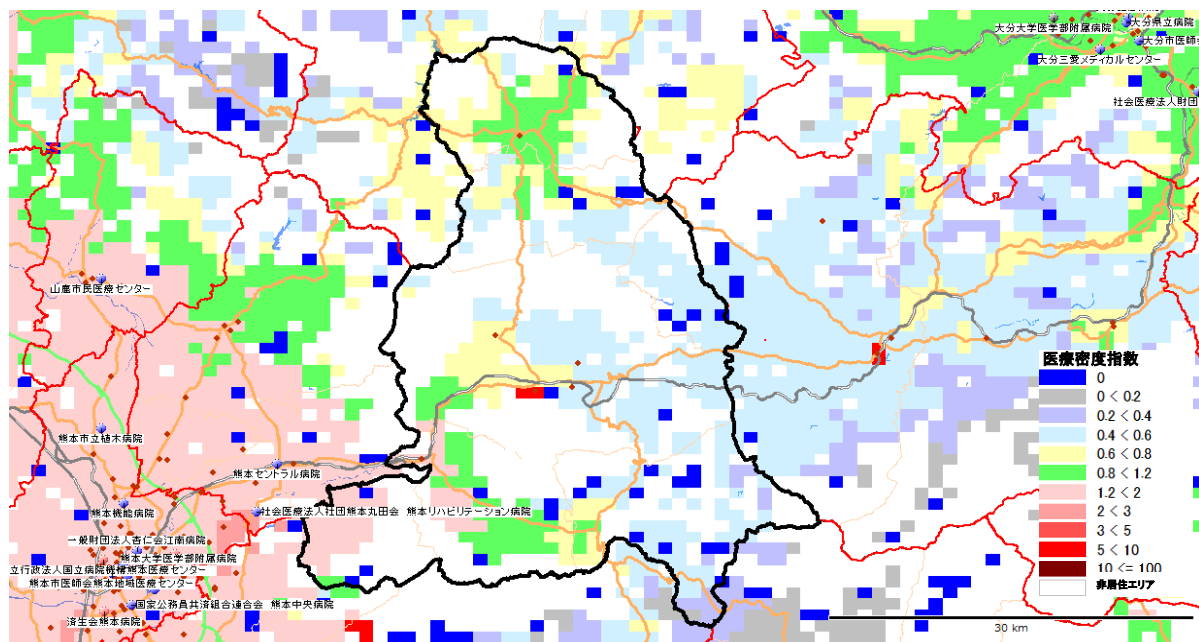


3. 医療密度⁵

図表43-6-1 急性期医療密度指数マップ



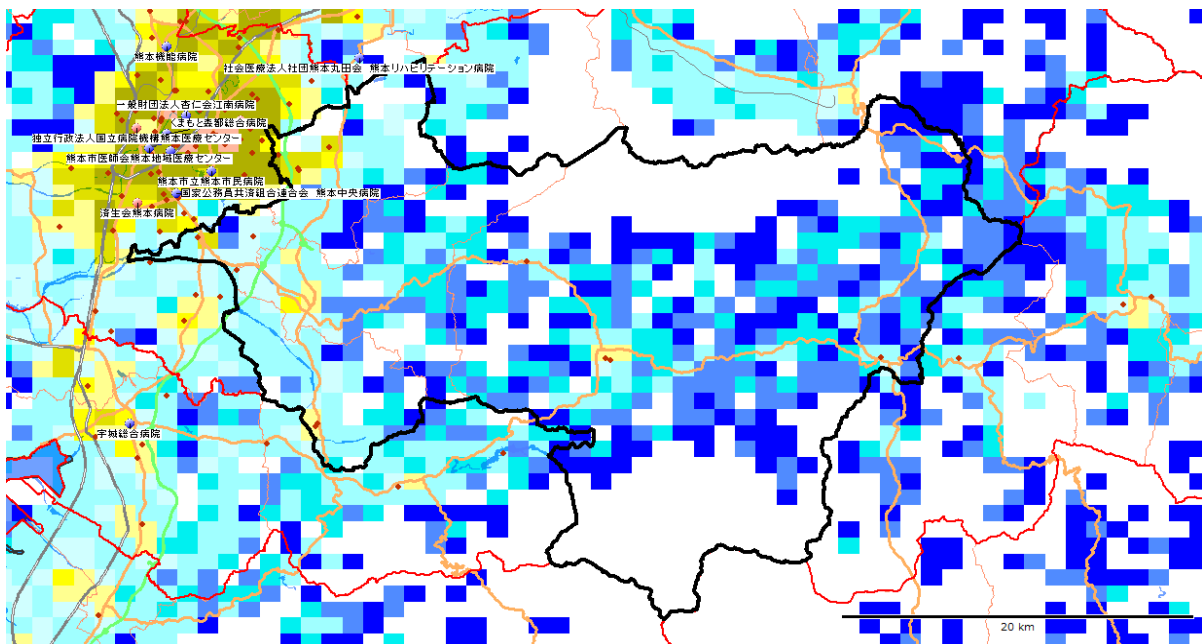
図表43-6-2 慢性期医療密度指数マップ



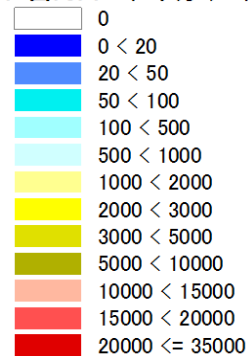
43-7. かみましき 上益城医療圏

構成市区町村¹⁰ [御船町](#) [山都町](#) [嘉島町](#) [益城町](#) [甲佐町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群
一般病院

（上益城医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 上益城(上益城郡御船町)は、総人口約85千人(2015年推計)、面積784km²、人口密度は108人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 上益城の総人口は2025年に78千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に67千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の15千人が、2025年にかけて17千人へと増加し(2015年比+13%)、2040年には17千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 上益城の一人当たり医療費(国保)は351千円(偏差値58)、介護給付費は282千円(偏差値58)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 上益城の一人当たり急性期医療密度指数²は0.84、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.83で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が40(病院医師数41、診療所医師数41)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は53とやや多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は35で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は30と非常に少ない。上益城には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は70と療養病床数は非常に多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値63と多く、回復期病床数は偏差値64と多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は59で精神病床数は多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 上益城の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1516人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1265床(偏差値68)、高齢者住宅等が251床(偏差値35)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1366人(75歳以上1000人当たりの偏差値61)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム70、介護療養型医療施設57、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム47、サ高住40である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値35と少なく、在宅療養支援病院は偏差値70と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値65と多い。介護職員(在宅)の合計は、151人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は±0%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

上益城医療圏の総人口は、2005年89755人が、2015年に84612人と6%減少し、2025年の人口が78026人と予測され、2005年→2025年の間に13%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

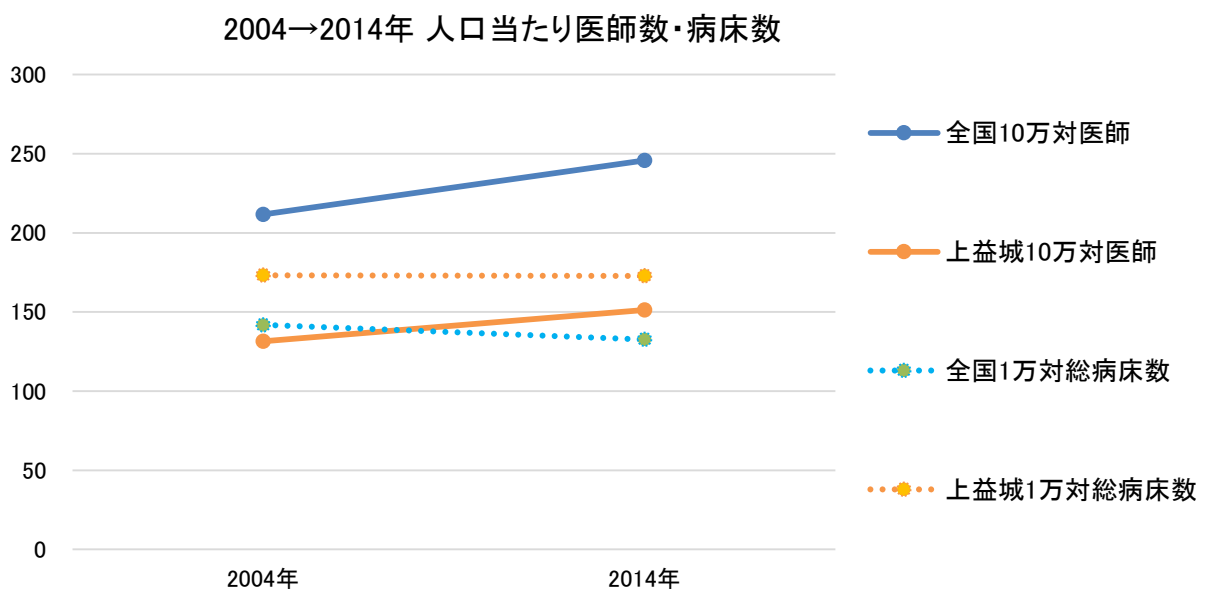
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が13(人口10万人当たり14.5病院(全国平均7.1)偏差値69)であったが、2014年に13(人口10万人当たり15.4病院(全国平均6.7)偏差値71)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が55(人口10万人当たり61診療所(全国平均76)偏差値43)であったが、2014年に61(人口10万人当たり72診療所(全国平均79)偏差値46)と、6診療所が増加した。

2004年の総病床数が1555床(人口1万人当たり173(全国平均142)偏差値56)であったが、2014年に1462床(人口1万人当たり173(全国平均133)偏差値57)と、93床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

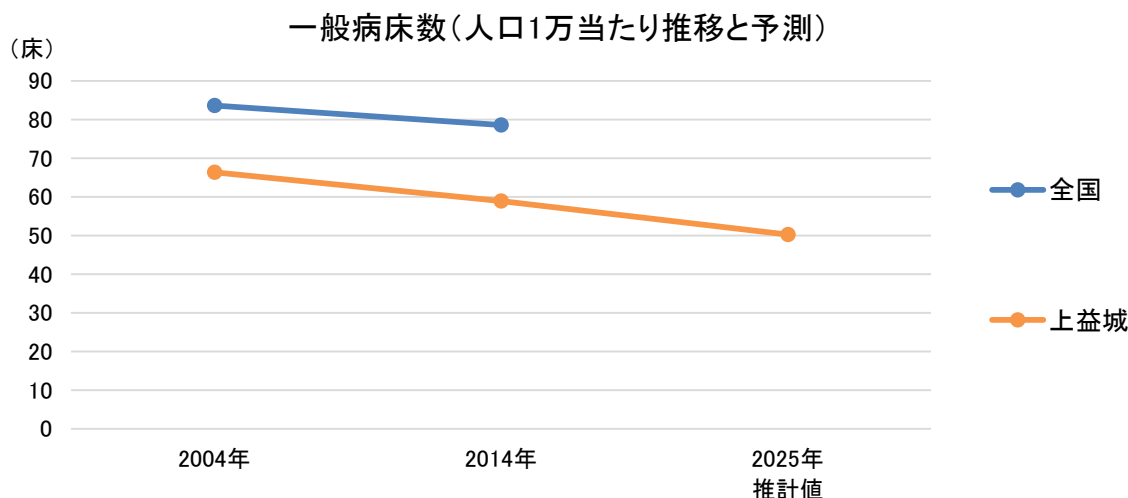
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が118人(人口10万人当たり131人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2014年に128人(人口10万人当たり151人(全国平均246人)偏差値40)と、10人の増加、率にして8%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



43. 熊本県（2016年版）

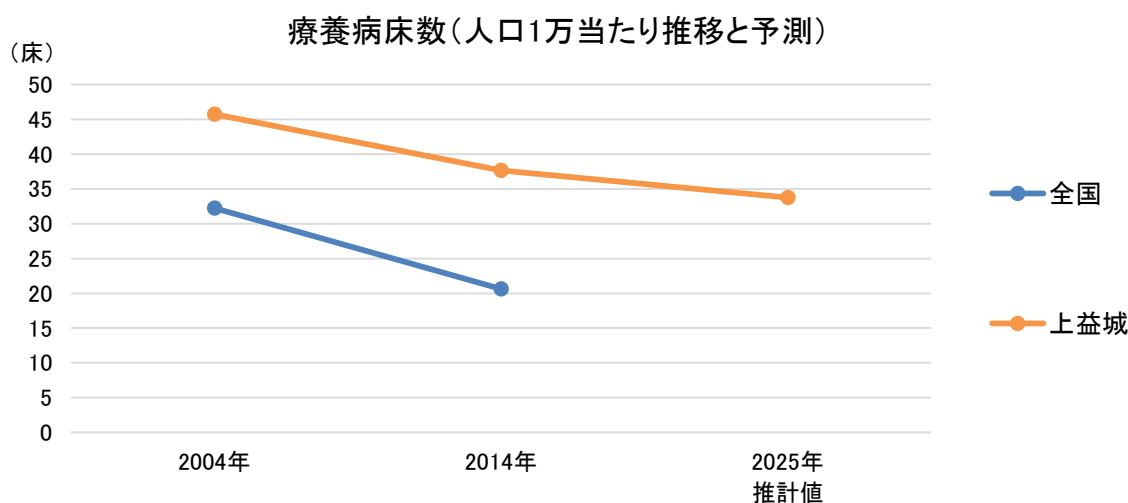
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が596床(人口1万人当たり66(全国平均84)偏差値44)であったが、2014年に499床(人口1万人当たり59(全国平均79)偏差値43)と、97床の減少、率にして16%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には392床(2025年の推計人口1万人当たり50)になることが予想される。



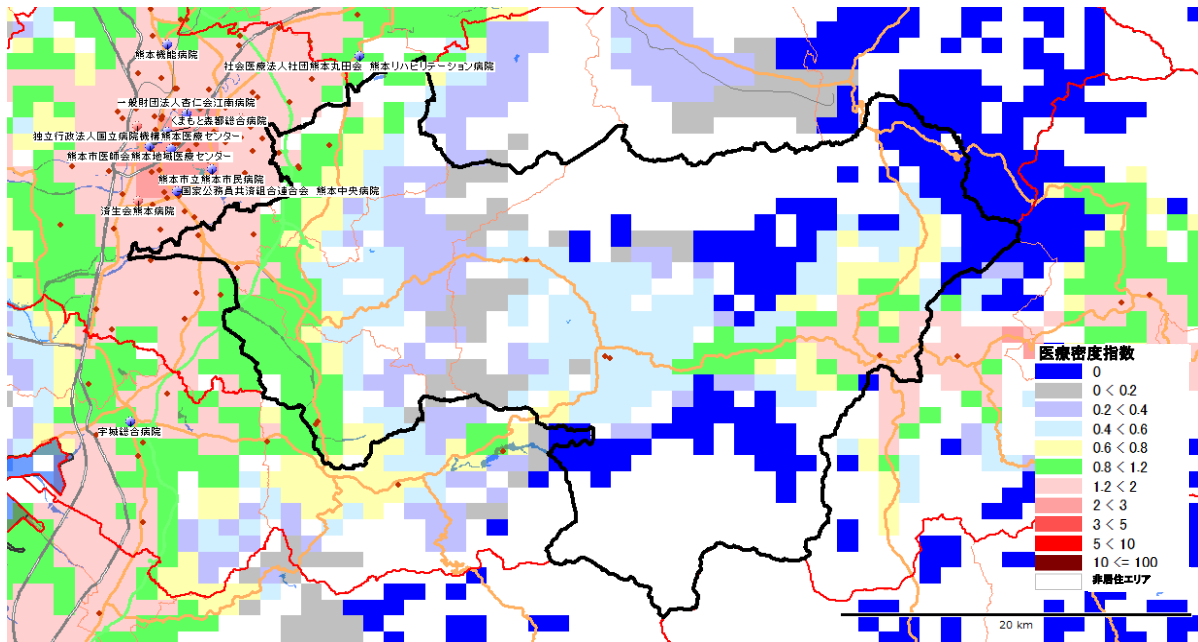
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が572床(75歳以上1000人当たり46(全国平均32)偏差値58)であったが、2014年に576床(75歳以上1000人当たり38(全国平均21)偏差値65)と、4床の増加、率にして1%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には580床(2025年の推計75歳以上1000人当たり34)になることが予想される。

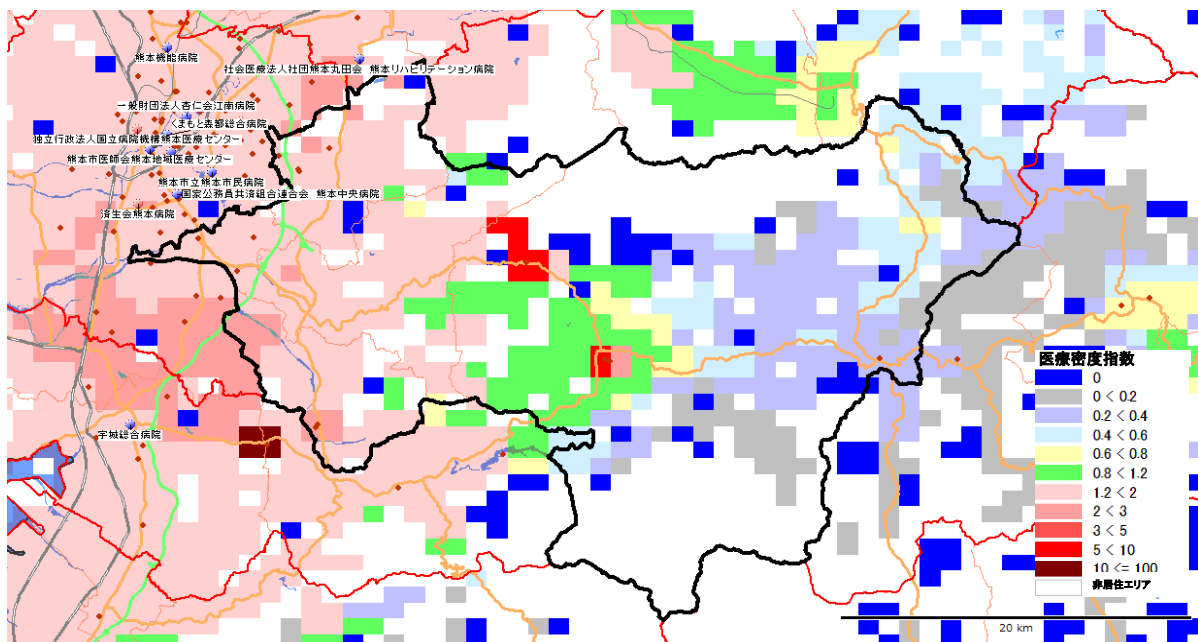


3. 医療密度⁵

図表43-7-1 急性期医療密度指数マップ



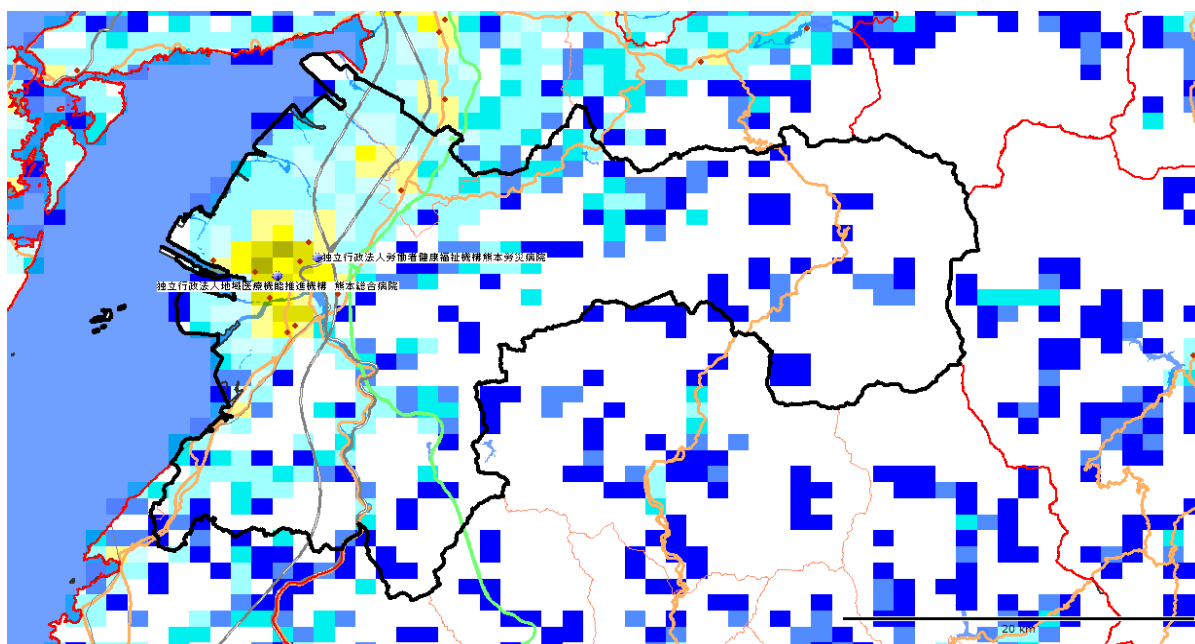
図表43-7-2 慢性期医療密度指数マップ



43-8. やっしろ 八代医療圏

構成市区町村¹⁰ [八代市](#) [氷川町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

(八代医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 八代(八代市)は、総人口約138千人(2015年推計)、面積714km²、人口密度は194人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 八代の総人口は2025年に124千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に102千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の24千人が、2025年にかけて27千人へと増加し(2015年比+13%)、2040年には26千人へと減少する(2025年比-4%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 八代の一人当たり医療費(国保)は346千円(偏差値57)、介護給付費は296千円(偏差値61)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 八代の一人当たり急性期医療密度指数²は1.29、一人当たり慢性期医療密度指数²は2.39で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が48(病院医師数47、診療所医師数52)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は65と多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は52で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は60と多い。八代には、年間全身麻酔件数が1000例以上のJCHO熊本総合病院(Ⅲ群)、熊本労災病院(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は57と療養病床数は多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値47とやや少なく、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は64で精神病床数は多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は57で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 八代の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2096人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1650床(偏差値56)、高齢者住宅等が446床(偏差値36)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1770人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設57、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設56、有料老人ホーム39、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム45、サ高住42である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値52と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値63と多い。介護職員(在宅)の合計は、462人(75歳以上1000人当たりの偏差値60)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は-9%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

八代医療圏の総人口は、2005年150118人が、2015年に138376人と8%減少し、2025年の人口が124094人と予測され、2005年→2025年の間に17%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

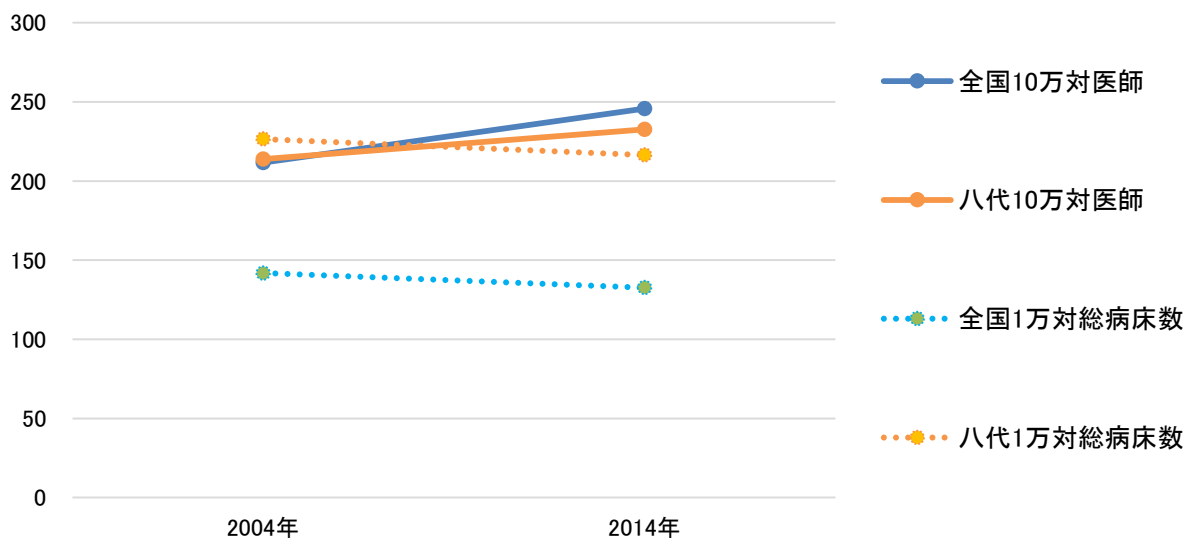
2004年の病院数が13(人口10万人当たり8.7病院(全国平均7.1)偏差値54)であったが、2014年に13(人口10万人当たり9.4病院(全国平均6.7)偏差値57)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が144(人口10万人当たり96診療所(全国平均76)偏差値60)であったが、2014年に129(人口10万人当たり93診療所(全国平均79)偏差値57)と、15診療所が減少した。

2004年の総病床数が3401床(人口1万人当たり227(全国平均142)偏差値65)であったが、2014年に2995床(人口1万人当たり216(全国平均133)偏差値65)と、406床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

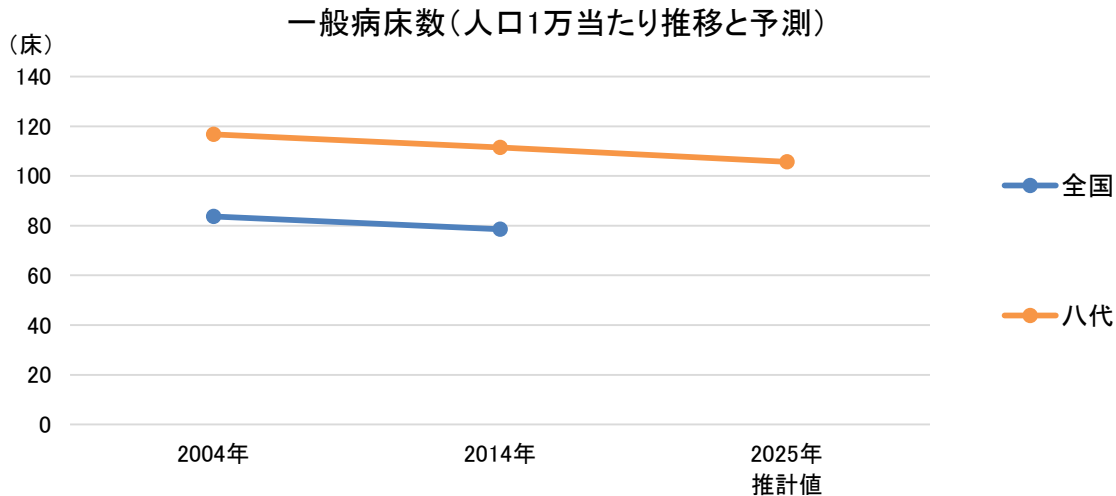
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が321人(人口10万人当たり214人(全国平均212人)偏差値50)であったが、2014年に322人(人口10万人当たり233人(全国平均246人)偏差値49)と、1人の増加、率にして1%未満の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



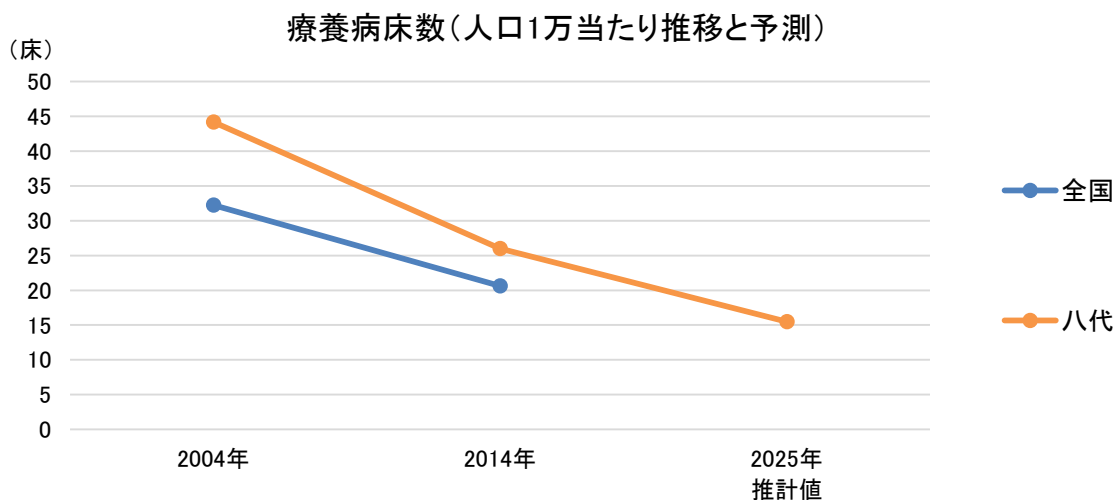
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1752床(人口1万人当たり117(全国平均84)偏差値62)であったが、2014年に1542床(人口1万人当たり111(全国平均79)偏差値62)と、210床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1311床(2025年の推計人口1万人当たり106)になることが予想される。



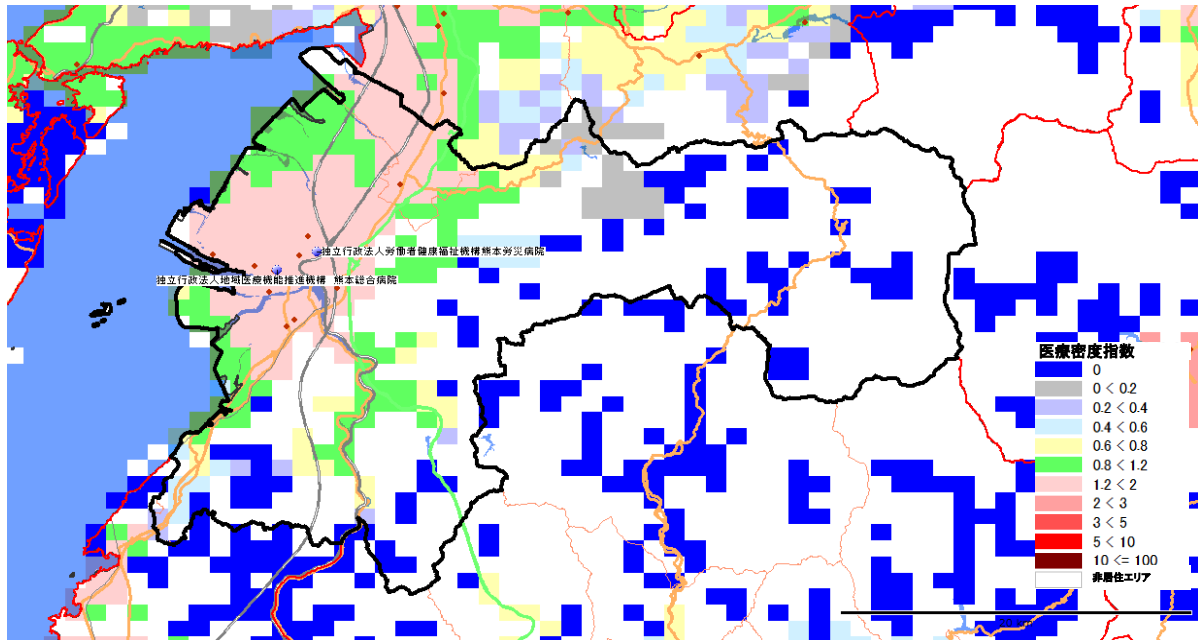
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が829床(75歳以上1000人当たり44(全国平均32)偏差値57)であったが、2014年に633床(75歳以上1000人当たり26(全国平均21)偏差値55)と、196床の減少、率にして24%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には417床(2025年の推計75歳以上1000人当たり15)になることが予想される。

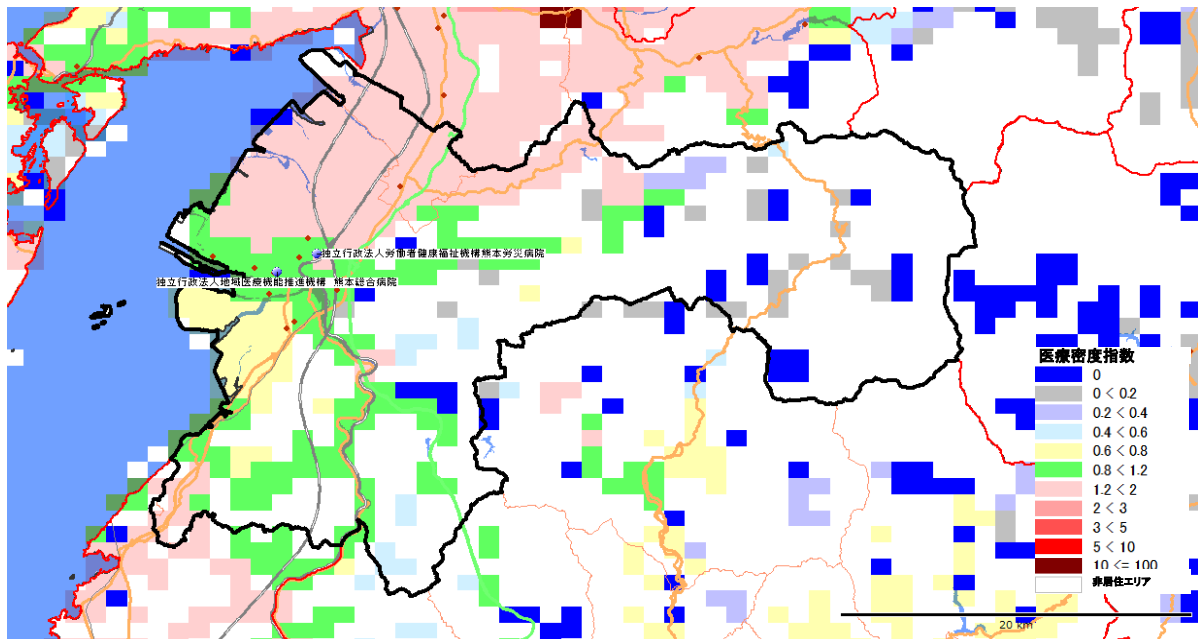


3. 医療密度⁵

図表43-8-1 急性期医療密度指数マップ



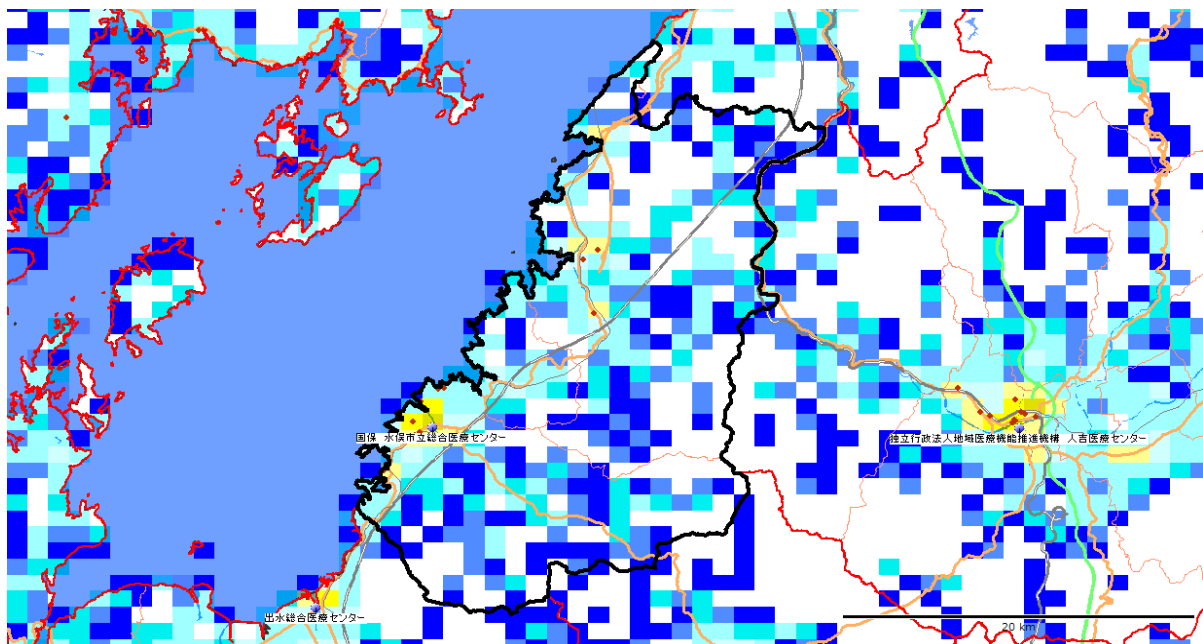
図表43-8-2 慢性期医療密度指数マップ



43-9. あしきた 芦北医療圏

構成市区町村¹⁰ [水俣市](#) [芦北町](#) [津奈木町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

（芦北医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 芦北(水俣市)は、総人口約48千人(2015年推計)、面積431km²、人口密度は110人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 芦北の総人口は2025年に40千人へと減少し(2015年比-17%)、2040年に31千人へと減少する(2025年比-23%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の10千人が、2025年にかけて11千人へと増加し(2015年比+10%)、2040年には9千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 芦北の一人当たり医療費(国保)は504千円(偏差値95)、介護給付費は291千円(偏差値60)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 芦北の一人当たり急性期医療密度指数²は1.94、一人当たり慢性期医療密度指数²は2.37で、急性期の医療も慢性期の医療もかなり余裕がある。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が57(病院医師数60、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は87と非常に多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は91で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は40と少ない。芦北には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は77と療養病床数は非常に多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値57と多く、回復期病床数は偏差値58と多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は74で精神病床数は非常に多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は59で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 芦北の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1109人(75歳以上1000人当たりの偏差値54)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が846床(偏差値67)、高齢者住宅等が263床(偏差値40)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、876人(75歳以上1000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム62、介護療養型医療施設68、有料老人ホーム42、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム60、サ高住34である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値47とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値69と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値71と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、93人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は+27%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

芦北医療圏の総人口は、2005年55384人が、2015年に47523人と14%減少し、2025年の人口が40378人と予測され、2005年→2025年の間に27%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に3%減少し、2015年から2025年にかけて7%程度の減少が予測される。

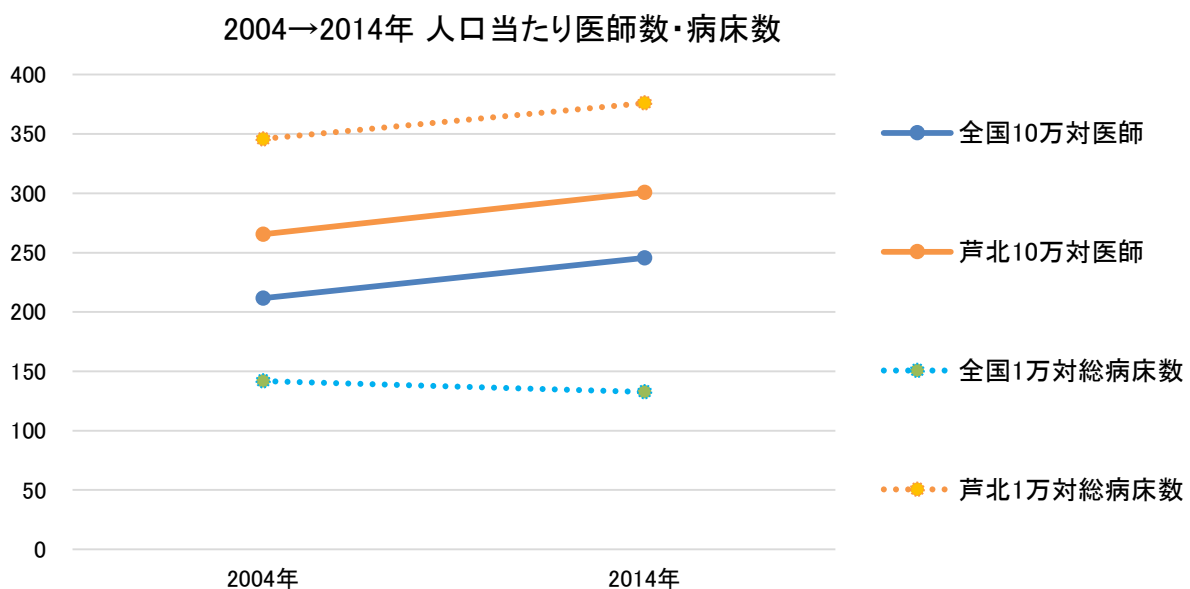
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が11(人口10万人当たり19.9病院(全国平均7.1)偏差値83)であったが、2014年に11(人口10万人当たり23.1病院(全国平均6.7)偏差値90)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が50(人口10万人当たり90診療所(全国平均76)偏差値57)であったが、2014年に46(人口10万人当たり97診療所(全国平均79)偏差値59)と、4診療所が減少した。

2004年の総病床数が1915床(人口1万人当たり346(全国平均142)偏差値86)であったが、2014年に1787床(人口1万人当たり376(全国平均133)偏差値93)と、128床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

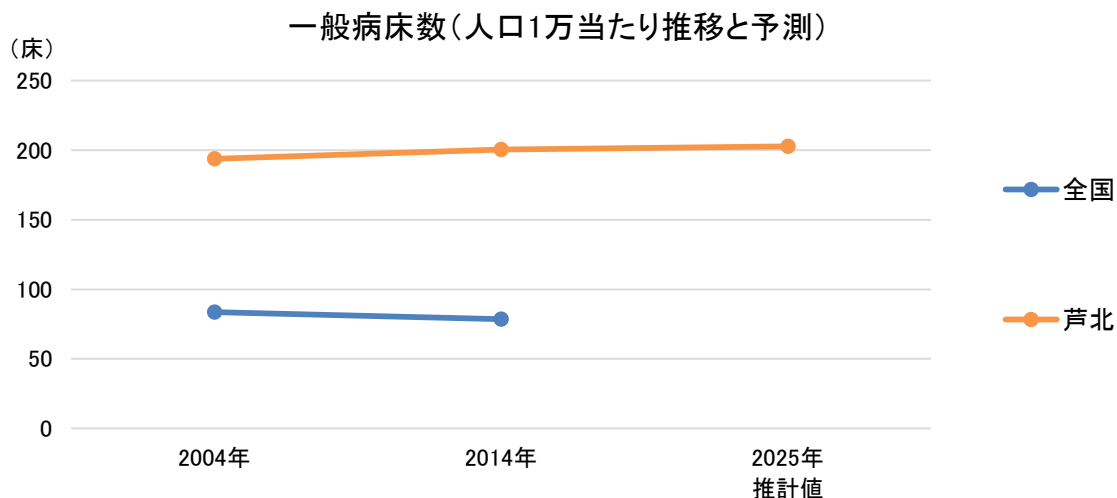
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が147人(人口10万人当たり265人(全国平均212人)偏差値56)であったが、2014年に143人(人口10万人当たり301人(全国平均246人)偏差値56)と、4人の減少、率にして3%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



43. 熊本県（2016年版）

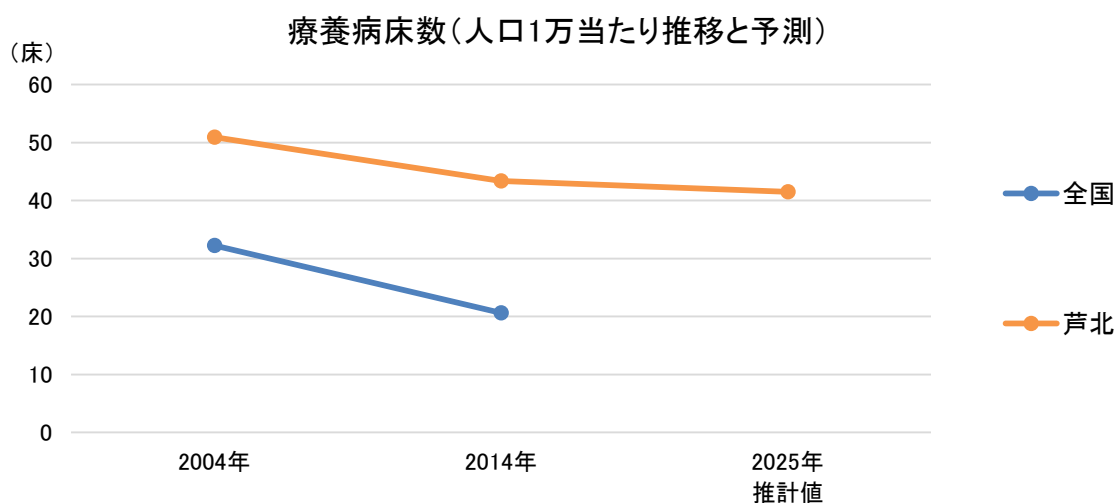
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1073床(人口1万人当たり194(全国平均84)偏差値89)であったが、2014年に952床(人口1万人当たり200(全国平均79)偏差値95)と、121床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には819床(2025年の推計人口1万人当たり203)になることが予想される。



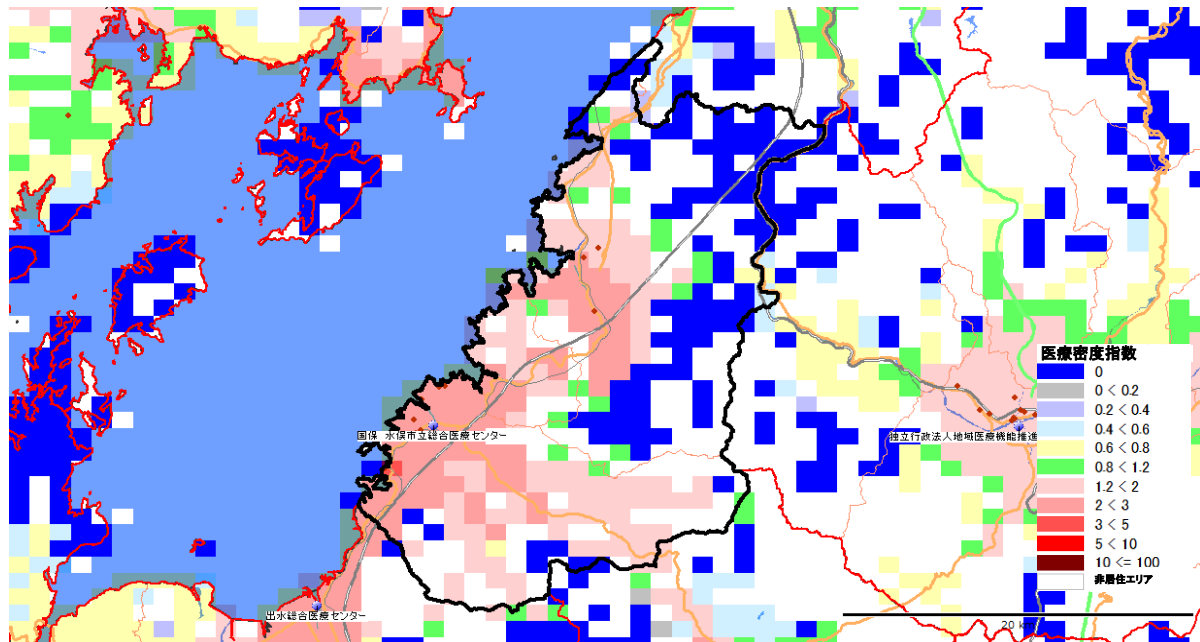
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が462床(75歳以上1000人当たり51(全国平均32)偏差値61)であったが、2014年に451床(75歳以上1000人当たり43(全国平均21)偏差値70)と、11床の減少、率にして2%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には439床(2025年の推計75歳以上1000人当たり41)になることが予想される。

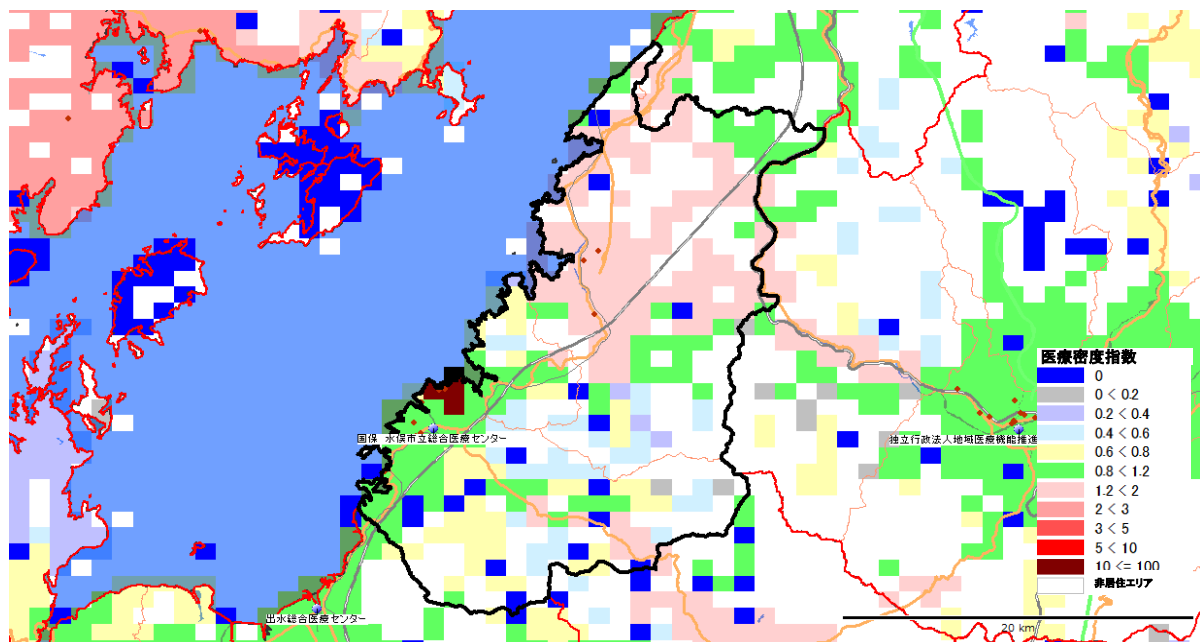


3. 医療密度⁵

図表43-9-1 急性期医療密度指数マップ



図表43-9-2 慢性期医療密度指数マップ



くま 43-10. 球磨医療圏

構成市区町村¹⁰

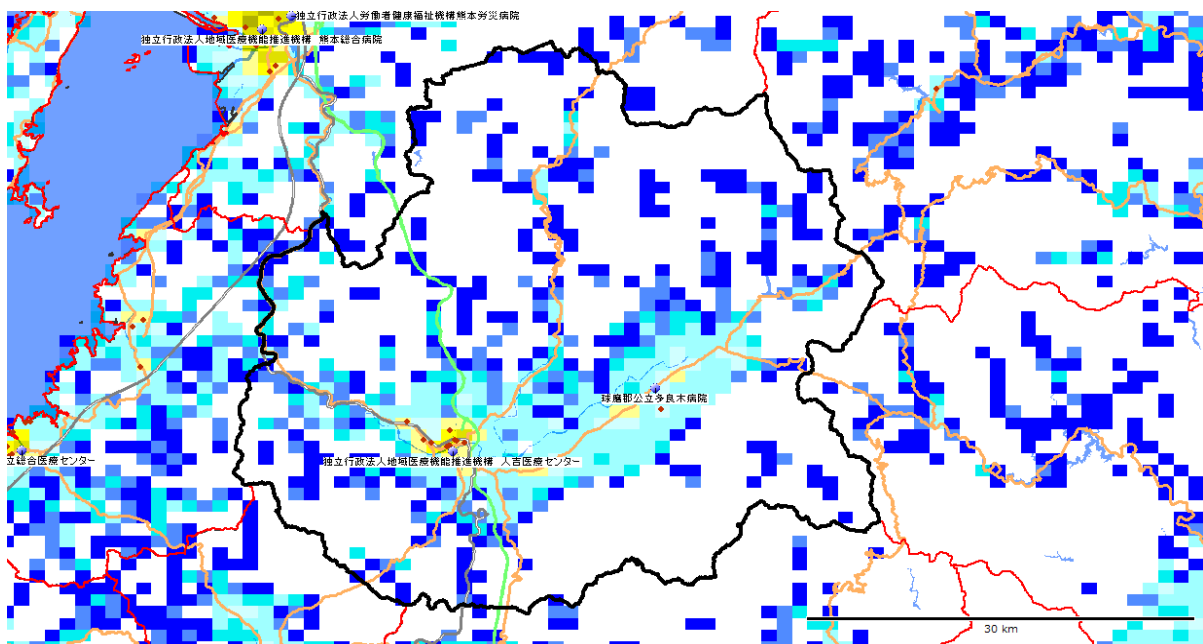
[人吉市](#)
[水上村](#)
[球磨村](#)

[錦町](#)
[相良村](#)
[あさぎり町](#)

[多良木町](#)
[五木村](#)

[湯前町](#)
[山江村](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

(球磨医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 球磨(人吉市)は、総人口約89千人(2015年推計)、面積1537km²、人口密度は58人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 球磨の総人口は2025年に78千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に62千人へと減少する(2025年比-21%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の18千人が、2025年にかけて18千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には17千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 球磨の一人当たり医療費(国保)は350千円(偏差値58)、介護給付費は312千円(偏差値66)であり、医療費は高く、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 球磨の一人当たり急性期医療密度指数²は0.95、一人当たり慢性期医療密度指数²は4.56で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が45(病院医師数45、診療所医師数48)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は63と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は50で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は48と全国平均レベルである。球磨には、年間全身麻酔件数が1000例以上のJCHO人吉医療センター(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は68と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値54とやや多く、回復期病床数は偏差値45とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は59で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は58で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 球磨の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1813人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1475床(偏差値68)、高齢者住宅等が338床(偏差値36)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1533人(75歳以上1000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設56、特別養護老人ホーム65、介護療養型医療施設62、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム49、サ高住43である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値39と少なく、在宅療養支援病院は偏差値74と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値73と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、173人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は+16%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

球磨医療圏の総人口は、2005年100694人が、2015年に88953人と12%減少し、2025年の人口が77632人と予測され、2005年→2025年の間に23%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に1%減少し、2015年から2025年にかけて5%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

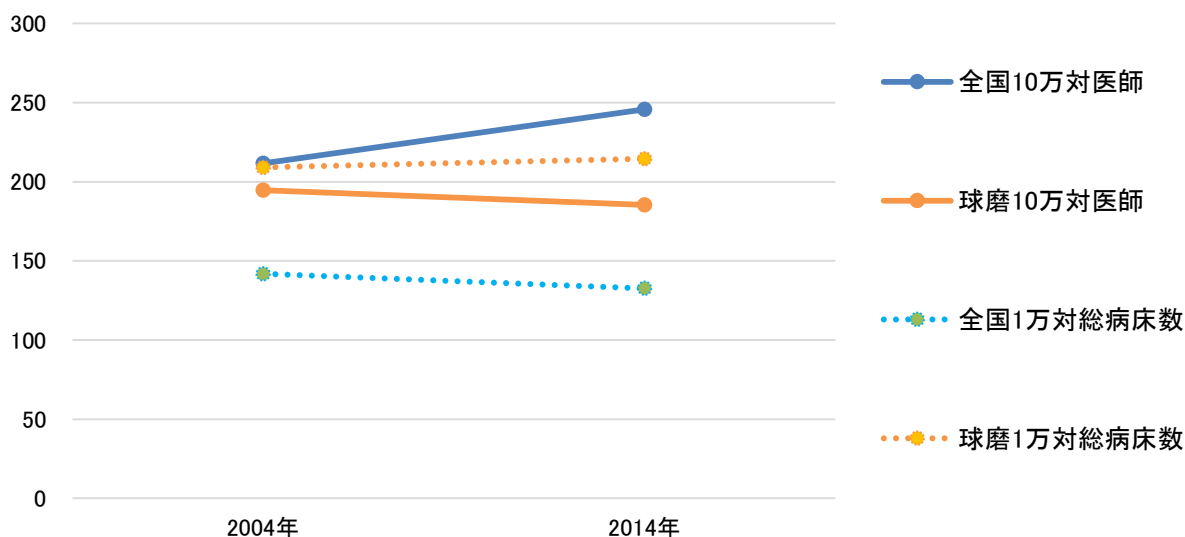
2004年の病院数が13(人口10万人当たり12.9病院(全国平均7.1)偏差値65)であったが、2014年に13(人口10万人当たり14.6病院(全国平均6.7)偏差値69)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が83(人口10万人当たり82診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2014年に84(人口10万人当たり94診療所(全国平均79)偏差値58)と、1診療所が増加した。

2004年の総病床数が2105床(人口1万人当たり209(全国平均142)偏差値62)であったが、2014年に1908床(人口1万人当たり214(全国平均133)偏差値64)と、197床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

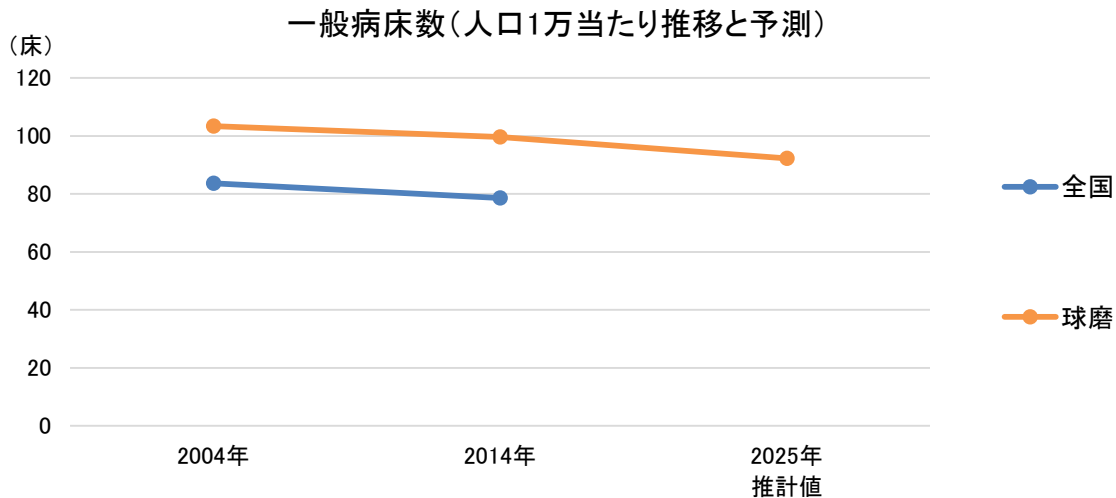
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が196人(人口10万人当たり195人(全国平均212人)偏差値48)であったが、2014年に165人(人口10万人当たり185人(全国平均246人)偏差値44)と、31人の減少、率にして16%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



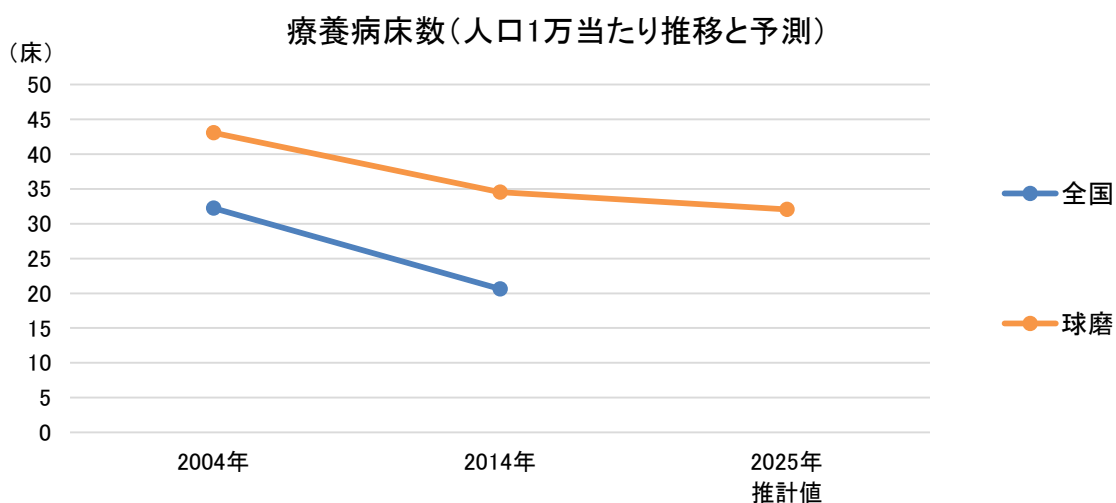
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1041床(人口1万人当たり103(全国平均84)偏差値57)であったが、2014年に886床(人口1万人当たり100(全国平均79)偏差値58)と、155床の減少、率にして15%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には716床(2025年の推計人口1万人当たり92)になることが予想される。



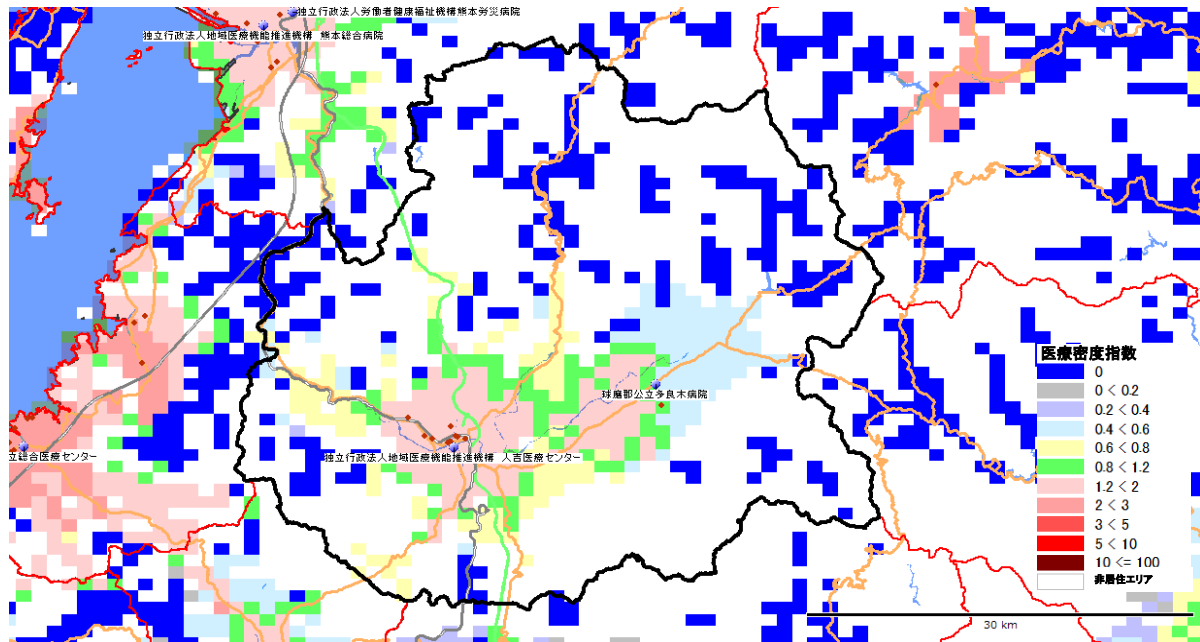
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が640床(75歳以上1000人当たり43(全国平均32)偏差値56)であったが、2014年に614床(75歳以上1000人当たり35(全国平均21)偏差値62)と、26床の減少、率にして4%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には585床(2025年の推計75歳以上1000人当たり32)になることが予想される。

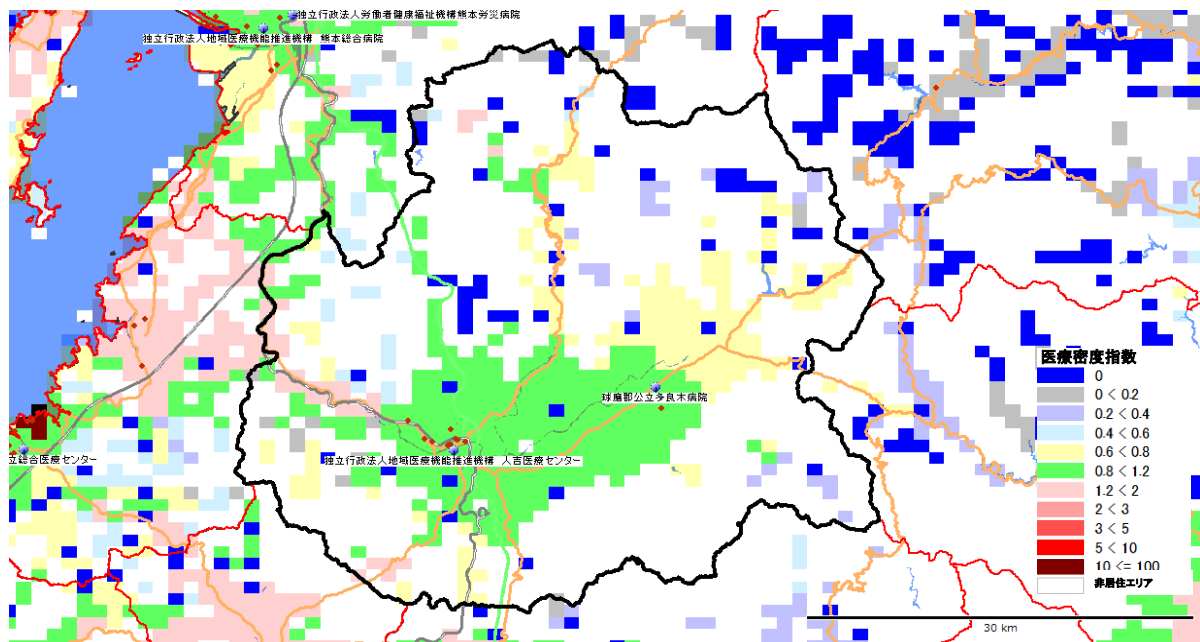


3. 医療密度⁵

図表43-10-1 急性期医療密度指数マップ



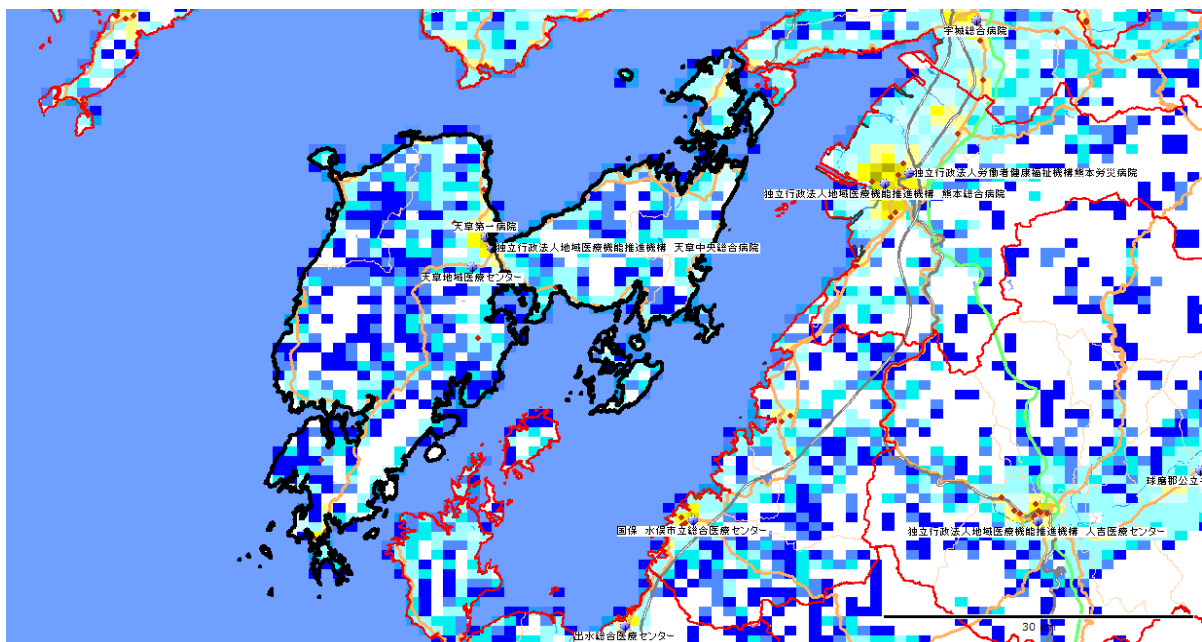
図表43-10-2 慢性期医療密度指数マップ



あまくさ 43-11. 天草医療圏

構成市区町村¹⁰ [上天草市](#) [天草市](#) [荅北町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

（天草医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 天草(上天草市)は、総人口約117千人(2015年推計)、面積876km²、人口密度は134人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 天草の総人口は2025年に99千人へと減少し(2015年比-15%)、2040年に74千人へと減少する(2025年比-25%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の25千人が、2025年にかけて25千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には24千人へと減少する(2025年比-4%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 天草の一人当たり医療費(国保)は386千円(偏差値66)、介護給付費は294千円(偏差値61)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 天草の一人当たり急性期医療密度指数²は0.86、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.65で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が49(病院医師数48、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は71と非常に多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は52で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。天草には、年間全身麻酔件数が1000例以上の天草地域医療センター(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は88と療養病床数は非常に多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値48と全国平均レベルであり、回復期病床数は0である。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は65で精神病床数は多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は55で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 天草の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2320人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1979床(偏差値65)、高齢者住宅等が341床(偏差値33)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2010人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設58、特別養護老人ホーム62、介護療養型医療施設54、有料老人ホーム39、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム48、サ高住32である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値50と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値44と少ない。介護職員(在宅)の合計は、193人(75歳以上1000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は+16%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

天草医療圏の総人口は、2005年137902人が、2015年に117256人と15%減少し、2025年の人口が98972人と予測され、2005年→2025年の間に28%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に5%減少し、2015年から2025年にかけて7%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

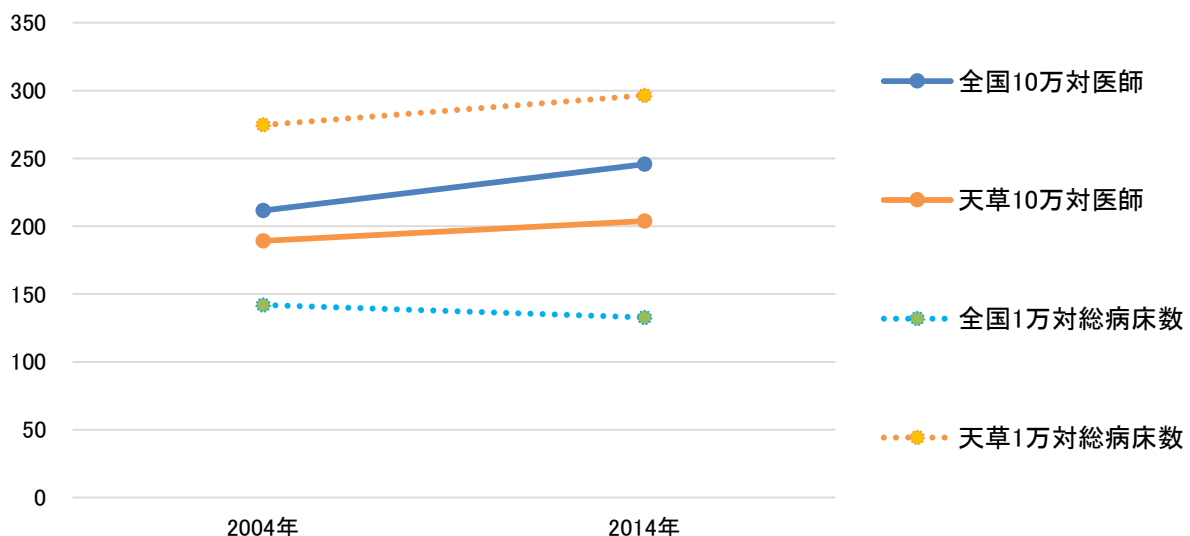
2004年の病院数が19(人口10万人当たり13.8病院(全国平均7.1)偏差値67)であったが、2014年に18(人口10万人当たり15.4病院(全国平均6.7)偏差値71)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が113(人口10万人当たり82診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2014年に105(人口10万人当たり90診療所(全国平均79)偏差値55)と、8診療所が減少した。

2004年の総病床数が3788床(人口1万人当たり275(全国平均142)偏差値74)であったが、2014年に3476床(人口1万人当たり296(全国平均133)偏差値79)と、312床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が261人(人口10万人当たり189人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2014年に239人(人口10万人当たり204人(全国平均246人)偏差値46)と、22人の減少、率にして8%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

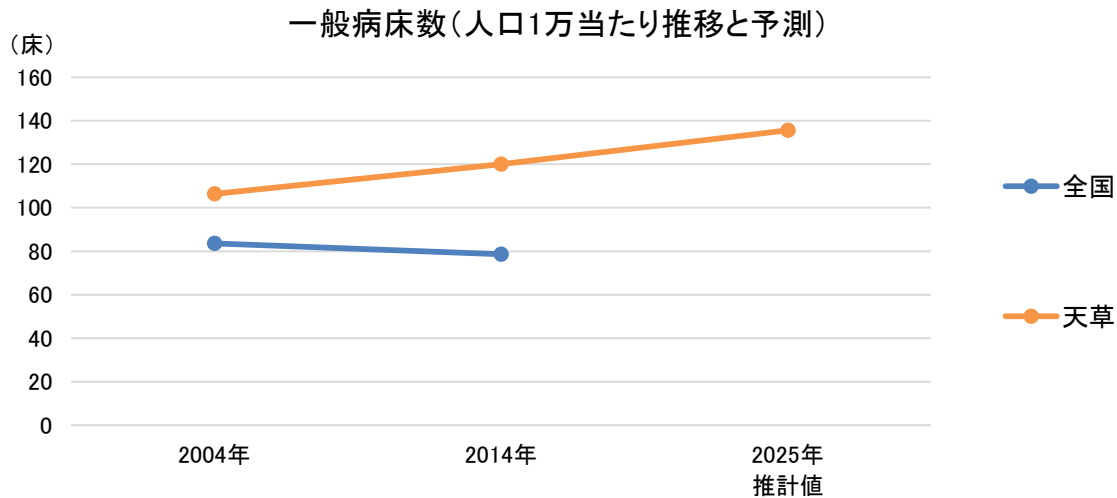
2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



43. 熊本県（2016年版）

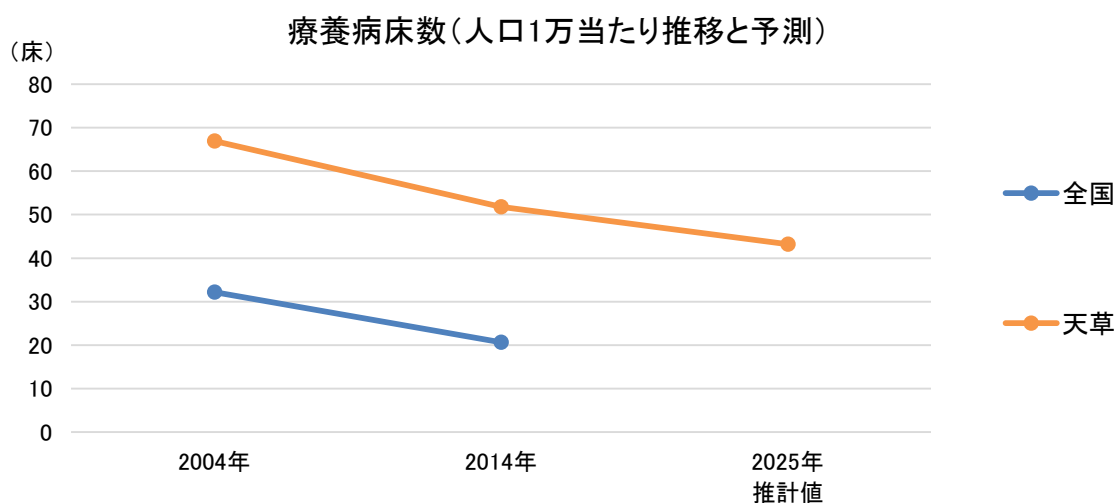
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1467床(人口1万人当たり106(全国平均84)偏差値58)であったが、2014年に1408床(人口1万人当たり120(全国平均79)偏差値65)と、59床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1343床(2025年の推計人口1万人当たり136)になることが予想される。



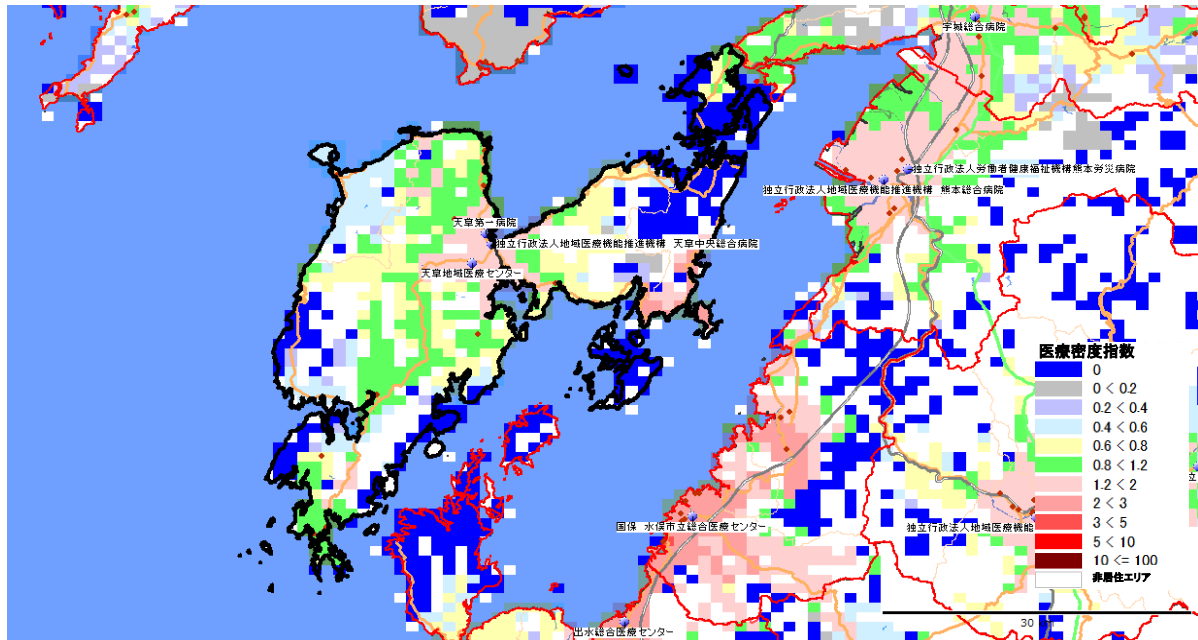
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1506床(75歳以上1000人当たり67(全国平均32)偏差値70)であったが、2014年に1309床(75歳以上1000人当たり52(全国平均21)偏差値77)と、197床の減少、率にして13%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1092床(2025年の推計75歳以上1000人当たり43)になることが予想される。

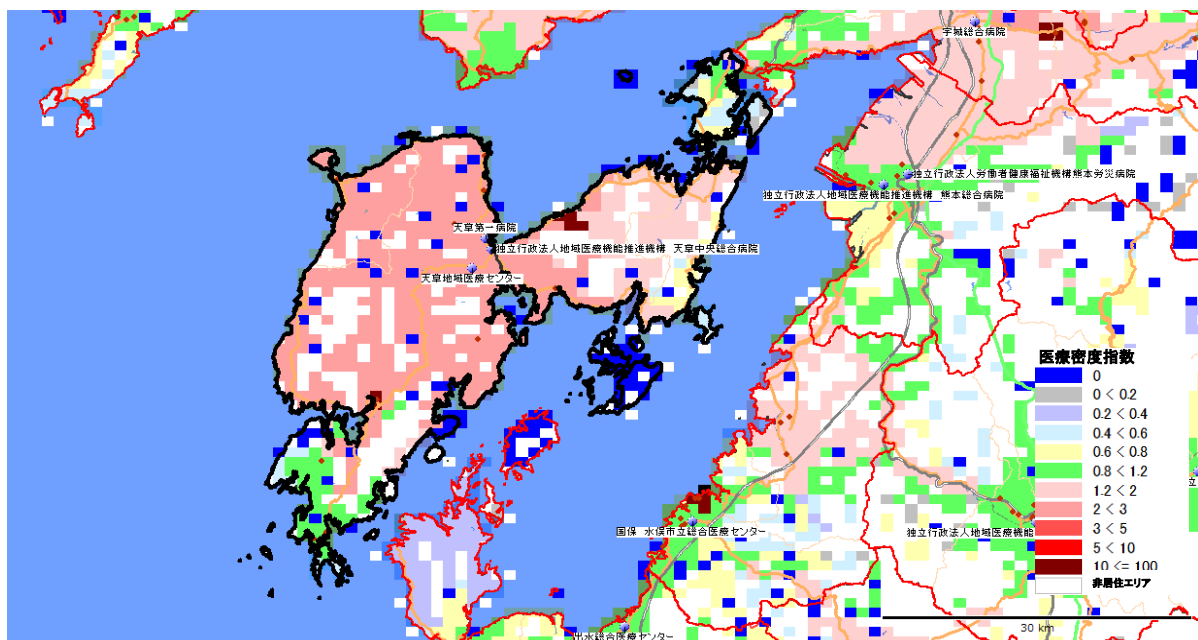


3. 医療密度⁵

図表43-11-1 急性期医療密度指数マップ



図表43-11-2 慢性期医療密度指数マップ



43. 熊本県（2016年版）

注

¹1km²区画（1km²メッシュ）で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く（10,000人/km²以上）、黄色系統は中間レベル（1,000～10,000人/km²）、青色系統は人口が少ない（1,000人/km²未満）。白色は非居住地。
出所：国勢調査（平成22年、総務省）地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

²その地域の住民が、どの程度の医療（急性期及び慢性期）を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

³【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数（平成26年病院報告（厚生労働省 平成26年10月））と診療所医師数（平成26年医療施設調査（厚生労働省 平成26年10月））の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査（厚生労働省 平成26年12月）に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人（推計）に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均（99.3床）と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

⁶日医総研WP no.352「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集（2015年度版）を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

⁷複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

⁸近畿厚生局のデータは入手できていないため、合計値には含んでない。人口あたり病床数（全国値）の算出にあたっては、データを入手できていない地域の人口は除いて計算している。

⁹市町村国保の保険者単位のデータしかないため、同一の保険者において複数の二次医療圏をもつ横浜市と川崎市は保険者単位で算出している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

¹⁰日本医師会JMAP（地域医療情報システム）で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。